

(用紙半紙野)

物品會計官吏 會計主務 記帳 出納簿 內 譯簿

主管事務 首席者印 物品返納書

但

右返納候也

年月日

何部物品取扱主任 官 氏 名

知事 第一部長 物品會計官吏 會計主務 主任 原出修

明治 年 月 日 提出 月 日 受入 月 日 修繕 月 日 代金支出

品名	數量	單價	代價	記事
合計金				
右之通り納品仕候也				
備考				
一、見積書ハ本紙ニ依ルモノトス				
二、記事ノ欄ニハ使用ノ目的ヲ朱記スルモノトス				
年月日				納入

●内務省所管廳費所屬ノ部取扱手續

明治三十四年四月一日 達内第四百十四號 物品會計官吏

明治三十四年達内第八號物品取扱細則第二條ニ依リ左ノ物品ハ會計官吏ニ於テ直チニ出納ヲ執行スヘシ

但廳費費種牝馬検査費地方視學費ノ各所屬物品ハ本文ニ準シ取扱フ可シ

廳費所屬ノ部

戸棚、長持、箆筒、箱類、卓上置書箱、弗箱、大鼓撥共、衝立、屏風、卓掛、蓑盆、要決書箱、呼鐘、印褥、視箱、算盤、衡、硝子燈、洋燈、洋燈ホヤ、燭臺、行燈、寒暖計、毛布、枕、産、土瓶、茶碗、茶盆、茶筒、十能、火箸、腰掛、靴拭、椅子、卓子、机、簿記臺、窓掛、時計、置暖爐屬具共、電鈴屬具共、帽子、掛夜具蒲團、風呂敷、洋製馬具屬具共、額面、軸物、圖書、帳簿、肉地、版木、書挾、札類、刷毛、菊蓑盤類、(贈寫盤、寒天盤、紙打盤石槌共、キルク拔、炭取、灰均、五徳、火鉢、拍子木、物品上ケ臺、細引、糊鍋、鍵袋、印章類、釜場用品、各所井用品、製本道具、掃除臺一具、消防道具、點火具、輕便印刷器、製圖器、測量器、便所用品、蠶種検査品、小刀、水入、被服貸與品、幕、賞盃見本、菜品検査器、藥物検査器、度量衡原器、度量衡検査補助用具、篩、コップ、甲印刷器、鉢、桶類、螺旋廻、塵取、臺木、鉢、標本巻具、スタンブ、イソキ壺、電燈球籠、傘立、圖書

消耗品

辭令用紙、黃色紙、奉書紙、程村紙、西内紙、杉原紙、美濃紙、美濃界紙、印刷局製、美濃界紙、雁皮紙、替水引美濃界紙、烏子紙、西洋紙、罌引西洋紙、半紙、半紙界紙、赤紙、狀袋、石灰、半切、黃包紙、蠟燭、仕拂命令用紙、仕拂通知書用紙、拂込書、收入報告書用紙、納入告知書、褒狀用紙、領收證明紙、職員録、別種旅客室検査證、別種旅客室検査報告、西洋形船技術免狀検査證明紙、表紙、油紙、澁紙、簿記帳、毛筆、鐵

主管事務 明書 何號 何箇

一書 右亡失之願末左ニ

本年何月何日何何ノ事項ニ依リ之ニ事實明約ナ

「亡失」毀損「致候儀ニ有之候

前陳ノ通り相違無之候此段證明候也

何部物品取扱主任又ハ本品專用保管者

年月日 官 氏 名

備考

一、物品亡失毀損證明書ノ例

(用紙半紙野)

主管事務 首席者印

概算請取高 何 儀

外翌月へ越高

但何月何日ヨリ何月何日迄何何分何何消費

右精算相違無之儀也

何部物品取扱主任 官 氏 名 印

備考

一、薪炭石炭ノ如ク概算拂ヲ精算スルノ例

二、本紙精算書ニハ別紙仕譯書ヲ添付スルモノトス

何年何月 自何日 炭消費高仕譯書 至何日

一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日
七	五	一〇											

●徵兵署物品取扱手續

明治三十五年五月十三日 達 第三十號 郡役所市役所

徵兵署物品取扱手續別冊ノ通り相定ム (別冊)

第一條 徵兵署所屬ノ物品ハ此手續ニ據リ取扱ヘシ

第二條 徵兵署ノ物品ハ郡役所又ハ市役所ニ於テ保管スヘシ若シ人民所有ノ倉庫ニ設置スルトキハ品名數量ヲ記シタル保管證書ヲ徵シ置クヘシ

第三條 徵兵署ノ物品ハ郡役所出納掛長ヲ以テ之カ取扱主任トス出納掛長缺員ノ場合ハ同掛首席者ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 取扱主任ハ第一號及第二號様式ノ備品原簿及備品出納簿ヲ設置シ出納ノ都度登記スヘシ

第五條 消耗品ノ受拂簿ハ便宜設置登記スヘシ

第六條 備品ヲ購入シタルトキハ第三號様式ニ依リ毎月分翌月五日迄ニハ市長ハ其品目、數量、事由及處分見込ヲ取調ヘ知事ニ具申シ指揮ヲ請クヘシ

第七條 取扱主任又ハ直接保管ノ責任ナキモノト雖モ故意怠惰ニ依リ物品ヲ毀損亡失シタルトキハ郡長又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第八條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第九條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十一條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十二條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十三條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十四條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十五條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十六條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十七條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十八條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第十九條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第二十條 取扱主任又ハ市長ハ頭末ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請ケ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ











右競争ノ上落札相成候ニ付テハ前記ノ代金ヲ以テ物品賣上(貸上)(買受)可申候依テ左ノ各項ヲ承諾シ茲ニ契約ヲ締結シ雙方署名調印ノ上各一通ヲ領シ置クモノ也

但契約保證金トシテ金何程納付候也

年 月 日

買(賣)(借)入 官 姓 名 印  
郡 町 村 大字 番 戸 姓 名 印  
賣(買)(貸)入

購買ノ時ノ例

一物品ハ必標本(雛形)(何何)ノ品賣ヲ以テ何月何日迄(何月何日ヨリ何月何日迄幾日間)ニ賣入ヨリ何所へ持込相納ムヘシ  
一買上代金ハ物品完納ノ日ヨリ幾日以内ニ(何月何日)拂渡スヘシ  
一契約保證金ハ物品完納ノ後預リ證書引換ニ還付スヘシ  
右ノ外入札及契約心得書第十五條乃至第十七條其他實際ニ就キ必要ノ事項ヲ掲ク(借入賣却)

借入ノ時ノ例

一物品ハ標本(何何)云云何月何日貸入ヨリ何所へ持込(何所へ据置ノ儘)何月何日迄幾日間貸渡スヘシ  
一物品ノ返戻ハ何月何日何所ニ於テ授受スヘシ  
一借入ノ料金ハ物品返戻ノ時(使用シタル日數ニ應ジ幾回ニ)拂渡スヘシ  
一契約保證金ハ物品借入ノ上(返戻ノ時)(幾日間使用ノ上)預リ證書引換ニ還付スヘシ

賣却ノ時ノ例

一物品拂下代金ハ納入告知書ニ指定ノ日限及金庫(何月何日何所)ニ納入スヘシ  
一物品ノ引渡ハ代金納入済ノ日ヨリ幾日以内ニ(何月何日)何所ニ於テ授受スヘシ  
一契約保證金ハ物品ノ授受ヲ了シタル後還付

承諾書按用紙半紙(朱書)

印紙

承 諾 書

(金高一圓未満ハ印紙貼用ヲ要セス)

一金何程

内 譯

金何程 何品何程ノ代  
但一箇ニ付金何程

金何程

但一箇ニ付金何程

前記ノ代價ヲ以テ物品御買上(御借入)(御拂下)之儀御下命之趣承諾仕候依テハ何月何日迄云云現品相納(代金納入ノ上物品引取)可申候若シ上納方滞滞仕候節ハ(保證金沒收ノ上)保證金ヲ徵收(他ヨリ御買上(御借入)(他)(御拂下)相成候共御異議無御座候依テ承諾書差上候也

年 月 日

官 姓 名 宛  
郡 町 村 大字 番 戸 姓 名 印

物品領收書證書按用紙半紙(朱書)

證

形質ノ概略

一 何 品 何 程  
一 何 品 何 程  
一 何 品 何 程

右御拂下相成正ニ領收候也

年 月 日

委 任 狀

住 姓 所 名 印

押者儀今般御廳ニ於テ何品(御買入)(御借入)(御拂下)ニ對スル(入札)(契約)保證金トシテ公債證書ヲ納入候就テハ官姓名擔任ヲ以テ部理代人ト定メ左ノ權限ヲ代理爲致候事

一何何(入札)(契約)上御成規ニ觸レ保證金沒收ノ御處分相成候節納入ノ何種公債證書額面何程賣却ノ上日本銀行若クハ其代理店へ請

求名儀書換ヲ受クルコト

右委任狀仍テ如件

年 月 日

住 姓 所 名 印

入札契約心得書

第一條 入札人ハ會計規則明治二十二年四月第七章及此心得書ニ掲クル各條ノ旨ヲ領知スヘシ

第二條 入札人ハ豫テ公告ニ掲クル日限ニ指定ノ場所ニ就キ競争ニ付スヘシ

物品若クハ標本雛形注文書及入札書様式契約書按等ヲ閱覽スヘシ

第三條 入札人ハ豫定ノ日時ニ入札ノ場所ニ入札保證金ヲ持参シ入札掛員ノ面前ニ於テ金員ヲ改メ封緘記名シテ入札掛員ニ納付シ其預リ證書ヲ得タル上入札スヘシ

第四條 入札ノ時刻ヲ過ルトキハ入札スルヲ許サス

第五條 入札人ハ開札ノ日時ニ開札ノ場所ニ出會スヘシ

第六條 會計規則第七十六條第二項若クハ左項ノ一ニ觸ル、入札ハ無効トス

第一 入札人ノ住所姓名及金員品數不明ナルモノ

第二 入札ノ(姓名)下ニ調印セサルモノ

第三 金員及品數ニ改竄ヲ加ヘテ其處ニ證印ヲ捺セサルモノ

第七條 入札書ハ開札ノ後内譯ニ違算或ハ書損アルトキハ之ヲ訂正セシムヘシト雖モ總計ノ金額ヲ變更スルヲ許サス又單價ヲ以テ落札ヲ定ムル場合ニ在テハ單價ノ更正ヲ許サス

第八條 落札ヲ定ムルハ購買及借入ニ係ルモノハ豫定價格以下ノ最低額賣却ニ係ルモノハ豫定價格以上ノ最高額ヲ以テ落札トシ其場ニ於テ入札掛員ハ落札ノ金員人名ヲ讀上ケ各入札人ニ告知スヘシ

第九條 落札人定リタルトキハ他ノ入札人ヨリ納付セシ保證金ヲ預リ證書ト引換ニ還付スヘシ但落札人ノ入札保證金ハ契約保證金納入済ノ上還付スヘシ

第十條 落札人ハ落札ノ當日若クハ翌日(休暇ニ當ル時ハ翌翌日)ニ於テ契約保證金ヲ納付シ且其契約ヲ締結スヘシ但此日限内ニ締結ヲナシ難キ事實アルトキハ擔任官吏ノ承認ヲ受クヘシ

第十一條 保證金トシテ公債證書ヲ納ムルトキハ五分利付以上ノモノトス其價格ハ東京取引所平均相場ニ依リ其記名證書ニ在テハ所有權ヲ移轉シ得ヘキ委任狀ヲ添ヘ納入スヘシ

第十二條 契約書ハ落札人ニ於テ契約書案ニ據リ二通ヲ作り落札人及擔

任官吏署名調印シテ各一通ヲ領置スヘシ但シ一口金二百圓未満ノ隨意契約ノ場合ニ於テハ會計規則第八十二條但書ノ書類ヲ以テ契約書ニ代用スルコトヲ得ヘシ

第十三條 會計規則第七十七條ニ據リ再度ノ入札ヲ爲サシムルモ尙ホ豫定價格ニ違セサルカ又ハ再入札ヲ爲ス者ナキトキハ其競争ヲ解キ既納ノ保證金ヲ還付スヘシ

第十四條 入札人開札ノ後自ラ入札ヲ取消シ又ハ落札人第十條ノ日限内ニ該條ノ手續ヲ爲サ、ル時ハ其保證金ハ官廳ノ所得トス此場合ニ於テハ該落札及保證金預リ證書ハ當然無効タルヘシ

第十五條 契約締結ノ後契約人ノ都合ニヨリ解約ヲ請フトキ又ハ契約ノ事項ヲ履行セサルトキハ違約金トシテ其保證金ヲ官廳ニ收入シ契約ヲ解クヘシ

第十六條 賣買貸借ノ契約締結後物品授受以前又ハ借用中ニ於テ天災其他避クヘカラサル事項ニ由リ物品ノ亡失毀損セシ場合ハ左項ニ據ルヘシ

第一 購買品ハ其契約ヲ解除シ若クハ相當ノ延期ヲ許可スルコトアルヘシ

第二 借入品ハ所有主ノ損失トス但特約アル場合ハ此限ニ非ス

第三 賣却品ハ其契約ヲ解除シ若クハ代價ノ幾分ヲ減シ拂下クヘシ此場合ニテハ既納代金ノ全部若クハ幾分ヲ下戻スヘシ

第十七條 賣却ニ係ル物品ハ入札人ニ於テ當初閱覽セシモノ實際引渡ニ臨ミ其品種物質ニ自然ノ腐敗又ハ量目ノ缺減等アルモ官廳其實ニ任セ

第十八條 賣買貸借ノ物品及代金授受ノ順序ハ左項ニ據ルヘシ

第一 購入品ハ現品領收済ノ後其代金ヲ拂渡スヘシ

第二 借入品ノ料金ハ現品返戻ノ時若クハ使用セシ日數ニ應ジ數回ニ拂渡スヘシ

第三 賣却品ハ代金納入ノ後物品領收證書ヲ徴シ引渡スヘシ

第十九條 入札人契約人ハ他人ヲ以テ諸般ノ事項ヲ代理セシムルトキハ代理人ニ委任狀ヲ交付シ之ヲ擔任官吏ニ差出サシムヘシ

第二十條 入札書契約書承諾書物品領收證書ハ別紙様式ニ據ルヘシ

第二十一條 前條ノ書類ハ金員品數及其他ノ要點ヲ改竄セサルヲ要ス若シ不得止改竄ヲ加ヘタルトキハ其所ニ證印ヲ捺スヘシ







會計課

廳中不用品拂下代  
阿片拂下代  
裁判所引繼沒收品拂下代  
違約金  
沒收金  
返納金

〔警察本部〕

主計課  
漂流物拂下代  
遺失物拂下代  
警察官吏拾得金  
違約金  
沒收金

〔收稅部〕

賦稅課  
訴訟用印紙料  
登記印紙料  
土地臺帳謄本手數料  
國稅滯納處分費辨納金  
違約金  
沒收金  
徵稅費課  
違約金  
沒收金  
返納金

第八條 前條諸收入ノ内諸收入收納取扱手續ニ據リ納入告知書ヲ發スヘキモノハ會計課ニ於テ第七條ノ通知書若シクハ報告書ニ依リ調製シ直ニ收入官吏ニ送付シ納入ニ配付ノ手續ヲナサシムヘシ  
第九條 收入官吏ニ於テ納入告知書ニ據ラズ納入ヨリ直ニ現金ヲ領收シ

第二十條 警察國庫下渡金ハ毎月割額ヲ以テ交付スヘシ最其精算ハ翌年度八月三十一日ヲ超ユルヲ得ス  
第二十一條 第十三條ニ掲ケル請求書若シクハ返納書ハ一種類毎ニ調製

第二十二條 會計課ニ於テ前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ會計規則第三十條ノ要件ハ勿論諸般ノ規則ニ照ラシ検査ノ上傳票ヲ調製シ知事ノ檢印ヲ受ケ仕拂命令若シクハ返納告知書發行ノ手續ヲナスヘシ  
第二十三條 前條ノ返納告知書ニ對シ納入ノ金員ハ其性質ニ依リ定額戻入ノ手續ヲナシ或ハ歳入ニ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十四條 歳入歳出外一時ノ取扱ニ屬スル雜部ノ金員ヲ受入若シクハ支出セントスルトキハ主務課ニ於テ其金員事由ヲ詳記セシ受入若シクハ支出傳票ヲ調製シ會計課ヘ送付スヘシ  
第二十五條 會計課ニ於テ前條ノ傳票ヲ受ケタルトキハ検査ノ上第二部長ノ檢印ヲ受ケ受入ニ係ルモノハ現金ヲ納付セシメ領收證書ヲ交付シ支出ニ係ルモノハ引出切符ヲ發行シ受取人ニ交付シテ領收證書ヲ徵スヘシ

第二十六條 會計課ニ於テ受入ヘキ金員ノ他ヨリ回送ニ係ルモノハ現金若シクハ金券ヲ以テ納付ノ手續ヲナシ領收證書ハ主務課ニ回付シ主務課ニ於テ回送先ヘ送付スヘシ  
第二十七條 前兩條ノ金員ハ會計課ニ於テ出納官吏現金取扱規則ニ依リ保管ノ爲メ金庫ニ預入保管證書ヲ受ケテ之ヲ保管スヘシ

第二十八條 第二十一條ノ返納告知書ニ依リ納入ニ於テ現金ヲ金庫ニ納付シ其領收證書ハ檢印ヲ受ケル爲メ差出シ來ルトキハ會計課ニ於テ検査ノ上該領收證書ニ知事ノ檢印ヲ受ケ別符ヲ切離シ領收證書ハ納入ニ返付シ別符ハ之ヲ保存スヘシ  
第二十九條 雜部ニ屬スル金員ヲ他ニ回送セントスルトキハ其手數料ハ廳費ノ支辨ニ屬スルヲ以テ第二十四條ノ支出傳票ノ外手數料ノ請求書ヲ差出且支出傳票中ニ送金ヲ要スル旨ヲ明瞭ニ朱記スヘシ

第三十條 雜部ニ屬スル金員ノ正當受取人領收證書ハ渾テ會計課ニ保存スヘキモノトス若シ他廳ノ請求ニ依リ回送ヲ要スルコト有トキハ主務

課長ヨリ證明書ヲ差出シ會計課ヨリ受取回送スヘシ  
第三十一條 請求書其他各種ノ様式ハ別紙第一號ヨリ第十八號迄ノ書式ニ據ルヘシ  
第三十二條 會計課ニ於テハ成規ニ依リ設ケル帳簿ノ外別ニ定ムル規程ニ據リ補助簿ヲ設ケ其計算ヲ整理スヘシ  
第三十三條 各課ニ於テ出納上必要ノ事項ハ成規アルモノハ成規ニヨリ其他ハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ金員事由等ヲ詳記シ其計算ヲ整理スヘシ

金庫ニ拂込得タル處ノ別符付ノ領收證書ニ檢印ヲ受ケル爲メ差出シ來ルトキハ會計課ニ於テ検査ノ上該領收證書ニ知事ノ檢印ヲ受ケ別符ヲ切離シ領收證書ハ收入官吏ニ返付シ別符ハ之ヲ保存スヘシ  
第十條 收入官吏ヨリ毎月ノ收入報告書ハ納入告知書ノ金額納期日細別表及國庫ノ月計對照表ヲ添差出シ來ルトキハ會計課ニ於テ検査ノ上收入總報告書若シクハ集計表ヲ調整シ期日迄ニ所管廳ニ進達ノ手續ヲナスヘシ  
第十一條 收入官吏ヨリ過誤納金ノ下戻計算書ヲ差出シ來ルトキハ主務課ニ於テ其下戻スヘキ金額要件等ヲ照査シ會計課ヘ送付スヘシ  
第十二條 會計課ニ於テ前條ノ計算書ヲ受ケタルトキハ検査ノ上第二十條ニ依リ仕拂命令ヲ發スヘシ

第十三條 經費ノ支出ニ係ルモノハ債主ヨリ請求書返納ニ係ルモノハ其負債主ヨリ返納書ヲ差出サシムヘシ  
第十四條 窮民恤救棄兒養育及徴兵費ノ前渡ヲ受ケタルトキ官吏派出ノ節旅費ノ外人夫賃其他ノ費用ニ充テ前金渡ヲ受ケタルトキハ出納官吏現金取扱規則ニ依リ取扱ヲナシ成規ニ隨ヒ其決算ヲ證明スヘシ  
第十五條 官吏派出ノ旅費概算ハ出發前三日以内ニ交付スヘシ其數月ニ涉ルモノハ經費ノ都合ニ依リ一箇月若シクハ二箇月分ニ止メ其餘ハ派出先ヨリ請求セシムルコトアルヘシ

第十六條 官吏派出ノ旅費郵便電信料等ヲ立換仕拂タルモノハ歸廳後三日以内ニ請求スヘシ其派出二箇月以上ニ涉ルトキハ一箇月毎ニ取調翌月三日限り派出先ヨリ請求スヘシ  
第十七條 官吏派出先其他各地ニ送金ヲ要スルモノハ必ス請求書ニ其旨ヲ明記スヘシ  
第十八條 官吏派出ノ際旅費ノ概算渡ヲ受ケタルモノハ歸廳後三日以内ニ精算書ヲ差出スヘシ尤過不足アルトキハ請求書若シクハ返納書ヲ添付スヘシ

第十九條 官吏派出先病氣滞在又ハ迂路ヲ經テ旅行セシモノ其他ノ事故ニ依リ公務外日數ヲ要シタルトキ若シクハ旅費ノ實費拂ヲ要セシトキハ知事ノ認許書ヲ請ケ之ヲ旅費ノ精算書ニ添付スヘシ

課長ヨリ證明書ヲ差出シ會計課ヨリ受取回送スヘシ  
第六章 様式  
第三十一條 請求書其他各種ノ様式ハ別紙第一號ヨリ第十八號迄ノ書式ニ據ルヘシ  
第三十二條 會計課ニ於テハ成規ニ依リ設ケル帳簿ノ外別ニ定ムル規程ニ據リ補助簿ヲ設ケ其計算ヲ整理スヘシ  
第三十三條 各課ニ於テ出納上必要ノ事項ハ成規アルモノハ成規ニヨリ其他ハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ金員事由等ヲ詳記シ其計算ヲ整理スヘシ

第三十四條 他ヨリ到達ノ金券ハ庶務課ニ於テ帳簿ニ登記シ主務課第一部長ニ屬スルモノハ會計課ニ回付シ同課ノ檢印ヲ受ケヘシ但會計主務官心得第二十三條ノ領收證書ノ用紙モ本文ニ準シ取扱フヘシ  
第三十五條 主務課ニ於テ前條ニ依リ金券若シクハ領收證書ノ用紙ヲ受ケタルトキハ帳簿ニ登記シ其金券若シクハ領收證書ノ用紙ハ堅牢ノ場所ニ保管スヘシ  
第三十六條 前條ノ金券ニシテ現金ヲ受入ルヘキモノハ主務課ニ於テ各課調整ノ受入傳票ニ依リ現金受入ヲ爲シ其受入ヲ要セサル金券及領收證書ノ用紙ハ各課ノ請求ニ依リ之ヲ其課長ニ交付シ帳簿ニ檢印ヲ捺サシムヘシ

國庫金出納手續第三十一條附屬請求書其他書式  
第一號書式  
課署長ノ印  
○ 記  
〔受取證ニハ記ヲ證トシ課署長ノ檢印ヲ要セス以下之レニ準ス但明治何年(明治何年俸給)何月分(第何期分)〕  
〔拜命其他俸額ニ異動アルトキハ左ノ例ニヨリ其事由ヲ明記スヘシ〕  
是ハ何年何月何日何官何等或ハ何月何日給何程ニ拜命(又ハ何官何何月俸何程ヨリ何官何等何月何日給何程(昇級(降等)(轉任ニ付何月何日ヨリ何日迄何日分)或ハ何何ヨリ全月分)

金何程 現金支給高  
金何程 國庫納金引去高  
金何程 (拜命其他俸額ニ異動アルトキハ左ノ例ニヨリ其事由ヲ明記スヘシ)

第七輯 會計 第一章 國費  
三三







第十一號書式  
 (概算金精算例ノ二)  
 「課署長ノ印」  
 (他廳在勤者ノ例)  
 何所在勤  
 官等何 氏 名印

高金  
 内金  
 一 金  
 外金  
 概算受取高△(概算高一口ナレハ概算ノ上へ)  
 何月何日  
 何月何日  
 是ハ何何御用ニ付何處へ派出命セラレ何月何日何處出發何月何日歸廳  
 又ハ何月何日何處迄ニテ打切精算  
 右返納候也  
 年月日

第十二號書式

(概算金精算例ノ三)

「課署長ノ印」  
 〇 記  
 (他廳在勤者ノ例)  
 何處在勤  
 官等何 氏 名印  
 管內(外)旅費  
 概算受取高△(概算高一口ナレハ概算ノ上へ)  
 何月何日  
 何月何日  
 是ハ何何御用ニ付何處へ派出命セラレ何月何日何處出發何月何日歸廳  
 又ハ何月何日何處迄ニテ打切精算  
 右概算金ノ精算相違無之候也

年月日  
 (他廳在勤者ノ例)  
 何處在勤  
 官等何 氏 名印

第十三號書式  
 (精算金及概算金受取例ノ一)  
 「課署長ノ印」  
 〇 記  
 持區内何等何月何日(何月分月額概算)  
 是ハ何何年何月分又ハ何何年何月何日ヨリ何日迄何何ノ事故ニヨリ何日分  
 ヲ除キ何日分  
 右御渡有之度候也  
 正ニ受取候也  
 年月日

何所警察署長 何何分署長(第何土木管區)  
 (何何警察署在勤)  
 又ハ何何分署  
 官等何 氏 名印  
 持區内何等月額  
 是ハ何何何  
 右ノ通り候也  
 明治何年何月何日  
 何所 官 氏 名

第十四號書式

「課署長檢印」  
 〇 何何御用ニ付何所へ派出命セラレタル旅費精算書  
 凡 例  
 實費及日當割増トモ一旅行中ニ二種以上アルトキハ各里數  
 各日當額ハ備考ノ欄内ヘノミ掲出スヘシ  
 内譯明細經過町村名ノ欄内ヘ記入スルハ其沿道中ニ重ナル  
 モノ、ミ掲出スルモ妨ナシ

名 稱	一里一海里金額	哩數	金員	備 考
汽船賃	何	何	何圓	
赴任手當	何	何	何圓	
汽船賃	何	何	何圓	
赴任手當	何	何	何圓	
管外車馬賃	何	何	何圓	
管內車馬賃	何	何	何圓	
實 費	何	何	何圓	
管外日當	何	何	何圓	
管內日當	何	何	何圓	
宿泊料	何	何	何圓	
月 額	何	何	何圓	

内譯明細

月 日	發地名	哩數	車馬賃	滞在月額	宿泊	經村	過
何月何日	至何處	何哩	何里	何日	何所	何處	何處
同月同日	至何處	何哩	何里	何日	何所	何處	何處
何月何日	至何處	何哩	何里	何日	何所	何處	何處
何月何日	至何處	何哩	何里	何日	何所	何處	何處
何月何日	至何處	何哩	何里	何日	何所	何處	何處
何月何日	至何處	何哩	何里	何日	何所	何處	何處
何月何日	至何處	何哩	何里	何日	何所	何處	何處
計何日	何哩	何里	何里	何日	何所	何處	何處

右之通相違無之候也  
 年 號 月 日 官等何 氏 名印  
 第十五號書式 備考三十三年三月二十三日日本表前記改正決定  
 代 會 國 月 日豫算差引簿記帳  
 決 課 費 概算簿、支出簿  
 長 係 現金前渡  
 〇 記  
 「課長ノ印(何署所管)(何那役所所管)」  
 何那何村(町)大字何番地  
 何 之 誰 渡  
 一 金  
 是ハ何何年何月何日何處ニ於テ何何  
 人命救助  
 出火消防盡力等ノ爲メ賞與ノ分  
 右御渡有之度候也  
 何 課 官 姓 名印  
 年 月 日  
 第十六號書式 (雜部金ノ例)  
 前ニ同シ  
 「課長ノ印」送付ノトキノ例  
 何那何町何番地へ送金ヲ要ス  
 〇 記  
 是ハ何何事由ヲノ爲メ下渡スヘキ分  
 右御渡有之度候也  
 何 課 官 姓 名印  
 年 月 日  
 第十七號書式 (雜部金ノ例)  
 前ニ同シ  
 「課長ノ印」  
 是ハ何何事由ヲノタメ受入ヲ可要分  
 〇 記



追テ如何處分スヘキ分  
右受入相成度候也

年月日

何 課  
官 姓 名 印

第十八號書式 (雜部金員受取證ノ例)

主務課署長ノ印

○記

是ハ何何金事由ヲ御下渡ノ分  
右正ニ受取候也

年月日

何郡何町(村)大字何何番地  
何ノ誰印

何年度歳入經常(臨時)部收入計算書

摘要	前年度		本年度		計	前年度	本年度	計	不納	損	額	何	所	(署)
	分	度	分	度										
何何(款)														
何何(項)														
何何(目)														
何何(項)														
何何(目)														
何何(目)														
何何(款)														
通計														

●租税外諸收入ヲ取扱フ分任官吏ヨリ  
差出スヘキ收入計算書提出規定

明治二十九年三月十九日  
達第 十 四 號  
改正 三 六 年 第 三 號

内務部、郡役所、警察署、警察分署

二十八年度以降租税外諸收入ヲ取扱フ分任收入官吏ヨリ收入計算書及現金出納計算書ヲ別紙書式ニヨリ調製シ現金出納計算書ニハ現金金庫へ拂込ミニ對スル金庫領收證書ヲ添ヘ左ノ期限ニ主任收入官吏へ差出スヘシ  
但二十八年度分ニシテ同年度間ニ交替アリタルモノハ交替毎ニ調製シ最終ノ分差出ストキ一同差出スヘシ

- 一 收入計算書ハ翌年度八月七日以内
- 一 現金出納計算書ハ翌年度四月十日以内
- 一 交替ノトキ前任者ヨリ差出收入計算書及現金出納計算書ハ事務引繼濟後十日以内

(別紙)

摘要	前年度		本年度		計	前年度	本年度	計	不納	損	額	何	所	(署)
	分	度	分	度										
何何(款)														
何何(項)														
何何(目)														
何何(項)														
何何(目)														
何何(目)														
何何(款)														
通計														

納ノ一區ヲ設ケ其員數ヲ掲出シ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ  
六、前年度未收入ノ分ナキトキハ該區ヲ設ケサルモ妨ケナシ  
七、誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ主任者捺印スルモノトス

何年度歳入經常(臨時)部現金出納計算書 何 所 (署)

收入濟額區分

一金何程 收入 濟 額

内 譯 何 何 (款)

金何程 官 氏 名 扱

金何程 官 氏 名 扱

金何程 何 何 (款) 扱

(以下右ニ倣ヒ掲出スヘシ)

現金 領 收 高

官 氏 名 扱

官 氏 名 扱

右之通相違無之候也

主任收入官吏氏名所屬

某所(署)分任收入官吏 官 氏 名 印

年 月 日

主任收入官吏宛

備 考

一、用紙半紙野トス

二、經常部ト臨時部トハ各別ニ調製スルモノトス

三、交替ノ爲メ一箇年度ヲ通セサルトキハ何年度トアル下ニ何年何月何日迄ト記入スルモノトス

四、一會計年度中交替アリシトキ後任者ノ調製スル計算書ハ前任者取扱額ヲ併算スルモノトス

五、調定外誤納アリタルトキハ收入濟額中本年度分ノ次へ「調定外誤

摘要	前年度		本年度		計	前年度	本年度	計	不納	損	額	何	所	(署)
	分	度	分	度										
何何(款)														
何何(項)														
何何(目)														
何何(項)														
何何(目)														
何何(目)														
何何(款)														
通計														







●諸稅外諸收入ヲ取扱フ分任收入官吏ヨリ收入計算書及現金出納計算書へ添付書類提出ノ件

明治三十三年八月二十四日 達第五十二號  
内務部、郡役所、警察署、警察分署  
二十八年度以降租稅外諸收入ヲ取扱フ分任收入官吏ヨリ可差出收入計算書及現金出納計算書等明治二十九年三月十九日日本縣達第十四號ニテ相定候處三十三年度分ヨリ收入計算書ニ關スル件ハ廢止シ現金出納計算書ヲ收入計算書ニ改メ現金金庫へ拂込ニ對スル領收證書ノ外會計規則ニ依レル檢定書ヲモ添付スル義ト心得ヘシ  
但金庫へ現金拂込未済トナリタルモノアルトキハ其事由書及交替ノ場合後任官吏へ現金引繼タルモノアルトキハ後任官吏ノ領收證書ヲモ添付スヘシ

明治三十三年八月二十四日 内務部通牒内五發第一二〇九號 郡役所、警察署

●會計規則第九十一條ニ依ル出納官吏帳簿金櫃檢查手續  
明治三十三年四月二十七日 達第二十三號  
内務部、警察部、郡役所、市役所、警察署、警察分署  
會計規則第九十一條ノ帳簿金櫃檢查手續左ノ通り改定ス  
但明治二十八年八月日本縣達第二百五十四號ハ廢止ス  
出納官吏帳簿金櫃檢查手續  
第一條 檢查員ハ檢查以前ニ出納官吏若クハ立會人ニ檢査章ヲ示スヘシ  
第二條 檢查員ハ出納官吏若クハ立會人ヨリ現金出納計算書ヲ徴シ之ヲ帳簿及保管ノ現在金等ニ照査スヘシ  
但檢査ハ當日ノ出納終了後ニ於テ執行スルモノトス  
第三條 檢查員ハ帳簿金櫃ノ檢査上必要ト認ムルトキハ出納官吏ニ對シ證據書類ノ提出ヲ求メ調査スヘシ  
第四條 檢查員出納官吏ノ保管スル現金等ノ檢査ヲ了シタルトキハ檢定

一金何程

但租稅外諸收入現金領收ノ分金庫拂込未済額

何年度分 何年度分

右御引繼相成正ニ領收候也

何所(署又ハ分署) 何主任收入官吏官氏名所屬 分任收入官吏 官氏名 印

年月日

書二通ヲ製シ出納官吏若クハ立會人ト共ニ署名捺印シ其一通ヲ出納官吏若クハ立會人ニ交付スヘシ  
第五條 檢查員ハ檢査ノ實況ヲ詳記シタル檢査報告書ヲ作り出納計算書檢定書檢査章等ヲ添付シ檢査終了後三日以内ニ本廳へ差出スヘシ  
第六條 第二條及第四條ノ書類ハ別紙書式ニ據リ調製スヘシ(別紙)

明治何年度現金出納計算書

一金何程

現金 收入 高

一金何程

前年度ヨリ越高(又ハ前任者) 本年度收入 高

一金何程

拂出 高

一金何程

金庫へ拂込 高

一金何程

何 在 高

一金何程

金 銀 貨 銅 貨 紙 幣

一金何程

兌換 金 券

一金何程

何地本(支)金庫保管

右之通相違無之候也

青森縣主任收入官吏(主任收入官吏) 官氏名所屬某所(署)分任收入官吏 (某所)現金前渡ヲ受クル出納官吏 (某所)陸(海)軍召集諸費出納官吏 (某所)署)歳入歳出外現金出納官吏

備考 年月日 官氏名 印

何主任收入官吏官氏名所屬 分任收入官吏 官氏名 殿

備考 一、用紙半紙野紙トス 二、二箇所以上兼帶ノ場合ハ其箇所毎ニ別紙ニ調製スヘシ 現金金庫へ拂込未済事由書

但何年度租稅外諸收入現金領收ノ分何何ノ事由ニヨリ金庫ノ拂込未済トナリタル分 右ノ通り候也

何所(署又ハ分署) 何主任收入官吏官氏名所屬 分任收入官吏 官氏名 印

年月日

備考 一、用紙半紙野紙 二、二箇年度分未拂込金額アルトキハ其内譯ハ領收證書式ノ例ニヨル 三、二箇所以上兼帶ノ場合ハ其箇所毎ニ別紙ニ調製スルモノトス

●會計規則第九十一條ニ依ル出納官吏帳簿金櫃檢查手續

明治三十三年四月二十七日 達第二十三號  
内務部、警察部、郡役所、市役所、警察署、警察分署  
會計規則第九十一條ノ帳簿金櫃檢查手續左ノ通り改定ス  
但明治二十八年八月日本縣達第二百五十四號ハ廢止ス  
出納官吏帳簿金櫃檢查手續  
第一條 檢查員ハ檢查以前ニ出納官吏若クハ立會人ニ檢査章ヲ示スヘシ  
第二條 檢查員ハ出納官吏若クハ立會人ヨリ現金出納計算書ヲ徴シ之ヲ帳簿及保管ノ現在金等ニ照査スヘシ  
但檢査ハ當日ノ出納終了後ニ於テ執行スルモノトス  
第三條 檢查員ハ帳簿金櫃ノ檢査上必要ト認ムルトキハ出納官吏ニ對シ證據書類ノ提出ヲ求メ調査スヘシ  
第四條 檢查員出納官吏ノ保管スル現金等ノ檢査ヲ了シタルトキハ檢定

二、交替等ニ依リ一會計年度ヲ通セサルトキハ本書何年度ノ下へ何年何月何日ヨリ何月何日迄ト其出納官吏ノ管理期シ取扱ノ期間トスヘシ  
三、管理期間現金ノ取扱ナキトキハ現金取扱ナキ旨ヲ記載シタル書面ヲ作り差出サシムヘシ  
四、本書ハ收入官吏現金前渡ヲ受クル出納官吏陸海軍召集諸費出納官吏歳入歳出外現金出納官吏ノ分ハ各區分別紙ニ調製スヘシ  
但警察署ノ分任收入官吏ニシテ警察分署ノ分任收入官吏ヲ兼掌スルモノハ區分セス肩書ニ其職名ヲ併記スヘシ  
五、拂出内譯ニ何何トアルハ保管物取扱規程ニ依リ金庫へ送付高、債主へ交付高、物主へ還付高、國幣社へ送付高、他廳へ送付高、殘金返納高等其他之レニ準シ區分ヲ爲スモノトス

檢定書 明治何年度(一年度ヲ通セサルトキハ取扱ノ期間) 現金 存 金額

手許 有 高 某地本(支)金庫保管高 右ハ青森縣主任收入官吏(主任收入官吏)官氏名所屬某所(署)分任收入官吏(某所)現金前渡ヲ受クル出納官吏(某所)署)歳入歳出外現金出納官吏(某所)署)轉免死亡ニ付)會計規則第九十一條ニ依リ定期(臨時)檢査ヲ執行候處前記ノ通り候也

青森縣主任收入官吏 官氏名 印 (某所)署)分任收入官吏 (某所)署)出納官吏(立會人) 官氏名 印

備考 一、用紙ハ美濃野紙トス 二、本書ハ收入官吏、現金前渡官吏、歳入歳出外現金出納官吏等各別ニ區

備考 年月日 官氏名 印

一、用紙半紙野紙トス

二、本書ハ收入官吏、現金前渡官吏、歳入歳出外現金出納官吏等各別ニ區

備考 年月日 官氏名 印



分別紙ニ調製スヘシ

三、陸海軍召集諸費支出納官吏ニ屬スルモノハ別ニ定ムル處ニヨル  
●陸海軍召集諸費支出規程ニ依ル本廳出納官吏ニ屬スル分任出納官吏任免方

明治三十七年二月三日  
達 第二十二號

陸海軍召集諸費支出規程ニヨル本廳出納官吏ニ屬スル分任出納官吏ノ任免方左ノ通心得ヘシ

一 警察署長分署長ハ別ニ辭令ヲ用ヒス動員下令ノ日ヲ以テ本廳陸海軍出納官吏所屬ノ分任出納官吏ニ任セラレタルモノトス  
一分任出納官吏在任中警察署長分署長交替ノ場合ハ別ニ辭令ヲ用ヒス其官職任免ノ日ヲ以テ分任出納官吏ニ任免セラレタルモノトス  
一 前項ノ場合ノ外分任出納官吏ノ解職ハ別段ノ達ニヨルモノトス

●現金前渡ヲ受クル出納官吏租稅外諸收入ノ收納ヲ取扱フ收入官吏歳入歳出外現金出納官吏任免方

明治四十三年四月十五日  
訓令 甲第三十六號

知事官房、内務部、警察部、郡役所、警察署、警察分署  
明治三十三年四月達内第百三十四號現金前渡ヲ受クル出納官吏租稅外諸收入ノ收納ヲ取扱フ收入官吏歳入歳出外現金出納官吏ノ任免方左ノ通り改正ス

一 徴兵費恩賜及救助費等、現金前渡ヲ受クル官吏ハ郡長ヲ以テ之レニ充ツ  
一 租稅外諸收入ノ收納ヲ取扱フ收入官吏ハ主任收入官吏トシ主任收入官吏ハ内務部長分任收入官吏ハ郡役所第一課長警察署長ヲ以テ之レニ充ツ  
但警察分署ノ分ハ其所管ノ警察署長トス  
一 歳入歳出外ノ現金出納官吏ハ内務部會計課長警察署長ヲ以テ之レニ充ツ

レタル各所(署)長ハ徴收簿ヲ備ヘ現金ヲ分任收入官吏ニ納付セシムヘキモノハ規程ニヨリ納入告知書ヲ發行シ即納セシムヘキモノハ金額事由納入住所氏名等ヲ分任收入官吏ニ告知スヘシ  
分任收入官吏ニ於テ前項ノ告知ヲ受ケタルトキハ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 規程第三條ニヨリ收納事務ヲ分掌セラレタル各所(署)長ハ毎月徴收簿ノ結果ニヨリ徴收額報告書ヲ調製シ翌月五日以内ニ本廳ヘ差出スヘシ

第五條 分任收入官吏ハ毎月現金拂込任譯書ヲ調製シ之レヲ翌月五日以内ニ主任收入官吏ヘ差出スヘシ  
主任收入官吏ニ於テハ前項ノ任譯書ニヨリ規程第六條ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 分任收入官吏ニ於テ現金ヲ領收セントキハ領收報告書ハ其時時之レヲ規程第三條ニヨリ收納事務ヲ分掌セラレタル各所(署)長ニ差出スヘシ  
收納事務ヲ分掌セラレタル各所(署)長ハ前項ノ報告書ヲ受ケタルトキハ之レニヨリ徴收簿ノ登記ヲ爲シ各目ニ區分シ之レニ其合金枚數ヲ記載セシ調書ヲ添ヘ存置シ之レニヨリ領收額報告書ヲ調製シ翌月五日以内ニ本廳ヘ差出スヘシ

第七條 主任收入官吏分任收入官吏ハ收入簿ヲ調製シ之レニ收入額金庫ヘ拂込額ヲ登記スヘシ

第八條 規程第三條ニヨリ收納事務ヲ分掌セラレタル各所(署)長及分任收入官吏ニ於テ報告書任譯書等ノ提出ヲ要セサルトキハ翌月五日以内ニ其旨本廳ヘ申報スヘシ

第九條 第二條乃至第七條ニヨリ調製スヘキ帳簿報告書任譯書等ハ別紙(別紙) 第二條書式

明治何年度何年何月分

何郡何何(目名ヲ) 未納額告知及督促報告

Table with columns for '納入告知' (Notification of Receipt), '納入額' (Amount Received), '納期' (Due Date), '納人住所' (Residence of Payer), '督促月日' (Due Date), '督促月日' (Due Date), '督促月日' (Due Date), '督促月日' (Due Date).

但警察分署ノ分ハ其所管ノ警察署長トス

一 前各項ノ出納官吏及收入官吏ハ別ニ辭令ヲ用ヒス本官職任免發令ノ日ヲ以テ任免セラレタルモノトス  
一 郡役所第一課長更迭ノトキハ即時郡長ハ本廳ヘ電報スヘシ

●保管物出納官吏交替引繼取扱方

明治三十七年二月二日  
訓令 第五號

内務部、警察部、警察署、警察分署  
明治三十七年四月一日後保管物品出納官吏交替ノトキハ前任保管物出納吏ニ於テ引繼ヘキ帳簿其他書類ノ目錄一通ヲ作リ後任保管物出納吏立會ノ上現物ニ照ラシ受授ヲナシタル後チ目錄ニ年月日及無相違受授ヲ了シタル旨ヲ記入シ受授出納吏ニ於テ署名捺印シ各一通ヲ所持スヘシ

第二款 收入

●諸稅外諸收入收納取扱手續

明治三十三年四月二十四日  
達 第二十二號

内務部、警察部、郡役所、警察署、警察分署  
明治三十三年度以降租稅外諸收入收納取扱手續左ノ通り相定ム  
但明治二十六年十二月二十七日日本縣達第六百六十五號調定元帳及調定額報告其他ハ明治三十二年度限り廢止ス

租稅外諸收入收納取扱手續  
第一條 租稅外諸收入ノ收納ハ明治三十三年四月六日大藏省訓令第二十七號諸收入收納取扱規程ニヨルノ外此手續ニヨリ取扱フヘシ  
第二條 本廳ニ於テ納入告知書ヲ發行セントキハ之レヲ所管ノ郡役所若シクハ警察署ヘ交付スヘシ  
郡役所警察署ニ於テ前項ノ納入告知書ヲ受ケタルトキハ之レヲ各納入ヘ交付シ納期日內ニ納入セシムヘシ納入ニ於テ前項ノ交付ヲ受ケ納期日ヲ過キ納付セサルモノアルトキハ本廳ニ於テハ之レヲ其所管ノ郡役所若シクハ警察署ニ告知スヘキニヨリ此告知ヲ受ケタルトキハ直チニ督促ヲ爲シ完納モシムヘシ督促スルトキ尙完納ニ至ラサルトキハ其理由ヲ詳記シ本廳ヘ申報スヘシ

第三條 諸收入收納取扱規程以下單ニ第三條ニヨリ收納事務ヲ分掌セラ

Table with columns for '年月日' (Date), '摘要' (Summary), '納入' (Receipt), '徴收額' (Collection Amount), '入不納額' (Receipt/Disbursement Amount), '未納額' (Unpaid Amount), '未納額' (Unpaid Amount).

備考  
一 納入告知書發付ノモノニテ未納額アルトキ調製其所管ノ郡役所若シクハ警察署ヘ送付スヘキニヨリ督促ノ上其月日及督促ハ書面ニテセシヤ吏員出張ノ際セシヤ呼出ノ上セシヤヤ相當欄内ヘ記載シ其主任押印スヘキモノトス

第三條書式 徴收簿

Table with columns for '年月日' (Date), '摘要' (Summary), '納入' (Receipt), '徴收額' (Collection Amount), '入不納額' (Receipt/Disbursement Amount), '未納額' (Unpaid Amount).



何ノ誰外何人分納入第何號	何月分計	...
同報告	累計	...
	何月分追次	...
	追次締高	...
	前葉締高	...
	何月分前葉締高	...
	計	...

備考  
 一、用紙美濃界トス  
 二、納入告知書ヲ發セズ現金領收スヘキモノアルトキハ本簿ヘ記載シ之レヲ分任收入官吏ヘ移シ分任收入官吏ハ之レニヨリ即納ノ手續ヲ爲シ本簿ヲ返付スヘキモノトス  
 三、本簿納入濟額ヲ記入スルハ分任收入官吏現金領收濟ノ報告書ニヨルモノトス  
 四、本簿ノ記載例ハ一二其概要ノ例ヲ示セシノミ  
 五、本簿ハ歳入科目ノ目毎ニ口座ヲ設ケルモノトス  
 六、納入告知書ノ番號ハ各目毎ニ一箇年度ヲ通スヘキモノトス  
 第四條書式

經第何號 大藏省主管  
 明治何年度歳入經常部

計				
---	--	--	--	--

年月日 某署長 官氏 名印  
 備考  
 一、用紙ハ半紙界トシ式ノ如ク初メノ二行ヲ明ケ置クヘシ  
 二、番號ハ一箇年度ヲ通シ付記スヘシ  
 第四條書式

經第何號 大藏省主管	明治何年度歳入經常部	明治何年何月官吏遺族扶助法納金徵收額報告書	主任者ノ印
官氏名	月俸額	納額	備考
郡書記 何某			何年何月何日發令月俸何圓ニ拜命ニ付日割何日分
同 何某			何年何月何日發令月俸何圓ヨリ何圓ニ昇給
郡視學 何某			月俸何圓ノ處何何ノ事故ニヨリ何月分全額(日割何日分)又ハ何何
計			

某郡長 氏 名印

明治何年何月罰金及科料徵收額報告書	主任者印		
種 類	人員	金 員	備 考
刑法違警罪			
本縣違警罪			
諸規則違犯			
計			

備考  
 一、用紙ハ半紙界トシ式ノ如ク初メノ二行ヲ明ケ置クヘシ  
 二、番號ハ一箇年度ヲ通シ付記スヘシ  
 第四條書式

經第何號 大藏省主管  
 明治何年度歳入經常部

事 由	金 員	備 考
何郡市町村何ノ誰何何金何何ノ事由ニヨリ何月何日沒收		
計		

備考  
 一、用紙ハ半紙界トシ式ノ如ク初メノ二行ヲ明ケ置クヘシ  
 二、番號ハ一箇年度ヲ通シテ付記スヘシ  
 三、俸給額ニ異動アルトキハ備考ニ其事由ヲ詳記スヘシ  
 第四條書式

經第何號 大藏省主管	明治何年度歳入經常部	明治何年何月學校職員退隱及遺族扶助法納金徵收額報告書	主任者ノ印
職氏名	月俸額	納額	備考
校長 何某			何年何月分
何何 何某			何年何月就職ニ付日割何日分
計			

備考  
 一、用紙ハ半紙界トシ式ノ如ク初メノ二行ヲ明ケ置クヘシ  
 二、番號ハ一箇年度ヲ通シテ付記スヘシ  
 三、俸給額ニ異動アルトキハ備考ニ其事由ヲ詳記スヘシ  
 第四條書式

何郡長 氏 名印



臨第何號 大藏省主管

明治何年度歳入臨時部

明治何年何月物品拂下代ノ内違警罪處分ニヨリ没收セシ

物品拂下代徴收額報告書 ○主任者ノ印

拂下年月日 品目單 價數量金 員 備 考

何年何月何日何何...

何何規則違犯ニ付同則何條ニヨリ(若クハ何規則ニヨリ)何郡何町村大字何何某ヨリ何年何月何日没收

Table with columns for date, item name, price/quantity, and official name. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

年月日

某署長

官氏 名印

備考

- 一、用紙ハ半紙界トシ式ノ如ク初メノ二行ヲ明ケ置クヘシ
二、番號ハ一箇年度ヲ通シテ付記スヘシ
三、本書ハ現金ニテ領收スヘキモノニ限り調製スヘシ

第五條書式

經臨第何號 大藏省主管

明治何年度歳入經常(臨時)部

明治何年何月現金徴收濟額報告書 ○主任者印

科目 分任收入官吏 官氏名領收額

Table with columns for date, item name, and official name. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

年月日

某郡長

氏 名印

又ハ

某署長

官氏 名印

備考

- 一、用紙半紙界トシ式ノ如ク初メノ二行ヲ明ケ置クヘシ
二、番號ハ經常臨時ニ區分各一箇年度ヲ通シテ附記スヘシ
三、本書ハ經常ト臨時ト區分別紙ニスヘキハ勿論警察署分ト警察分署分ト區分別紙ニ調製スヘシ

第七條書式

Table with columns for date, item name, and official name. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

年月日

要

受 拂 殘

明治何年 何ノ誰ヨリ領收

同 何ノ誰外何人分何ノ誰ヨリ領收

何 何月分領收額何金庫へ拂込

何月分計

明治何年何月分現金拂込濟任證書 ○主任者印

科目 前月迄拂込未濟 本月中現金拂込高 翌月へ越高 備 考

翌月ニ越シタルハ何何ノ事由ニヨル

Table with columns for date, item name, and official name. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

某所(署)

主任收入官吏官氏名所屬

分任收入官吏

官氏 名印

備考

- 一、用紙半紙界トス
二、本書ハ經常ト臨時トニ區分別紙ニ調製スヘシ
三、番號ハ經常ト臨時ト各一箇年度ヲ通シテ記載スヘシ
四、本書科目ノ欄ニハ歳入科目表ノ目名ヲ記載スヘシ

第六條書式

經第何號 大藏省主管

明治何年度歳入經常(臨時)部

Table with columns for date, item name, and official name. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

備考

- 一、用紙美濃界トス
二、本簿ハ現金ヲ納入ヨリ領收セシトキ受ノ區ニ記載シ金庫へ拂込ノトキ拂ノ區へ記載スルモノトス
三、本簿ハ歳入科目ノ目毎ニ口座ヲ設クルモノトス
四、本簿ハ現金出納官吏現現金出納簿ニ記載セシ一日分ヲ取纏メ其日ノ記帳トナスハ妨ケナキモノトス
五、毎月月計及累計ヲ附シ次ニ送ルトキハ追次締高前葉締高ヲ記シ尙月跨リトナルモノハ何月分追次何月分前葉締高ヲ記載スルモノトス 其例ハ歳入徴收簿ニヨル

● 不用物品及官沒品類處分手續

明治二十四年五月十三日 達第二百九十五號

内務部、警察部、郡役所、警察署、警察分署

不用物品及官沒品類處分手續(別冊)

第一條 凡ソ國庫ノ經濟ニ屬スル不用物品及官沒品並國稅滯納處分法ニ



依り買上品ハ此手續ニ據リ處分スヘシ  
 第二條 本手續ニ據リ處分スヘキ物品ノ各部課署 郡役所共 取扱ニ屬スルモノ左ノ如シ  
 内務部

〔第二課〕 竹木土石類 官有財産管理規則ニ據ルモノヲ除ク  
 但各省主管ニ係ルモノ

〔第四課〕 官沒品  
 但本廳廳費及徴兵費所屬ニ係ルモノ

但間接國稅犯則事件ニ付沒收品間稅分署長ヨリ引繼ニ係ルモノ

警察部  
 各警察署

官沒品  
 但拾得品竝賊捨置品ノ沒收ニ係ルモノ

〔直稅署〕  
 第二課 不用物品  
 但國稅徵收費所屬ニ係ルモノ

買上物品  
 但國稅滯納處分法ニ依り買上品直稅分署長ヨリ引繼ニ係ルモノ

郡役所 不用物品  
 但徴兵費所屬品ノ郡役所保管ニ係ルモノ

第三條 前條ノ物品ハ各課署ニ於テ左ノ區分ニ據リ處分ノ意見ヲ付シ  
 第一號書式ノ調書ヲ製シ 竹木土石類ノ人民ノ出願ニ其事由ヲ具シ指揮ヲ請フヘシ  
 但腐敗又ハ損失等ノ虞アルヲ以テ時日遷延スヘカラスト認ルトキハ處分濟ノ上具申スルコトヲ得

一 公賣ニ付スヘキモノ  
 一 隨意ノ契約ヲ以テ賣却スルモノ  
 一 棄却スヘキモノ  
 一 犯罪捜査等ノ爲メ存置ヲ要スルモノ

第四條 賣却ニ付スヘキ見込ノ物品ハ前條ノ同書ニ第一號書式調書ノ外

尚ホ物品賣買貸借取扱手續第四條ノ書類ヲ添附シテ差出スヘシ  
 第五條 各課署ニ於テ第三條ノ指揮ヲ受ケタルトキハ賣却スヘキモノハ物品賣買貸借取扱手續ニ據リ拂下ヲナシ棄却スヘキモノハ其品種ニ從ヒ不取締無之様適宜ニ處分シ存置スヘキモノハ之ヲ保管スヘシ  
 第六條 第五條ノ處分ヲ了シタルトキハ賣却セシモノハ物品賣買貸借取扱手續第十一條ニ據リ棄却セシモノハ第二號書式ノ證明書存置ニ係ルモノハ第三號書式ノ保管證書ヲ添ヘ其都度申報スヘシ  
 第七條 第一條ノ物品ヲ市町村長若クハ其他ニ一時保管セシムルトキハ其預リ證書ヲ徴スヘシ  
 第八條 物品看守料及運搬費等總テ費用ヲ要スルモノハ豫メ其旨ヲ具申シ指揮ヲ請クヘシ  
 第九條 凡ソ物品ヲ沒收シ又ハ沒收品及買上品ノ引繼ヲ受ケタルトキハ三日以内ニ第三條ノ手續ヲナスヘシ  
 第一號書式ノ一

何費所屬不用物品調書

品名	形質	數量	處分見込	事	由
何	何	何	入札拂	隨意契約何ノ事情アルニ依リ隨意契約ヲ以テ拂下ノ見込	
何	何	何	棄却	何ノ理由ニ付棄却ノ見込	

第一號書式ノ二

官沒物品調書

年月日	課長	官姓	名印
何	何	何	何
何	何	何	何
何	何	何	何

品名 形質 數量 引繼廳名 受犯人處分 事 由

拾得品竝賊捨置品ノ例

品名	形質	數量	別沒收拾得人處分	事	由
何	何	拾得品	入札拂		
何	何	賊捨置品	棄却	應禁物又ハ何ノ理由ニ付燒棄ノ見込	
何	何	同	隨意契約	何ノ理由ニ付隨意契約ニ依ルノ見込	

拾得品竝賊捨置品ノ例

年月日	課長	官姓	名印
何	何	何	何
何	何	何	何
何	何	何	何

品名 形質 數量 別沒收拾得人處分 事 由

第一號書式ノ三

品名	形質	數量	買上滯納人處分見込	事	由
何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何

右之通候也

第一號書式ノ三

國稅滯納處分法ニ據リ買上物品調査

年月日	署長	官姓	名印
何	何	何	何
何	何	何	何
何	何	何	何

品名 形質 數量 買上滯納人處分見込 事 由

右之通候也

年月日	課長	官姓	名印
何	何	何	何
何	何	何	何
何	何	何	何

品名 形質 數量 何 事 由

第二號書式

證明書

一何 品 何 品  
 是ハ何費所屬不用品何何ニ係ル官沒品(再應公賣ニ付スルモノ)入札人無之腐敗シテ價值ナキモノ(應禁物)ニ付棄却ノ儀何月何日第何號御指令ノ分  
 右何月何日正ニ棄却候也

第三號書式

保管證書

一何 品 何 程  
 是ハ何何ニ係ル沒收品何何ノ爲メ存置ノ儀何月何日第何號御指令ノ分  
 右正ニ保管候也

●水難救護法ニ依ル漂流物沈沒品ノ公賣  
 代金ニシテ國庫ノ所得トナルヘキ殘金



納付方

明治三十二年十二月九日 達第七十三號  
 内務部、郡役所、市役所、町村役場  
 明治三十三年法律第九十五號水難救護法ニヨリ漂流物及沈没品ノ公賣代金ニシテ國庫ノ取得トナルヘキ殘金ヲ生シタルトキハ其都度別紙書式ノ報告書ヲ調製シ所轄郡役所ヲ經由(市役所ハ直チニ)本廳ヘ差出スヘシ本廳ニ於テハ前項報告ヲ受ケタルトキハ納入告知書ヲ發付シ郡役所ヲ經由(市役所ハ直チニ)交付スヘシ  
 市町村長ニ於テ前項納入告知書ノ交付ヲ受ケタルトキハ殘金ヲ金庫ヘ納入スヘシ  
 漂流物及沈没品公賣代金國庫取得報告書  
 一金何程 (本行ノ金額ハ内譯ノ殘額計ト符合スヘキモノトス)  
 内譯

拾揚年月日	品名	數量	拾揚人住所氏名	公賣代事由	金額	仕拂額	殘額
計							

右報告候也  
 年 月 日  
 知事 宛  
 某市町村長 氏 名 印

備考  
 一 用紙ハ半紙野トス  
 一 仕拂額ノ欄事由ノ區ハ規則ニヨリ仕拂タル公告、保管、公賣評價等ノ各諸入費ヲ明瞭ニ記載シ金額ノ區ハ仕拂額ヲ掲出ノコト  
 一 殘額ノ欄ヘハ公賣代ヨリ諸入費仕拂額ヲ差引全ク國庫取得額ヲ記

載掲出ノコト

●東中津輕郡上北郡三戸郡收納科目ニ屬スル收納事務ヲ其所長ニ委任ノ件  
 明治三十三年四月十九日 達内第百五十五號  
 東中津輕、上北、三戸、郡役所  
 諸收入收納取扱規程改正ニヨリ明治三十三年度以降租稅外諸收入收納事務ノ内左記ノ科目ニ屬スル分ヲ更ニ其所長ニ委任ス  
 一 官吏遺族扶助法納金  
 一 學校職員退隱及遺族扶助法納金

官吏遺族扶助法第二條ニ依ル郡書記納金取扱心得

明治三十三年二月十四日 達内第百十二號 郡役所  
 明治二十三年法律第四十四號官吏遺族扶助法第二條ニヨリ郡書記ヨリ納付スル納金取扱方左ノ通り心得ヘシ  
 一、郡長ニ於テ郡書記俸給ノ仕拂切符ヲ發セシトキハ同時ニ其債主氏名金額計算ノ基ク處等詳細(集合若クハ總代人仕拂ナルトキハ其内譯書ヲ添ヘ)歳入調定官ヘ通知ヲナスモノトス  
 二、歳入ノ調定官ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ明治二十六年十一月二十九日大藏省訓令第四十二號諸收入收納取扱規程同年十二月二十七日縣達第六百六十五號ニヨリ即日分任收入官吏(即納)通知ヲ爲スモノトス  
 (前同文ニ付省略ス)

縣立師範學校中學校職員遺族扶助料法納金納付ノ件

明治二十六年三月十三日 達第四百四十一號  
 師範學校、中學校  
 明治二十三年法律第九十一號第十六條第一項ニ據リ國庫ヘ納付スヘキ校長及正教員俸給百分ノ一ハ明治二十五年勅令第五號第二條ニ基キ別紙書式ノ仕譯書ヲ添ヘ郡役所收入官吏ニ納付スヘシ  
 (別紙)用紙半紙野  
 明治何年度何月分國庫納金仕譯書

職氏名	月 俸 額	納 額	備 考
校長何ノ誰	○	○	
教諭何ノ誰	○	○	何月何日就職ニ付日割何日分
訓導何ノ誰	○	○	
合 計		○	

師範學校中學校校長正教員俸給百分ノ一納額報告方

明治二十六年五月二十二日 達第三百三十三號  
 師範學校、中學校  
 明治二十三年法律第九十一號第十六條第二項ニ據リ府縣ヨリ國庫ヘ納付スヘキ學校長及正教員等俸給百分ノ一ハ毎年其納期四月十日及七月十日ノ二回以前ニ別紙書式ニ依リ之ヲ本廳ニ報告スヘシ

(別紙) 明治何年度何月分國庫納金報告書

職氏名	月 俸 額	自何月支給額	同上百分ノ一	備 考
計				

備考  
 一 用紙半紙野紙初ノ三行ヲ存置スヘシ  
 某學校長 氏 名 印  
 明治二十六年九月十四日 達第五百一十四號  
 縣立八戸中學校  
 明治二十三年法律第九十一號第十六條ニ據リ國庫ヘ納付スヘキ校長及正教員俸給百分ノ一ハ明治二十五年勅令第五號第二條ニ基キ別紙書式ノ仕譯書ヲ添ヘ郡役所收入官吏ニ納付スヘシ  
 (書式中仕譯書ハ二六年達第一四一號ト報告書ハ二六年達第三三三號ト同一ニ付省略ス)

縣立農學校

明治三十二年二月七日 達内第百五十三號  
 縣立農學校  
 明治二十三年法律第九十一號第十六條第一項ニ據リ國庫ヘ納付スヘキ校長及正教員俸給百分ノ一ハ明治二十五年勅令第五號第二條ニ基キ別紙第一號書式ノ仕譯書ヲ添ヘ上北郡役所收入官吏ヘ納付シ同條第二項ニ據リ國庫ヘ納付スヘキ校長及正教員俸給百分ノ一ニ當ル金員ハ毎年其納期四月十日及十月十日二回以前ニ別紙第二號書式ニ依リ之



ヲ本廳へ報告スヘシ  
(書式ハ二六年達第五二四號ノ例ニ據ル)

明治三十四年二月八日  
達内第四十三號  
縣立青森中學校  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「上北郡役所」トアルハ「東津輕郡役所」ト改ム

明治三十四年二月八日  
達内第四十四號  
縣立弘前中學校  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「上北郡役所」トアルハ「中津輕郡役所」ト改ム

明治三十五年三月十五日  
達内第三十三號  
縣立弘前中學校木造分校  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「上北郡役所」トアルハ「西津輕郡役所」ト改ム

明治三十五年三月十九日  
達内第七十九號  
縣立八戸高等女學校  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「上北郡役所」トアルハ「三方郡役所」ト改ム

明治四十五年四月十八日  
達内第四百四十號  
北津輕郡立農學校  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「上北郡役所」トアルハ「北津輕郡役所」ト改ム

明治三十九年四月二十六日  
訓令乙第九十七號  
南津輕郡立農學校  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「校長及正教員金監書記」トアルハ「校長及教諭助教諭書記」ト「上北郡役所」トアルハ「南津輕郡役所」ト改ム

第四款 支出

● 雇員俸給支給規則

明治二十三年四月三十日  
達第四百六十三號  
內務部

雇員俸給支給規則左ノ通り相定メ本年度ヨリ施行ス

● 雇員俸給支給規則

第一條 國庫支辨ニ屬スル本縣雇員(徵稅支辨ノ分ヲ除ク)ノ俸給ハ此ノ規則ニ據リ支給ス

第二條 月給雇ノ俸給ハ毎月三十一日支給スルモノトシ休日ニ當ルトキハ順延ス

日給雇ノ俸給ハ毎月末日ニ支給スルモノトシ休日ニ當ルトキハ繰上ケトス

第五條 第六條ノモノニハ定日ニ拘ハラズ隨時支給スルコトヲ得若シ第六條ノ場合ニ於テ翌月以降ニ涉ルトキハ其全月分ハ本條ニ依ル

第三條 新任増給減給及他ヨリ轉職ノトキハ總テ發令ノ翌日ヨリ支給シ他(轉職ノトキハ發令ノ當日迄日割ヲ以テ支給ス

第四條 日給雇ノモノ私事ノ故障ニ由リ職務セサル日數ハ俸給ヲ支給セズ但公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若シクハ疾病ニ罹リ缺勤セシ日數及休暇日祭日ハ此ノ限ニアラス

第五條 廢職退職及死亡ノトキ月給雇ハ其月全月分ヲ支給シ日給雇ハ其當日第六條ノ場合ハ用濟ノ當日)マテ支給ス

第六條 廢職退職ノモノ事務引繼殘務調理ノ爲メ特ニ命ヲ受ケ公務ニ從事スルトキハ廢職退職ノ當月及翌月以降ニ涉ル全月分ハ全額一箇月未滿ハ日割ヲ以テ各從前ノ俸給ヲ支給ス

第七條 月給雇ノ者病氣ノ爲メ職務セサルコト九十日ヲ踰ユルモノハ俸給ノ半額ヲ減ス但公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若シクハ疾病ニ罹リ缺勤セシモノハ此限リニアラス

第八條 月給雇ノモノ私事ノ故障ニ由リ職務セサルコト三十日ヲ踰ユルモノハ俸給ノ半額ヲ減ス

第九條 第七條ノ場合ト第八條ノ場合ト相續テ起ルトキハ其日數ハ總テ

ト改ム

明治四十二年四月十三日  
訓令乙第二百五號  
青森縣立工業學校  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「校長及正教員金監書記」トアルハ「校長及正教員」ト「上北郡役所」トアルハ「三戸郡役所」ト改ム

明治四十一年三月二十六日  
訓令乙第四百六十二號  
弘前、青森、市役所  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「校長及正教員金監書記」トアルハ「圖書館長及司書書記」ト「上北郡役所」トアルハ「中津輕郡(弘前市役所)本廳(青森市役所)ハ收入官吏へ納付シト改ム

明治四十二年十二月十日  
訓令乙第二百八十二號  
八戸町立工業徒弟學校、八戸町役場  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「校長及正教員金監書記」トアルハ「校長及正教員」ト「上北郡役所」トアルハ「三戸郡役所」ト改ム

明治四十三年四月十三日  
訓令乙第二百五號  
青森縣立工業學校  
三十二年達内第五三號ト同文但シ「上北郡役所」トアルハ「中津輕郡役所」ト改ム

前後ヲ通算ス但第八條ノ期限ヲ過キ己ニ減俸ノモノ第七條ニ移ルモノ條ニ復セズ

第十條 賜暇忌引ノ場合ト第七條若シクハ第八條ノ場合ト連續スルトキハ其賜暇忌引ノ日數ヲ控除ス

第十一條 第七條若シクハ第七條ノ期限ヲ過キ己ニ減俸ノモノ賜暇忌引ニ連續シ其賜暇忌引後直ニ上廳スルモノハ該賜暇忌引ノ日ヨリ本俸ヲ支給ス但賜暇忌引ヲ過キ尙上廳セサルトキハ總テ減俸ノ額ヲ支給ス

第十二條 月給雇ニシテ陸海軍豫備後備又ハ補充兵役ニアル者及歸休兵タル者召集セラレタル場合ニ於テ解雇セラレサル間ノ月給ハ陸軍給與令又ハ海軍給與令ニヨリ俸給ヲ受ケル間其支給ヲ停止ス但其額月給額ヨリ寡少ナルトキハ其不足額ヲ補給ス

第十三條 日割計算ノ方法ハ其月ノ現日數ニ依ル但計算上單位未滿端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨トス

● 國庫所屬傭人給料支給規則

明治四十一年三月二十五日  
訓令乙第一百一號  
內務部 警察部

國庫所屬傭人給料支給規則左ノ通り相定ム

一 巡視給仕小使掃除夫水汲職工等ノ給料ハ毎月末日(休日ニ當ルトキハ繰上ケ)支給シ死亡解僱等ノ時ハ隨時支給ス

二 消防駐付夫年手當ハ年額ヲ二分シ九月三月ノ末日(休日ニ當ルトキハ繰上ケ)支給ス

三 給料ハ採用増給減給トモ總テ發令ノ當日ヨリ勤務日數ニヨリ支給ス但左ノ場合ハ勤務日數ニ計算ス臨時傭人ニ係ルモノハ此限リニアラス

一、一般ノ休日(休日前ヨリ缺勤引續キタルトキハ除ク)

二、公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若シクハ疾病ニ罹リタルトキ

三、父母ノ祭日

四、忌服

五、傳染病豫防法ニヨリ交通遮斷セラレタルトキ

一本文ノ規定ハ四十一年度ヨリ施行ス

● 縣内内國旅費減額ノ件

明治四十三年十月二十八日  
訓令甲第五十六號



知事官房、内務部、警察部、郡役所、警察署、警察分署  
國庫支辨ニ係ル内國旅費額本縣管内ニ限リ別表ノ通減額シ明治四十三年十一月一日ヨリ施行ス  
(別表)

内國旅費減額表

Table with columns for rank (奏任, 判任, 雇員), department (部長, 課長, 係長), and amount (車馬賃, 宿泊料, 一日當). Rows list various ranks and their corresponding allowances.

國庫給與内國旅費中移轉料支給規定

明治四十三年七月二十九日  
訓令甲第五十二號  
知事官房、内務部、警察部、郡役所、警察署、警察分署  
國庫ニ於テ給與ヲ要スル内國旅費中ノ移轉料ハ管内ハ甲號管外ハ乙號ニ依リ支給ス

Table with columns for rank (奏任, 判任, 雇員), amount (甲, 乙), and transfer material (移轉料). Rows list ranks and their respective transfer material amounts.

國庫支辨ノ判任官及雇員各種講習會へ出席者旅費額規定

明治四十二年七月八日  
訓令乙第五百五十四號  
知事官房、内務部、警察部  
國庫支辨ノ判任官及雇員ニシテ各種講習會へ出席セシトキハ講習地滞在ニ限リ判任官ハ日當一日金三十錢宿泊料一夜金七十錢雇員ハ日當一日金二十錢宿泊料一夜金五十錢ヲ支給ス

警視警部月額支給規則

明治三十八年四月一日  
達 第六號  
内務部、警察部、警察署、警察分署  
警視警部月額支給規則左ノ通相定ム  
第一條 警視警部月額支給規則  
表定ムル所ノ月額ヲ支給ス  
第二條 左ノ場合ハ通常旅費ヲ支給ス  
一 特命ニ依リ上司隨行ノトキ  
一 天災地變其他異狀ノ場合ニ際シ特ニ出張ヲ命セラレタルトキ  
一 本廳へ參廳ノトキ  
第三條 新任ノ者ニハ當該署へ著ノ翌日ヨリ轉免休職ノモノハ辭令到達ノ日迄死亡ノモノハ當日迄日割ヲ以テ支給ス  
第四條 病氣引籠職務上負擔及傳染病ニ罹リタル場合トモ又ハ忌引七日迄ハ全額ヲ支給ス賜暇及八日以上ノ病氣忌引ハ其日數ヲ控除シ日割ヲ以テ支給ス  
第五條 第二條ノ旅費及費途ノ異ナル用務ノ爲メ別ニ旅費ノ支給ヲ受ケタルトキハ其日數ヲ控除シ日割ヲ以テ支給ス  
第六條 所轄外出張及特別用務ノ出張先ヨリ直チニ所轄内通常用務ニ服シタルトキハ該地へ到着ノ翌日ヨリ本則ニ依リ月額ヲ支給ス  
第七條 事故ノ爲メ支給額ニ異動ヲ生シ日割計算ヲ要スルトキハ月額三十十分一ノ割合ヲ以テ其日數ニ應ジ之ヲ支給ス  
月額等級表

Table with columns for rank (警視, 警部, 警署, 警分署) and amount (七圓五十錢, 五圓十錢, 四圓六十五錢, 四圓二十錢, 三圓七十五錢).

方取計フヘシ (里程圖省略ス)  
異常ノ場合ニ於ケル旅費日當及實費請求手續  
明治二十三年六月六日  
達 第五百十一號

Table with columns for location (青森, 弘前, 八戸, 黒浪, 彦根, 五所, 七野, 田名), rank (署長, 次席), and amount (四圓, 三圓, 三圓, 三圓, 三圓, 三圓, 三圓, 三圓).

旅費計算上ニ關スル各郡里程圖配付ノ件

明治三十二年六月七日  
達内第二百四十三號  
内務部、警察部、郡役所、縣立學校、警察署、警察分署、縣立試驗場  
旅費計算上區區ニ不相成様別紙陸路里程圖ヲ調製配付候條右ニヨリ計算

申請書〇課署長ノ檢印  
今般何何ニ付何地へ出張ノ節何何ノ爲メ何地ヲ經ル旅費別紙調書ノ通又ハ今般何何ニ付何地へ出張ノ節何何ノ病ニ罹リ醫師某ノ治療ヲ受ケ或ハ川支雪支ノ爲メ何日間滞在日當別紙調書ノ通(醫師ノ診斷書又ハ所在警察官若クハ市町吏ノ證明書ヲ添フヘシ)又ハ今般上司隨行若クハ何何ノ爲メ何地へ急行出張ヲ命セラレタル車馬賃ノ實費別紙調書ノ通(上數里程及金額ノミヲ調ヘタルモノ)御渡相成候様致度此段申請候也  
右調査ヲ遂ケ候處相違無之候間御認許相成度候也  
年 月 日 知事 氏 名 宛 部長 氏 名 印  
(第二書式)  
第何號 官 職 氏 名  
何何ニ付何地へ出張ノ節何何ノ爲メ何地ヲ經ル旅費支給ノ件又ハ何何ニ付何地へ出張ノ節病氣ニ罹リ治療ノ爲メ或ハ何何ノ事故ニヨリ滞在日當



支給ノ件又ハ上司隨行或ハ何何ノ爲メ何地へ急行出張ヲ命シタル車馬費  
實費拂ノ件  
右認許ス  
年 月 日 知事 氏 名 印

●畜牛結核病検査員タル技手出張日額支給規定

明治四十三年八月一日  
訓令乙第百九十九號  
内務部、警察部

畜牛結核病検査ノ爲メ出張スル技手ニハ一日金一圓八十錢ノ日額旅費ヲ  
支給ス

●畜牛結核病検査助手タル雇獸醫出張日額支給規定

明治四十三年七月一日  
訓令乙第百五號  
内務部、警察部

畜牛結核病検査ノ爲メ出張スル雇獸醫ニハ一日金一圓三十錢ノ日額旅費  
ヲ支給ス

●土木係員月額旅費支給規則

明治三十八年四月二十七日  
達 第百六號  
内務部、警察部

土木係員月額旅費支給規則左ノ通り定メ明治三十八年度分ヨリ施行ス

土木係員月額旅費支給規則

第一條 土木管區及土木管區規定第十條ノ工場詰ノ者又ハ測量ニ從事ス  
ル者ノ旅費ハ本規則ニ依リ月額ヲ以テ支給ス但管區詰ノ者ヲ除ク外其  
ノ出張日數引續キ三十日ニ滿タサルトキハ此限リニアラス  
第二條 月額旅費ハ左ノ區分ニ依ル  
土木管區詰ノ者  
一、管區長 月額金二十四圓  
二、管區員 月額金十五圓  
三、補助員 月額金十二圓

土木管區規程第十條ノ工場詰ノ者

一、屬技手 月額金十五圓  
二、雇員 月額金十二圓  
測量ニ從事スル者

一、屬技手 月額金二十四圓  
二、雇員 月額金十五圓

第三條 出張ノ日數一箇月ニ滿タサルトキハ月額三十分ノ一ノ割ヲ以テ  
其日數ニ應シ支給ス

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ内國旅費規則ニ依リ普通旅費ヲ  
支給ス

一、派遣歸廳又ハ參廳ヲ命シタルトキ  
二、派遣地ヨリ他ニ臨時出張若ハ詰替ヲ命シタルトキ  
三、上司隨行又ハ本廳若ハ他廳官吏ト同行ヲ命シタルトキ  
四、特ニ急行ヲ命シタルトキ  
第五條 前條ノ普通旅費ヲ支給スル場合ハ其日數ヲ控除シ第三條ノ算出  
法ニ依リ殘日數ニ應シ月額旅費ヲ支給ス

附則  
明治三十三年五月達内第百七十二號及明治三十三年六月達内第二百十四  
號ハ廢止ス

●巡視給仕小使被服給與規定

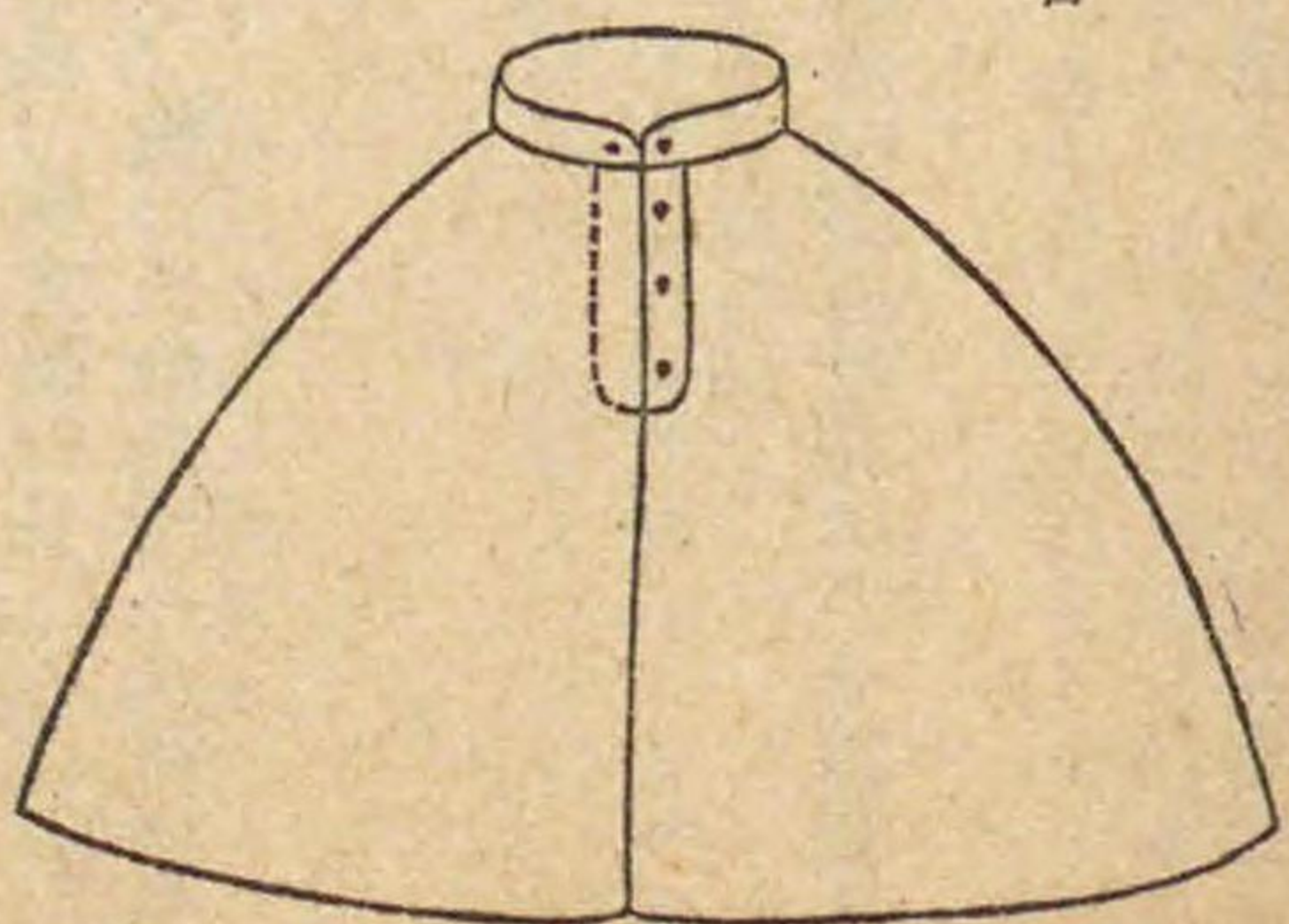
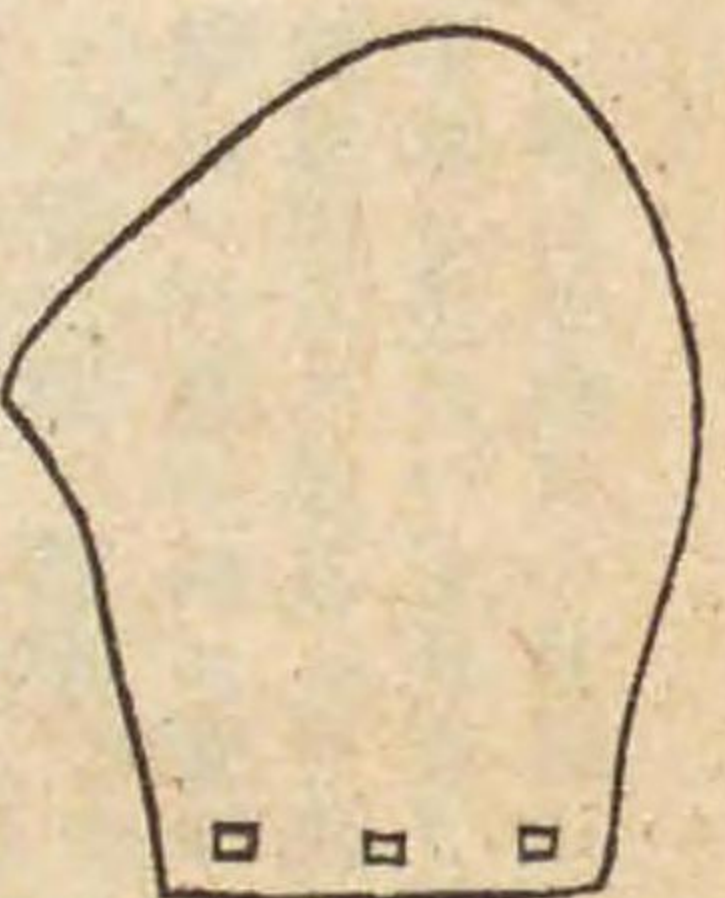
明治三十五年四月十八日判決

巡視兼給仕取縮  
一ヘル冬服 一 著 二箇年著用  
一白小倉夏服 一 著 同 上  
一靴 一 足 二箇年使用  
給 仕 一靴 一 足 同 上  
一ヘル服 一 著 二箇年著用  
一白小倉夏服 一 著 同 上  
一靴 一 足 一箇年使用  
小 使 一靴 一 足 二箇年同上

雨著 雨帽 付キ

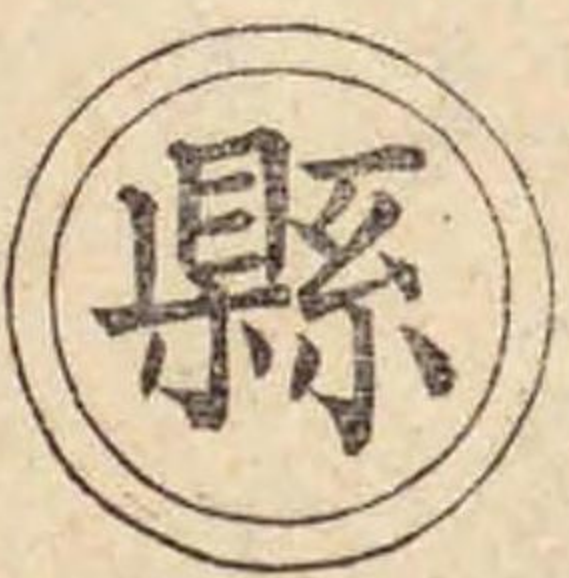
雨帽

雨著

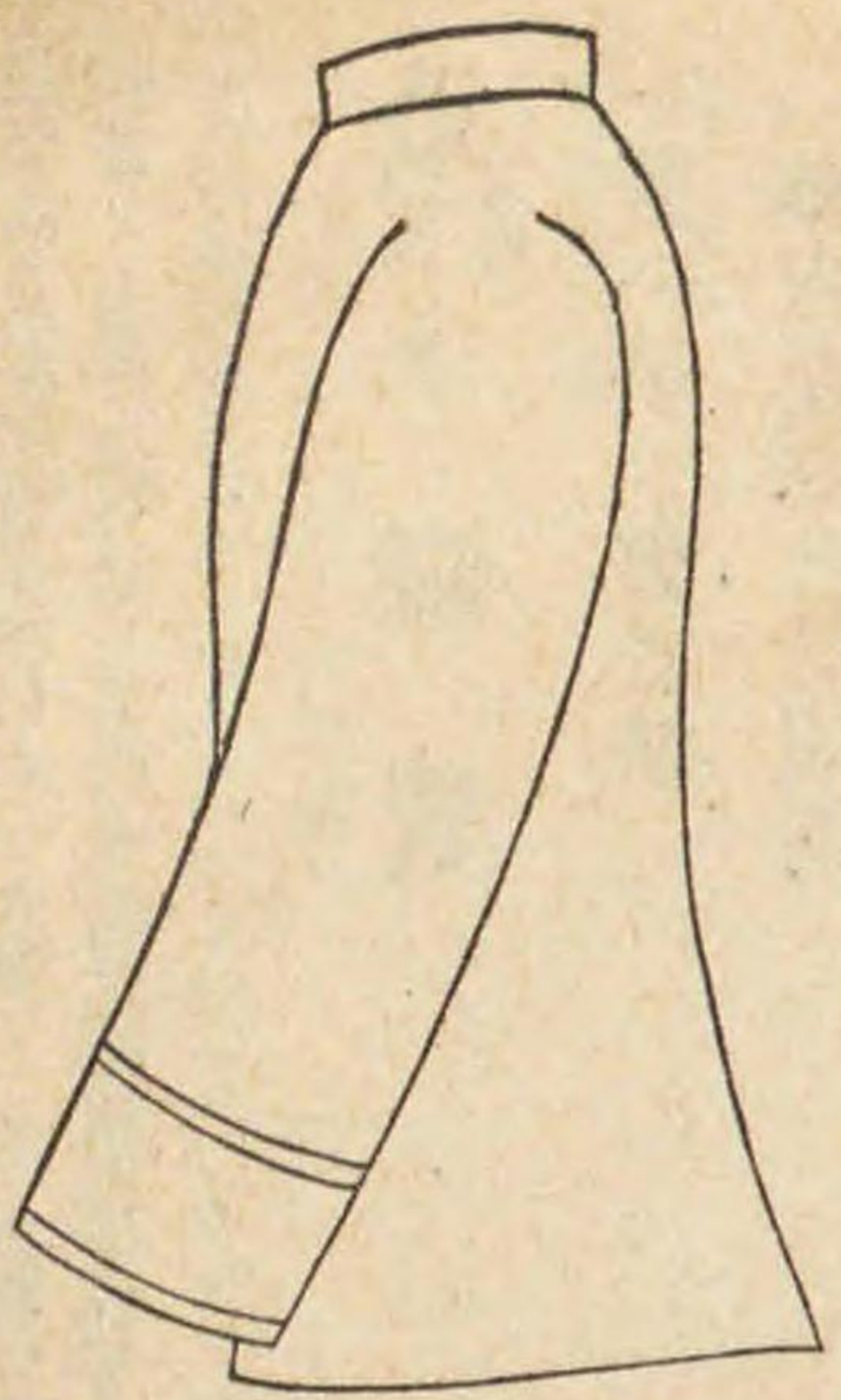


巡視ハ

小使ハ



袖章左ノ如シ



巡視、給仕  
冬服ニハ白色ニシ  
テ 幅ニ分  
夏服ニハ黑色ニシ  
テ 幅ニ分

一從來雨著ハ小使へ貸與無之御用物携帶ノ際不都合ノ虞有之ニ付貸與ノ  
儀三十六年三月十七日判決  
貸與スヘキ

●電信柱敷地手當請求提出方

明治二十九年三月十七日  
告示 第三十九號

明治二十三年四月四日遞信省告示第六十八號ニヨリ差出入電信柱敷地手  
當金請求書ハ所轄那役所ヲ經由シ尙總代人ノ名義ヲ以テ差出入請求書ニ  
ハ別紙書式ノ仕譯書ヲ添付スヘシ  
(別紙(用紙半紙又ハ半紙野)  
電信柱敷地手當金仕譯書

一金何程 總代人 何 ノ 誰 印

金何程 内 何町村大字何何 何ノ誰分

是ハ明治何年何月ヨリ何年何月迄本柱第何號第何號第何號何本  
支柱第何號第何號何本總計何本一本四錢ツ、  
金何程 何町村大字何何 何ノ誰分

是ハ何何  
是ハ何何

(以下前例ニ倣フテ記載スヘシ)  
右之通相違無之候也



明治二十九年三月十七日  
達内 第四百四十號

郡 役 所

明治二十三年四月遞信省告示第六十八號ニヨリ差出ノ電信柱敷地手當金請求書ハ調査ノ上毎月取纏メ其合金額及請求書ノ數ヲ記シタル書面ヲ添ヘ翌月五日限り差出スヘシ

### 第二章 縣費

#### 第一款 會計法

##### ●青森縣會計規則

明治四十三年三月二十八日  
縣令 第十九號

青森縣會計規則左ノ通定ム

#### 青森縣會計規則

##### 第一章 總則

- 第一條 縣ノ會計ハ別段ノ規定アルモノ、外ハ本則ニ依ル
- 第二條 歳入ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル
  - 一、納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度
  - 二、隨時ノ收入ニシテ納入ノ命令又ハ通知書ヲ發スルモノハ納入告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度
  - 三、隨時ノ收入ニシテ納入ノ命令又ハ通知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
  - 四、國庫下渡金、國庫補助金、密附金ノ類ハ其ノ豫算ノ屬スル年度
- 第三條 歳出ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル
  - 一、年金、扶助料、窮民救助費、賸債元利金、借家借地料ノ類ハ仕拂期日ノ屬スル年度
  - 二、諸拂戻及缺損拂ハ其ノ過誤納及缺損タルコトヲ決定シタル日ノ屬スル年度

- 三、俸給、諸備給、旅費、賄料、廣告料、通信運搬費ノ類ハ其ノ支給又ハ支出スヘキ事實ノ生シタル日ノ屬スル年度
- 四、療治料、行旅死亡人諸費、行旅病人諸費、市町村傳染病豫防費、補助ノ類ハ其ノ支給又ハ支出ノ確定シタル日ノ屬スル年度
- 五、退官賜金、死亡賜金ノ類ハ辭令日附ノ屬スル年度
- 六、工事費其ノ他物件購入、代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

- 七、前各號ニ掲ケル類別ニ入ラサル費用ハ其ノ仕拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 第四條 豫算ニ定メタル工事ノ請負又ハ物件ノ供給等ニシテ其ノ年度内ニ工事竣功又ハ物件完納ノ見込ナキモノハ其ノ契約ヲ爲スコトヲ得ス特殊ノ事情アルモノハ此ノ限ニ在ラス但シ各縣長ニ在テハ知事ノ許可ヲ受ケヘシ

- 第五條 年度開始前準備ノ爲メ工事又ハ物件ノ賣買借借ノ契約ヲ爲スコトヲ得但シ各縣長ニ在リテハ知事ノ許可ヲ受ケヘシ
- 第六條 收入及支出ノ命令ハ知事ニ於テ發スルモノ、外各縣長ニ委任ス

- 第七條 本則ニ於テ各縣長ト稱スルハ郡市長、縣立學校長、分校ニテハ首席者、警察署長、農事試驗場長、農事講習所長、輸出米検査所長及新設學園長ヲ謂フ
- 第二章 豫算
- 第八條 豫算ノ調製ハ別ニ定ムル所ニ依ル
- 第九條 豫算額ハ各縣長ニ令達ス
- 第十條 豫算ノ追加、更正等ヲ要スルトキ亦前條ニ同シ
- 第十一條 豫算ノ科目中目以上ノ金額ハ知事ノ許可ヲ得シテ流用スルコトヲ得ス

- 第三章 收入
- 第十二條 歳入ノ徵收ハ別ニ定ムル所ニ依ル
- 第十三條 縣稅外ノ諸收入ハ納入告知書ヲ發スルモノトス但シ場合ニ依リ直ニ現金ヲ徵收スルコトアルヘシ
- 第十四條 縣出納吏ニ於テ領收シタル金錢ハ即日縣金庫ニ拂込ムヘシ但

シ縣金庫連隔ノ地ニ在ル場合ハ毎月一回若クハ數回ニ拂込ムコトヲ得

#### 第十五條

納入告知書及拂込書ハ別ニ定ムル様式ニ依ル

#### 第四章 支出

#### 第十六條

經費其ノ他ノ支出ニハ仕拂命令ヲ發ス

#### 第十七條

仕拂命令ハ債主若クハ其ノ代理人ノ爲ニスルニ非サレハ之ヲ發スルコトヲ得但シ現金前渡ハ此ノ限ニ在ラス

#### 第十八條

總テ仕拂ヲ爲スニハ債主若クハ其ノ代理人ノ請求書ヲ徵ス

#### 第十九條

出張先ニ於テ特ニ經費ノ仕拂ヲ要シ其ノ他必要ナル場合ハ縣出納吏ニ現金前渡ヲ爲スコトヲ得

#### 第二十條

左ノ諸費ニ限リ前金拂ヲ爲スコトヲ得

#### 一、歸郷旅費

#### 二、巡查管内赴任旅費

#### 三、他府縣ト連帶支辨スル經費

#### 四、行政訴訟豫納金

#### 五、機密費

#### 六、官報、法令全書及職員錄代

#### 七、保護預ケ手数料

#### 八、前各號ノ外前金拂ヲ爲スニ非サレハ買入又ハ借入其ノ他ノ契約ヲ爲シ能ハサルモノハ知事ノ許可ヲ受ケ前金拂ヲ爲スコトヲ得

#### 第二十一條

左ノ諸費ニ限リ當該官吏又ハ吏員職員ニ對シ概算拂ヲ爲スコトヲ得

#### 一、旅費

#### 二、測量費及人夫賃

#### 三、修學旅行費

#### 四、試驗費

#### 五、訴訟費

#### 六、囚人及刑事被告人押送費

#### 七、前各號ノ外必要ノ場合ニシテ知事ノ許可ヲ受ケタルモノ

#### 第二十二條

經費其ノ他一切ノ支出ハ總括拂ヲ爲スコトヲ得

#### 第二十三條

工事又ハ物件ニシテ契約アルモノハ當該官吏又ハ吏員職員ノ證明ニ依リ其ノ既濟部分ニ對シ該費ノ幾分ヲ仕拂フコトヲ得

#### 第二十四條

仕拂命令ヲ債主ニ交付スルトキハ仕拂命令案内ヲ縣金庫ニ

交付ス

#### 第二十五條

縣金庫ニ集合仕拂命令、送金仕拂命令ヲ發付スルトキハ債主ニ仕拂通知書ヲ交付ス

#### 第二十六條

仕拂命令及仕拂通知書ハ別ニ定ムル様式ニ依リ調製ス仕拂命令及仕拂通知書ハ誤謬書損ノ爲金額及氏名ヲ塗抹訂正スルコトヲ得

#### 第二十七條

縣金庫ハ仕拂命令又ハ仕拂通知書持參人ニ對シ即時該表面記載ノ金額ヲ仕拂フヘシ

#### 左ノ場合ニ於テハ事由ヲ仕拂命令又ハ仕拂通知書持參人ニ告ケ仕拂ヲ拒ミ同時ニ仕拂命令ニ署名シタル仕拂命令官ニ通知スヘシ

#### 一、仕拂命令ノ案内到着セサルトキ

#### 二、仕拂命令其ノ案内ト符合セサルトキ

#### 三、仕拂命令、仕拂通知書ヲ汚損シ其ノ要領ヲ認メ難キトキ

#### 四、仕拂命令ト仕拂通知書ト符合セサルトキ

#### 五、仕拂命令、仕拂案内、仕拂通知書ニシテ違式ナルトキ

#### 第二十八條

仕拂命令、仕拂通知書ノ書換若ハ再渡ヲ請求スルモノアルトキハ詳細其ノ事實ヲ審査シ再發ヲ爲スコトヲ得

#### 第五章 決算

#### 第二十九條

決算ノ調製ハ別ニ定ムル所ニ依ル

#### 第六章 工事及物件

#### 第一款 總則

#### 第三十條

物件供給ノ既濟トナリタル部分ニ對スル金額支拂ニ關スル契約ハ其ノ既濟部分ニ對スル金額ノ十分ノ八以内トス

#### 第三十一條

物件ノ賣買借借ハ總テ公告シテ競争ニ付ス但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ契約ニ依ルコトヲ得

#### 一、一人又ハ一會社ノ專有ノ物品ヲ買入レ又ハ借入ル、トキ

#### 二、急施ヲ要シ若ハ第四十七條ノ場合物件ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

#### 三、特殊ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ依リ生産、製造ノ場所又ハ生産製造者ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ

#### 四、特別ノ技術家ニ命スルニ非サレハ製造シ得ヘカラサル製造品ヲ買入ル、トキ

#### 五、土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其ノ位置又ハ構造等ニ限リ



アル場合  
 六、試験ノ爲工作製造ヲ命シ又ハ物品ヲ買入ル、トキ  
 七、政府若ハ公共團體ノ設置ニ係ル農工業場又ハ教育場等ノ生産物製  
 造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ  
 八、慈善ノ爲設立セル教育場ノ貧民又ハ罹災民ヲ備役シ及其ノ生産又  
 ハ製造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ  
 九、競争ニ付スルモ入札者ナキトキ又ハ再入札ニ付スルモ仍豫定價格  
 ニ達セサルトキ  
 十、三百圓ヲ超エサル物件ノ買入借入ノ契約ヲ爲ストキ  
 十一、公債證書ヲ買入ル、トキ  
 十二、縣立ノ學校、農工場等ノ生産、製造物品、漁獲物ヲ賣却スルト  
 キ  
 十三、五十圓未満ノ物品ヲ賣却スルトキ  
 十四、牛馬四ヲ買入又ハ借入ル、トキ  
 十五、職工、人 及囚徒ヲ雇傭スルトキ  
 十六、同一物件ノ賣買貸借ヲ既約ノ請負人ニ追加請負ハシムルトキ  
 十七、官署又ハ公共團體ニ對シ物件ノ賣買貸借ヲ要スルトキ  
 十八、直接公用ニ供スル爲若ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲又ハ罹  
 災民ノ爲物件ヲ貸渡シ若ハ賣渡ストキ  
 十九、縣外ニ非サレハ買入難キ物品ヲ購入スルトキ  
 二十、前各號ノ外隨意契約ヲ必要ト認メ知事ノ許可ヲ受ケタルトキ  
 第三十二條 物件供給ノ競争ニ加ハラントシ若ハ其ノ契約ヲ結ハムトス  
 ル者ハ其ノ物件ノ供給ニ二箇年以來從事スルコトヲ證明スヘシ  
 物件ノ性質ニ依リ必要アルトキハ前項ノ外特ニ其ノ資格ヲ定ムルコト  
 ヲ得  
 第三十三條 物件ノ供給ニシテ無制限ノ競争ニ付スルヲ不利トスルトキ  
 ハ指名競争ニ付スルコトヲ得  
 第三十四條 公告書ニハ左ノ事項ヲ掲載シ入札期日七日以前ヨリ新聞紙  
 其ノ他ノ方法ヲ以テ廣告ス  
 一、物件ノ種類及數量  
 二、契約書案及設計書標本ヲ示ス場所並其ノ契約締結擔任者ノ官職氏  
 名  
 三、競争執行ノ場所及日時

四、入札保證金額ノ歩合  
 五、前各號ノ外必要ナル事項  
 第三十五條 物件賣買貸借ノ契約ヲ爲ストキハ二人以上ノ保證人ヲ定メ  
 シム  
 第三十六條 縣有財産管理及物品出納並土木工事ニ關スル規程ハ別ニ定  
 ムル所ニ依ル  
 第二款 競争契約  
 第三十七條 競争ハ總テ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フ  
 第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタルモノハ爾後二箇年間物件  
 賣買貸借ノ競争ニ加ハルコトヲ得ス其ノ之ヲ代理人支配人番頭又ハ手  
 代トシテ使用シタルモノ亦同シ  
 一、物件供給ノ契約ヲ履行スルニ當リ故意ニ物件ヲ粗糲ニシタル者  
 二、競争ニ際シ漫ニ價格ヲ競上ケ若ハ競下クルノ目的ヲ以テ連合ヲ爲  
 シタル者  
 三、競争ノ加入ヲ妨害シ若ハ競落者ノ契約履行ヲ妨害シタル者  
 四、物件ノ検査監督ニ際シ掛員ノ職務執行ヲ妨ケタル者  
 五、前各號ニ該當スト認メラレタル後二箇年ヲ經過セサル者ヲ物件賣  
 買ニ際シ代理人支配人番頭又ハ手代トシテ使用スル者  
 第三十九條 前條ニ該當シタル者ヲ入札代理人トシテ使用スル者ハ競争  
 ニ加ハルコトヲ得ス  
 第四十條 物件賣買ノ競争ニ加ハラムトシ若ハ其ノ契約ヲ結ハムトスル  
 者ニ對シテハ保證金ヲ納メシム其ノ種類價格ハ別ニ定ムル所ニ依ル  
 第四十一條 前條ノ保證金ハ左ノ制限ニ依ル  
 一、競争ニ加ハラムトスル者ハ各自其ノ見積代金ノ百分ノ五以上  
 二、契約ヲ結ハムトスル者ハ其ノ代金ノ百分ノ十以上  
 第四十二條 入札保證金ハ落札人定マリタルトキ又ハ競争入札ヲ取消シ  
 タルトキ直ニ之ヲ還付ス但シ落札人ニハ契約保證金納付ノ後之ヲ還付  
 ス  
 入札保證金ハ本人ノ申請ニ依リ契約保證金ニ轉納スルコトヲ得  
 第四十三條 競争ノ落札者ニシテ指定ノ期日以内ニ契約ヲ結ハサルトキハ  
 其ノ保證金ハ縣ノ所得トス  
 前項ノ保證金公債證書ナルトキハ收得後三日以内ニ限り保證金ト同額  
 ノ現金ヲ納付シテ公債證書ヲ引換ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 競争入札ヲ行フトキハ其ノ物件ノ價格ヲ豫定シ之ヲ封書ト  
 シテ開札ノ場所ニ置ク  
 第四十五條 開札ハ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フ  
 入札人ハ一旦提出シタル入札書ノ引換變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得ス  
 入札人又ハ其ノ代理人若シ開札ノ場所ニ出席セサルトキハ其ノ入札ハ  
 無効トス  
 競争加入ノ資格ナクシテ爲シタル者ノ入札ハ無効トス  
 第四十六條 物件ノ買入借入ノ競争入札ハ最低金額拂下貸渡競争入札ハ  
 最高金額ヲ以テ落札ト定ム  
 第四十七條 入札ノ金額豫定價格ノ制限ニ達セサルトキハ再度ノ入札ニ  
 付ス但シ場合ニ依リ直ニ出席入札人ヲシテ再度ノ入札ヲ爲サシムルコ  
 トヲ得  
 前項再度入札ノ場合ハ當初ノ豫定價格其ノ他ノ事項ヲ變更スルコトヲ  
 得ス  
 第四十八條 落札者契約ヲ結ハサルトキハ更ニ競争ヲ行フ  
 前項ノ場合ニ於テハ第三十四條ノ期限ヲ三日迄ニ短縮スルコトヲ得  
 第四十九條 落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタルモノ數名アルトキハ  
 直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム  
 第五十條 入札ノ際不正又ハ競争ノ實ナシト認ムルトキハ其ノ入札執行  
 ヲ停止シ若ハ取消スコトアルヘシ  
 第五十一條 物件ノ賣買貸借契約書ニハ其ノ契約セムトスル事項設計仕  
 樣、落成期限、受渡期限及場所、保證金額、契約違背ノトキ保證金ニ  
 對スル處分其ノ他必要ナル條件ヲ掲ケヘシ  
 契約書ハ二通ヲ作リ當事者署名調印シ各其ノ一通ヲ領スヘシ  
 第五十二條 物件ノ賣買貸借ノ契約ハ内務部長、警察部長又ハ廳長ヲシ  
 テ締結セシム  
 第三款 隨意契約  
 第五十三條 隨意契約ハ第五十一條第五十二條ニ準據シ之ヲ作ルヘシ  
 第五十四條 隨意契約ノ場合ニ於テハ保證金ハ第四十條第四十一條ニ依  
 ル  
 但シ場合ニ依リ保證金ヲ免除スルコトヲ得  
 第五十五條 前條但書ニ依リ保證金ヲ免除シタルトキハ本人ノ署名捺印

セル請書其ノ他ノ書類ヲ以テ契約書ニ代用スルコトヲ得  
 第五十六條 隨意契約ノ場合ニ於テハ第三十二條ノ規定ニ依ラサルコト  
 ヲ得  
 第五十七條 競争ニ付シタル後隨意契約ヲ爲ス場合ハ當初ノ價格及其ノ  
 事項ヲ變更スルコトヲ得ス  
 第七章 縣出納吏  
 第五十八條 縣廳及各縣ニ縣出納吏ヲ置ク  
 第五十九條 縣出納吏交替ノトキハ前任者ニ於テ出納ニ關スル一切ノ調  
 書ヲ作リ五日以内ニ後任者ヘ引繼ヲ爲スヘシ  
 第六十條 前條ノ授受ヲ了シタルトキハ前後任者連署ノ上五日以内ニ其  
 ノ旨知事ヘ届出ツヘシ  
 第六十一條 縣出納吏死亡其ノ他ノ事故ニ由リ第五十九條ノ調書ヲ自身  
 ニ作ル能ハサルトキハ知事ニ於テ官吏若ハ吏員ニ命シテ之ヲ調製セシ  
 ム  
 第八章 現金保管  
 第六十二條 縣金庫ノ位置、名稱及區域ハ別ニ之ヲ定ム  
 第六十三條 縣金庫ノ現金取扱ニ係ル事項及保管金額ニ對スル擔保ノ種  
 類、程度、價格ハ別ニ定ムル所ニ依ル  
 各種ノ元資金ヲ預ケ入ル、場合ニ徴スル擔保亦同シ  
 第九章 帳簿  
 第六十四條 縣廳、各縣及縣金庫ニ備フヘキ帳簿ノ種類ハ別ニ定ムル所  
 ニ依ル  
 第十章 雜則  
 第六十五條 金銭出納ニ關スル證據書類ニ記載スル文字ハ改削塗抹スル  
 コトヲ得ス但シ誤記訂正ノ場合ハ其ノ箇所ニ本人ノ印ヲ捺スヘシ  
 金銭ニ關スル一、二、三、十、廿、卅ノ文字ハ壹、貳、參、拾、貳拾  
 參拾ノ字體ヲ用ウヘシ  
 第十一章 附則  
 第六十六條 本則ハ明治四十三年度所屬ヨリ之ヲ施行ス



青森縣會計規則施行細則

明治四十三年三月二十九日 訓令 甲 第十號

知事官房、内務部(警察部)、郡役所、警察署、縣立學校、水産試驗場、農事試驗場、農事講習所、輸出米檢査所、新城學園、市役所、縣金庫

青森縣會計規則施行細則左ノ通定メ明治四十三年度所屬ヨリ之ヲ施行ス

第一章 豫算

第一條 知事官房主事、内務部、警察部各課長ハ別ニ定ムル所ノ式ニ依リ其ノ主管ニ屬スル歳入歳出ノ豫算書ヲ調製シ前年度八月三十一日迄ニ庶務課ヘ送付スヘシ

第二條 庶務課ハ各豫算書ヲ調査編製シ知事ノ決裁ヲ受ケ縣會ノ議決ニ付スルノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 歳入歳出豫算額ハ年度開始前ニ款項目節ニ区分シ各主務課ニ於テ起案シ知事ノ決裁ヲ受ケ各課ニ令達ノ手續ヲ爲スヘシ但シ歳出豫算ノ令達ヲ爲シタルトキハ會計課ニ於テ縣本金庫ヘ其ノ豫算額ヲ通達スヘシ

第四條 豫算ノ追加更正項ノ適用若ハ豫備費ノ支出ヲ要スルトキハ前三條ノ例ニ依ルヘシ

第五條 通常經費ハ其ノ十二分ノ一ヲ以テ一箇月ノ仕拂豫算額ト看做ス若シ翌月分ノ繰上ケヲ要スルトキハ其ノ都度知事ニ稟請スヘシ

第六條 各課長ニ於テ歳出豫算科目中項目ヲ流用セムトスルトキハ計算書ヲ調製シ知事ニ稟請スヘシ

第七條 豫算ノ令達、増減、過剩額ハ記帳命令ヲ作り知事又ハ廳長ノ決裁ヲ受クヘシ

第二章 收入

第八條 本廳各主管ニ屬スル收入ヲ要スルトキハ別ニ規定アルモノ、外各主務ニ於テ起案シ知事ノ決裁ヲ受ケ該決裁書ニ證據書類ヲ添ヘ會計課ヘ移送スヘシ

第九條 各課長ニ於テ歳入報告書提出ノ場合ハ縣金庫ヨリ差出シタル歳入月計對照表ヲ添付スヘシ

第十條 本廳ニ於テハ縣稅其ノ他ノ收入報告書ニ依リ記帳命令ヲ作り知事ノ決裁ヲ受クヘシ

第十一條 收入金ノ所屬年度又ハ科目等ノ更正ヲ要スルトキハ更正命令ヲ作り知事又ハ廳長ノ決裁ヲ受クヘシ但シ縣金庫ニ關係アルモノハ同時ニ之ヲ當該縣金庫ニ通知スヘシ

第十二條 過年度ニ屬スル收入金ハ雜收入トシテ取扱ヒ整理スヘシ

第十三條 收入金ノ過誤納拂戻ハ歳出金任拂ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第三章 支出

第十四條 仕拂ヲ要スルトキハ本廳各主管ニ屬スルモノハ其ノ主務ニ於テ起案シ知事ノ決裁ヲ受ケ各債主ヨリ請求書ヲ徴シ之ニ決裁書ヲ添ヘ會計課ヘ移送スヘシ同課ニ於テハ該書類ニ依リ仕拂案ヲ作り知事ノ決裁ヲ受ケ仕拂命令ヲ調製スヘシ

第十五條 物品購入ニ係ルモノハ見積書ニ依リ内務部所屬ノモノハ會計課ニ於テ警察部所屬ノモノハ警務課ニ於テ起案シ知事ノ決裁ヲ受ケ前條ノ例ニ依リ會計課ニ於テ仕拂命令ヲ調製スヘシ但シ法定ノ價格アルモノ及金額一圓未満ニ係ルモノハ見積書ヲ省クコトヲ得

第十六條 各課長ニ於テスル仕拂ハ前二條ニ準ス

第十七條 俸給及諸給與ノ類ハ主任者ノ調製シタル書類ヲ以テ請求書ニ代フルコトヲ得

第十八條 代理人ヲ以テ請求スル場合ハ委任狀ヲ添付セシムヘシ

第十九條 銀行會社其ノ他ノ法人ヘ支拂ヲ爲スヘキ金額ノ請求書ニハ其ノ法人ノ理事、取締役若クハ業務擔當者其ノ他ノ法人ヲ代表スヘキモノノ署名捺印ヲ爲サシムヘシ

第二十條 仕拂命令ハ目毎ニ之ヲ發スヘシ

仕拂命令ニハ債主若ハ其ノ代理人ノ氏名、仕拂フヘキ金額、年度、番號、科目、年月日ヲ記載スヘシ

支料科目ノ同一ナルモノハ數人ノ債主ニ對シ集合仕拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ此場合ハ金額氏名表ヲ添付スヘシ

第二十一條 仕拂命令ヲ債主ニ交付セムトスルトキハ豫メ仕拂案内ヲ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十二條 仕拂命令ヲ債主ニ交付シタルトキハ其ノ領收證ヲ徴スヘシ但シ集合仕拂命令及送金仕拂命令ハ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十三條 前條但書ニ依リ仕拂命令ヲ縣金庫ニ交付スルトキハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ領收ノ證印ヲ徴スヘシ

第二十四條 仕拂命令又ハ現金ヲ代人ニ交付シタルトキハ領收證書ニ委任狀ヲ添付セシムヘシ若シ難キ事故アルモノハ寫ヲ差出サシメ其ノ事由ヲ記載セシムヘシ

遺族ニテ受取ルヘキモノハ戶籍簿本ヲ添付セシムヘシ

第二十五條 電信爲替ヲ以テ送金ヲ要スルトキハ其ノ仕拂命令表面ニ電信爲替ノ旨ヲ記載シテ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十六條 仕拂命令用紙ハ鎖鑰アル函類ニ藏メ之ヲ保管スヘシ

第二十七條 仕拂命令、仕拂通知書未渡ノモノアルトキハ日點檢シタル上前條ノ例ニ依リ保管スヘシ

第二十八條 仕拂命令若ハ仕拂通知書再發ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ理由ヲ具シ知事又ハ廳長ノ決裁ヲ受ケ再發ノ旨ヲ表記シテ發付スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ縣金庫ニ於テ未渡ナルコトヲ證明シタル債主ノ届書ヲ徴スヘシ

第二十九條 縣出納吏ニ現金前渡ヲ爲ストキハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ要ス

一 當時ノ費用ニ係ルモノハ每一箇月以内ノ豫定額

二 臨時ノ費用ニ係ルモノハ其ノ事件ノ施行ヲ妨ケサル限度ニ於ケル分割額

第三十條 現金前渡ヲ爲シタルトキハ其ノ金額三分ノ二以上ノ仕拂證明アルニ非サレハ再ヒ前渡ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 概算渡ヲ受ケタル官吏又ハ吏員、職員ハ其ノ事件終了後又ハ歸廳後五日以内ニ精算スヘシ但シ時宜ニ依リ臨時精算セシムルコトアルヘシ

概算拂ニ對スル精算未済ノモノアルトキハ再ヒ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 現金前渡金其ノ他ノ支拂殘金ハ出納閉鎖以前ニ完納スヘシ

課ヘ移送スヘシ同課ニ於テハ收入命令ヲ作り知事ノ決裁ヲ受ケ拂込書ヲ製シ縣金庫ヘ拂込ミノ手續ヲ爲スヘシ

各課ニ於テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第九條 各課長ニ於テ縣稅其ノ他ノ收入報告書提出ノ場合ハ縣金庫ヨリ差出シタル歳入月計對照表ヲ添付スヘシ

第十條 本廳ニ於テハ縣稅其ノ他ノ收入報告書ニ依リ記帳命令ヲ作り知事ノ決裁ヲ受クヘシ

第十一條 收入金ノ所屬年度又ハ科目等ノ更正ヲ要スルトキハ更正命令ヲ作り知事又ハ廳長ノ決裁ヲ受クヘシ但シ縣金庫ニ關係アルモノハ同時ニ之ヲ當該縣金庫ニ通知スヘシ

第十二條 過年度ニ屬スル收入金ハ雜收入トシテ取扱ヒ整理スヘシ

第十三條 收入金ノ過誤納拂戻ハ歳出金任拂ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第三章 支出

第十四條 仕拂ヲ要スルトキハ本廳各主管ニ屬スルモノハ其ノ主務ニ於テ起案シ知事ノ決裁ヲ受ケ各債主ヨリ請求書ヲ徴シ之ニ決裁書ヲ添ヘ會計課ヘ移送スヘシ同課ニ於テハ該書類ニ依リ仕拂案ヲ作り知事ノ決裁ヲ受ケ仕拂命令ヲ調製スヘシ

第十五條 物品購入ニ係ルモノハ見積書ニ依リ内務部所屬ノモノハ會計課ニ於テ警察部所屬ノモノハ警務課ニ於テ起案シ知事ノ決裁ヲ受ケ前條ノ例ニ依リ會計課ニ於テ仕拂命令ヲ調製スヘシ但シ法定ノ價格アルモノ及金額一圓未満ニ係ルモノハ見積書ヲ省クコトヲ得

第十六條 各課長ニ於テスル仕拂ハ前二條ニ準ス

第十七條 俸給及諸給與ノ類ハ主任者ノ調製シタル書類ヲ以テ請求書ニ代フルコトヲ得

第十八條 代理人ヲ以テ請求スル場合ハ委任狀ヲ添付セシムヘシ

第十九條 銀行會社其ノ他ノ法人ヘ支拂ヲ爲スヘキ金額ノ請求書ニハ其ノ法人ノ理事、取締役若クハ業務擔當者其ノ他ノ法人ヲ代表スヘキモノノ署名捺印ヲ爲サシムヘシ

第二十條 仕拂命令ハ目毎ニ之ヲ發スヘシ

仕拂命令ニハ債主若ハ其ノ代理人ノ氏名、仕拂フヘキ金額、年度、番號、科目、年月日ヲ記載スヘシ

支料科目ノ同一ナルモノハ數人ノ債主ニ對シ集合仕拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ此場合ハ金額氏名表ヲ添付スヘシ

第二十一條 仕拂命令ヲ債主ニ交付セムトスルトキハ豫メ仕拂案内ヲ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十二條 仕拂命令ヲ債主ニ交付シタルトキハ其ノ領收證ヲ徴スヘシ但シ集合仕拂命令及送金仕拂命令ハ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十三條 前條但書ニ依リ仕拂命令ヲ縣金庫ニ交付スルトキハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ領收ノ證印ヲ徴スヘシ

第二十四條 仕拂命令又ハ現金ヲ代人ニ交付シタルトキハ領收證書ニ委任狀ヲ添付セシムヘシ若シ難キ事故アルモノハ寫ヲ差出サシメ其ノ事由ヲ記載セシムヘシ

遺族ニテ受取ルヘキモノハ戶籍簿本ヲ添付セシムヘシ

第二十五條 電信爲替ヲ以テ送金ヲ要スルトキハ其ノ仕拂命令表面ニ電信爲替ノ旨ヲ記載シテ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十六條 仕拂命令用紙ハ鎖鑰アル函類ニ藏メ之ヲ保管スヘシ

第二十七條 仕拂命令、仕拂通知書未渡ノモノアルトキハ日點檢シタル上前條ノ例ニ依リ保管スヘシ

第二十八條 仕拂命令若ハ仕拂通知書再發ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ理由ヲ具シ知事又ハ廳長ノ決裁ヲ受ケ再發ノ旨ヲ表記シテ發付スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ縣金庫ニ於テ未渡ナルコトヲ證明シタル債主ノ届書ヲ徴スヘシ

第二十九條 縣出納吏ニ現金前渡ヲ爲ストキハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ要ス

一 當時ノ費用ニ係ルモノハ每一箇月以内ノ豫定額

二 臨時ノ費用ニ係ルモノハ其ノ事件ノ施行ヲ妨ケサル限度ニ於ケル分割額

第三十條 現金前渡ヲ爲シタルトキハ其ノ金額三分ノ二以上ノ仕拂證明アルニ非サレハ再ヒ前渡ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 概算渡ヲ受ケタル官吏又ハ吏員、職員ハ其ノ事件終了後又ハ歸廳後五日以内ニ精算スヘシ但シ時宜ニ依リ臨時精算セシムルコトアルヘシ

概算拂ニ對スル精算未済ノモノアルトキハ再ヒ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 現金前渡金其ノ他ノ支拂殘金ハ出納閉鎖以前ニ完納スヘシ

課ヘ移送スヘシ同課ニ於テハ收入命令ヲ作り知事ノ決裁ヲ受ケ拂込書ヲ製シ縣金庫ヘ拂込ミノ手續ヲ爲スヘシ

各課ニ於テモ前項ニ準シ取扱フヘシ

第九條 各課長ニ於テ縣稅其ノ他ノ收入報告書提出ノ場合ハ縣金庫ヨリ差出シタル歳入月計對照表ヲ添付スヘシ

第十條 本廳ニ於テハ縣稅其ノ他ノ收入報告書ニ依リ記帳命令ヲ作り知事ノ決裁ヲ受クヘシ

第十一條 收入金ノ所屬年度又ハ科目等ノ更正ヲ要スルトキハ更正命令ヲ作り知事又ハ廳長ノ決裁ヲ受クヘシ但シ縣金庫ニ關係アルモノハ同時ニ之ヲ當該縣金庫ニ通知スヘシ

第十二條 過年度ニ屬スル收入金ハ雜收入トシテ取扱ヒ整理スヘシ

第十三條 收入金ノ過誤納拂戻ハ歳出金任拂ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第十四條 仕拂ヲ要スルトキハ本廳各主管ニ屬スルモノハ其ノ主務ニ於テ起案シ知事ノ決裁ヲ受ケ各債主ヨリ請求書ヲ徴シ之ニ決裁書ヲ添ヘ會計課ヘ移送スヘシ同課ニ於テハ該書類ニ依リ仕拂案ヲ作り知事ノ決裁ヲ受ケ仕拂命令ヲ調製スヘシ

第十五條 物品購入ニ係ルモノハ見積書ニ依リ内務部所屬ノモノハ會計課ニ於テ警察部所屬ノモノハ警務課ニ於テ起案シ知事ノ決裁ヲ受ケ前條ノ例ニ依リ會計課ニ於テ仕拂命令ヲ調製スヘシ但シ法定ノ價格アルモノ及金額一圓未満ニ係ルモノハ見積書ヲ省クコトヲ得

第十六條 各課長ニ於テスル仕拂ハ前二條ニ準ス

第十七條 俸給及諸給與ノ類ハ主任者ノ調製シタル書類ヲ以テ請求書ニ代フルコトヲ得

第十八條 代理人ヲ以テ請求スル場合ハ委任狀ヲ添付セシムヘシ

第十九條 銀行會社其ノ他ノ法人ヘ支拂ヲ爲スヘキ金額ノ請求書ニハ其ノ法人ノ理事、取締役若クハ業務擔當者其ノ他ノ法人ヲ代表スヘキモノノ署名捺印ヲ爲サシムヘシ

第二十條 仕拂命令ハ目毎ニ之ヲ發スヘシ

仕拂命令ニハ債主若ハ其ノ代理人ノ氏名、仕拂フヘキ金額、年度、番號、科目、年月日ヲ記載スヘシ

支料科目ノ同一ナルモノハ數人ノ債主ニ對シ集合仕拂命令ヲ發スルコトヲ得但シ此場合ハ金額氏名表ヲ添付スヘシ

第二十一條 仕拂命令ヲ債主ニ交付セムトスルトキハ豫メ仕拂案内ヲ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十二條 仕拂命令ヲ債主ニ交付シタルトキハ其ノ領收證ヲ徴スヘシ但シ集合仕拂命令及送金仕拂命令ハ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十三條 前條但書ニ依リ仕拂命令ヲ縣金庫ニ交付スルトキハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ領收ノ證印ヲ徴スヘシ

第二十四條 仕拂命令又ハ現金ヲ代人ニ交付シタルトキハ領收證書ニ委任狀ヲ添付セシムヘシ若シ難キ事故アルモノハ寫ヲ差出サシメ其ノ事由ヲ記載セシムヘシ

遺族ニテ受取ルヘキモノハ戶籍簿本ヲ添付セシムヘシ

第二十五條 電信爲替ヲ以テ送金ヲ要スルトキハ其ノ仕拂命令表面ニ電信爲替ノ旨ヲ記載シテ縣金庫ニ交付スヘシ

第二十六條 仕拂命令用紙ハ鎖鑰アル函類ニ藏メ之ヲ保管スヘシ

第二十七條 仕拂命令、仕拂通知書未渡ノモノアルトキハ日點檢シタル上前條ノ例ニ依リ保管スヘシ

第二十八條 仕拂命令若ハ仕拂通知書再發ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ理由ヲ具シ知事又ハ廳長ノ決裁ヲ受ケ再發ノ旨ヲ表記シテ發付スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ縣金庫ニ於テ未渡ナルコトヲ證明シタル債主ノ届書ヲ徴スヘシ

第二十九條 縣出納吏ニ現金前渡ヲ爲ストキハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ要ス

一 當時ノ費用ニ係ルモノハ每一箇月以内ノ豫定額

二 臨時ノ費用ニ係ルモノハ其ノ事件ノ施行ヲ妨ケサル限度ニ於ケル分割額

第三十條 現金前渡ヲ爲シタルトキハ其ノ金額三分ノ二以上ノ仕拂證明アルニ非サレハ再ヒ前渡ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 概算渡ヲ受ケタル官吏又ハ吏員、職員ハ其ノ事件終了後又ハ歸廳後五日以内ニ精算スヘシ但シ時宜ニ依リ臨時精算セシムルコトアルヘシ

概算拂ニ對スル精算未済ノモノアルトキハ再ヒ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 現金前渡金其ノ他ノ支拂殘金ハ出納閉鎖以前ニ完納スヘシ



依り異動ヲ生シタルトキハ其ノ事由及年月日ヲ領收證書ニ詳記スヘシ  
 第四十六條 旅費領收證書ニハ其ノ用途及旅行ノ日數、年月日、往復里  
 程、宿泊場所等ヲ詳記スヘシ旅費實費拂ヲ爲シタルトキハ認許書ヲ添  
 付スヘシ  
 區内月額領收證書ニハ其ノ等額日割アルモノハ其ノ日數、事由、年月  
 日ヲ詳記スヘシ  
 第四十七條 退官一時賜金ノ領收書ニハ辭令發布ノ年月日ヲ記載スヘシ  
 第四十八條 物品購買ニ關スル領收證書ニハ每品ノ箇數、斤量及單價ヲ  
 掲記シ數箇ニ付價格ヲ定メタルモノハ其ノ箇數ニ對スル價格ヲ示シ又  
 割引ニ係ルモノハ其ノ旨ヲ詳記セシムヘシ  
 第四十九條 入夫賃、運搬費ノ領收證書ニハ發着地名、品目數量、雇入  
 月日ヲ詳記セシムヘシ  
 第五十條 出張先其ノ他臨時ノ場合ニ於テ立換拂ニ係ル證憑書類ニハ本  
 人ノ證書ニ正當債主ノ領收證書ヲ添付スヘシ  
 第五十一條 過誤納下戻金ノ領收證書ニハ稅目其ノ他過誤納トナリタル  
 理由ヲ附記セシムヘシ  
 第五十二條 止ムヲ得サル事故又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ領收證書ヲ徵シ  
 難キ場合ハ其ノ事由ヲ記載セル主任官吏、吏員、職員ノ仕拂證明書ヲ  
 以テ之ヲ證明セシムヘシ  
 第五十三條 外國語ヲ以テ記載シタルモノハ其譯文ヲ添付スヘシ  
 第五十四條 誤拂過渡金ノ返納アルトキハ返納書ヲ徵シ前ノ領收證書ニ  
 ハ其ノ理由ヲ附記スヘシ  
 第五十五條 證憑書類ハ日毎ニ類編シ其ノ金額ヲ表記スヘシ但シ各目合  
 綴スルモ妨ケナシ  
 領收證書中事項複雜ニ涉ルモノハ明細書ヲ添付スルコトヲ得  
 領收證書ニ添付スヘキ書類ノ多數ナルトキハ別綴トスルコトヲ得  
 第五十六條 一ノ領收證書ニシテ甲乙二目以上ヲ混記シタルモノアルト  
 キハ乙科目金員ノ右傍ニ分裂ノ旨ヲ朱記シ該證書ハ甲科目ニ編入シ乙  
 科目ヘハ金員、物品及債主ノ氏名ヲ朱記セル寫ヲ編入スヘシ  
 第五十七條 領收證書中同一品ニシテ使用ノ目的ニ依リ科目ヲ異ニシ又  
 ハ特種ノモノハ主任者ニ於テ其ノ使用ノ目的ヲ附記スヘシ  
 第五十八條 物件ノ借入ニ係ルモノハ其ノ借入期間借料及使用ノ目的等

ヲ詳記セシムヘシ  
 第五十九條 管外ニ於ケル郵便線路ナキ地ノ旅行ニ對シ車馬賃ノ支給ヲ  
 爲シタルトキハ其ノ地官公署ノ里程證明書ヲ添付スヘシ  
 第六十條 各解長ニ於テ仕拂ヒタル仕拂通知書ニ對スル領收證ニハ明細  
 書ヲ添付スヘシ但シ記載事項ノ簡易ナルモノハ取扱主任ニ於テ仕拂通  
 知書ニ附記スルモ妨ケナシ  
 第六十一條 精算額ノ内領收證書未到達ノモノアルトキハ明細書ヲ調製  
 シ其ノ月ノ支出計算書ニ添付シ爾後證書到達ニ從ヒ一箇月分ヲ取纏メ  
 提出スヘシ  
 前項明細書ハ其ノ月ニ於テ未到達ナシト雖前月迄ノ仕拂ニ對シ未到達  
 アルトキハ毎月添付スヘシ  
 第五章 決算  
 第六十二條 知事官房主事、內務部、警察部各課長ハ別ニ定ムル所ノ式  
 ニ依リ其ノ年度ニ屬スル收支決算說明書ヲ調製シ會計課ヘ送付スヘシ  
 第六十三條 會計課ハ決算報告書ヲ調製シ知事ノ決裁ヲ受クヘシ  
 第六章 帳簿  
 第六十四條 縣廳ニ左ノ帳簿ヲ設置ス  
 歲入預算整理簿  
 歲出預算整理簿  
 收支差引簿  
 概算金整理簿  
 現金前渡整理簿  
 諸收入收納金整理簿  
 特別資金整理簿  
 擔保品書留簿  
 保證金書留簿  
 一時取扱口別簿  
 現金出納簿  
 第六十五條 各解ニ左ノ帳簿ヲ設置ス  
 歲出整理簿  
 概算金整理簿  
 諸收入收納金整理簿

罹災救助基金歲出整理簿  
 罹災救助基金收納整理簿  
 保證金書留簿  
 一時取扱口別簿  
 現金出納簿  
 第六十六條 縣金庫ニ左ノ帳簿ヲ設置ス  
 現金出納簿  
 歲入整理簿  
 歲出整理簿  
 第六十七條 現金前渡ヲ受クル縣出納吏ハ左ノ帳簿ヲ設置ス  
 現金出納簿  
 第六十八條 總テ帳簿ハ會計年度毎ニ設置シ該年度ニ屬スル收支ノ完結  
 ニ至リテ結了ス  
 一時取扱口別簿ハ三月三十一日限り完結シ殘金ハ翌年度ニ繰越スヘ  
 シ  
 第六十九條 總テ帳簿ハ證憑書類ニ依ルニ非サレハ登記スルコトヲ得ス  
 第七十條 豫算ノ減額、過剩返納等ハ其ノ金額及事由共特ニ朱書シ其ノ  
 金額ハ次葉ヘ繰越ノトキニ於テ相當欄ノ合計ヨリ控除スヘシ  
 第七十一條 總テ帳簿ニ誤記ヲ爲シ直ニ發見シタルトキハ其ノ誤記セシ  
 事項若ハ金額ノ正中ニ朱ノ二線ヲ畫シ更ニ其ノ上部ニ墨書シ塗抹改描  
 スヘカラス  
 第七十二條 總テ帳簿ノ誤記ヲ他日發見シタル場合之カ訂正ヲ爲ストキ  
 ハ第七十條ノ例ニ依ルヘシ  
 ●會計諸帳簿其他様式  
 明治四十三年三月二十九日  
 訓令 甲 第十一號  
 知事官房、內務部、警察部、郡役所、警察署、縣立學校、水産試驗場、  
 農事試驗場、農事講習所、輸出米檢査所、新城學園、市役所、縣金庫  
 明治四十三年三月青森縣令第十九號青森縣會計規則同年三月青森縣訓令  
 甲第十號青森縣會計規則施行細則附屬諸帳簿其ノ他様式別冊ノ通定ム  
 (別冊)  
 會計諸帳簿其ノ他様式目次

第一號樣式	豫算流用増減計算書
第二號樣式	收支其ノ他命令記載例
第三號樣式	拂込書
第四號樣式	納入告知書
第五號樣式	仕拂命令
第六號樣式	金額氏名表
第七號樣式	仕拂通知書
第八號樣式	支出計算書
第九號樣式	未到達證書明細書
第十號樣式	證憑調理例
第十一號樣式	縣廳帳簿式
第十二號樣式	各解帳簿式
第十三號樣式	一時取扱口別簿(縣廳及各解ノ分)
第十四號樣式	縣金庫帳簿式
第十五號樣式	縣出納吏帳簿式

明治何年度豫算流用増減計算書面之通流用  
 御許可相成度比段上申候也  
 明治何年何月何日  
 縣長官職氏 名印  
 知事宛







第五號樣式ノ一

<p>仕拂命令案内</p> <p>乙第何號(經常部)明治何年度(何何款)</p> <p>會長 齋藤 文長 印</p> <p>會計課 印</p> <p>仕拂命令本日發行ス 何之誰渡 名印 仕拂命令官職氏 青森縣某本支金庫</p> <p>明治何年何月何日</p>	<p>仕拂命令</p> <p>甲第何號(經常部)明治何年度(何何款)</p> <p>會長 齋藤 文長 印</p> <p>會計課 印</p> <p>本行ノ金額比ノ命令持參人ニ 仕拂 何之誰渡 名印 仕拂命令官職氏 青森縣某本支金庫</p> <p>明治何年何月何日</p>	<p>原符</p> <p>明治何年何月何日</p> <p>第何號(經常部)明治何年度(何何款)</p> <p>會長 齋藤 文長 印</p> <p>會計課 印</p> <p>何之誰渡</p> <p>青森縣某本支金庫</p>	<p>備考</p> <p>一、各欄ニ於テ經常臨時ノ區別記入ヲ要セズ以下同シ</p> <p>二、縣納付金ヲ引去ルヘキ條給支拂ノトキハ金額欄ヲ左ノ如ク記載スヘシ以下同シ</p> <p>金内</p> <p>現支給額</p> <p>縣納付金</p>
---	--	--	--

用紙厚質西洋紙 縱三寸三分ノモ、一枚 橫三寸五分ノモ、二枚接續

第五號樣式ノ二

<p>電信爲替</p> <p>集合(送金)仕拂命令</p> <p>第何號(經常部)明治何年度(何何款)</p> <p>會長 齋藤 文長 印</p> <p>會計課 印</p> <p>本行ノ金額記名ノ者ニ仕拂フヘシ (本行ノ金額比ノ仕拂命令附屬ノ金額氏) (名表ニ照シ仕拂フヘシ)</p> <p>住所 何之誰又、何之誰外何人ノ渡 仕拂命令官職 氏 名 印</p> <p>青森縣某本支金庫</p> <p>明治何年何月何日</p>	<p>電信爲替</p> <p>原符</p> <p>明治何年何月何日</p> <p>第何號(經常部)明治何年度(何何款)</p> <p>會長 齋藤 文長 印</p> <p>會計課 印</p> <p>住所 何之誰又、何之誰外何人ノ渡</p> <p>青森縣某本支金庫</p>	<p>備考</p> <p>一、債主一名ナルトキハ住所ヲ掲クルモノトス</p> <p>二、集合送金ヲ要スルトキハ集合仕拂命令ヲ用フルモノトス</p>
---	--	---

用紙厚質西洋紙 縱三寸三分ノモ、一枚 橫三寸五分ノモ、二枚接續



第六號樣式ノ二用紙半紙野

明治	集合仕拂命令第	號金額氏名表	年度歳出經費臨時(部)	何何款)	債主何之誰外何人渡	內	現金	現金支給高	現金	現金支給高	縣納付金引去高	番號	債主氏名	債主住所	振替金庫名
明治	集合仕拂命令第	號金額氏名表	年度歳出經費臨時(部)	何何款)	債主何之誰外何人渡	內	現金	現金支給高	現金	現金支給高	縣納付金引去高	番號	債主氏名	債主住所	振替金庫名

明治何年何月何日  
 仕拂命令官 官職 氏 名 印

備考  
 一、番號欄ニハ氏名表毎ニ一號ヨリ順次記入スルモノト入但シ仕拂通知書ノ金額氏名表番號ト符合スルモノトス本號樣式ノ二亦同シ  
 二、縣外ヘ送金ノトキハ振替拂倉庫名記載ヲ要セズ本號樣式ノ二亦同シ

第六號樣式ノ二用紙半紙野

明治	集合仕拂命令第	號金額氏名表	年度歳出經費臨時(部)	何何款)	債主何之誰外何人渡	內	現金	現金支給高	現金	現金支給高	縣納付金引去高	番號	債主氏名	債主住所	振替金庫名
明治	集合仕拂命令第	號金額氏名表	年度歳出經費臨時(部)	何何款)	債主何之誰外何人渡	內	現金	現金支給高	現金	現金支給高	縣納付金引去高	番號	債主氏名	債主住所	振替金庫名

明治何年何月何日  
 仕拂命令官 官職 氏 名 印

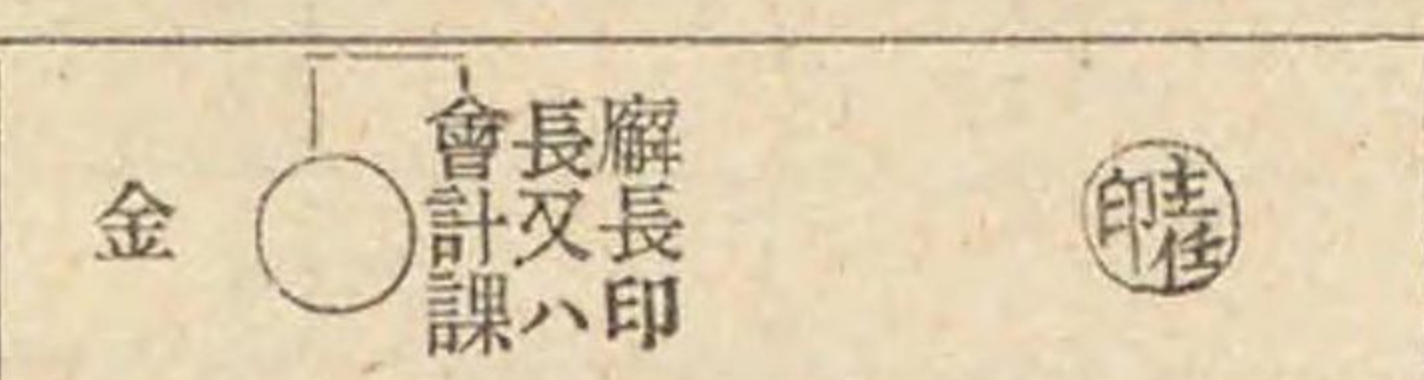


第七號樣式ノ一用紙厚質西洋紙縱七寸

備考  
一、本樣式ハ縣内送金ニ係ル分  
二、縣納付金ヲ引去ルヘキ俸給支拂ノトキハ金額欄ヲ左ノ如  
ク記載スヘシ  
三、番號ハ一箇年度間通スルモノトス  
縣現納支  
付給  
金額

二十一日一十二日  
後日現受金  
又ハ八日  
三十一日  
シヘス

領收書 仕拂通知書

第 號	明治 何 年度	(經常部) (臨時部)	何何款
仕 拂 命 令 第 號	第 號		
金 額 氏 名 表 第 號			
仕拂命令ヲ宛テタル金庫名			
仕 拂 指 定 金 庫 名			
			
本行ノ金額ニ對スル仕拂命令本日發行濟ニ付 仕拂指定金庫ヨリ現金ヲ受領セラルヘシ			
仕拂命令官職氏 名印			
明治何年何月何日			
何 之 誰 渡			

前記之金額領收候也

明治何年何月何日

收入印紙

貼附欄

受取人

何 之

誰 印

(注意) 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟視スヘシ

(注意事項)

一 受取人ハ表面領收證之部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ  
現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ仕拂金庫ニ差出シ現金ノ拂渡  
ヲ受ケヘシ

但シ官吏公吏ニ在リテハ官廳名又ハ市町村名若ハ公共團體名  
ヲ肩書シ官職名ヲ記シ記名捺印スヘシ

一 受取人ノ住居地カ仕拂金庫ノ所在地外ニシテ自己ノ住居地迄  
現金ノ送達ヲ望ムモノハ其ノ旨仕拂金庫ニ請求スヘシ

一 受取人カ代人ヲ以テ現金仕拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本  
人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ  
又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テハ代人ハ本書ニ  
代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ

一 受領金額五圓以上ノモノハ規定ノ收入印紙ヲ貼附消印スヘシ  
但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

表面金額ノ受取方ヲ

明治何年何月何日

ニ委任致候也

何 之 誰 印

收入印紙

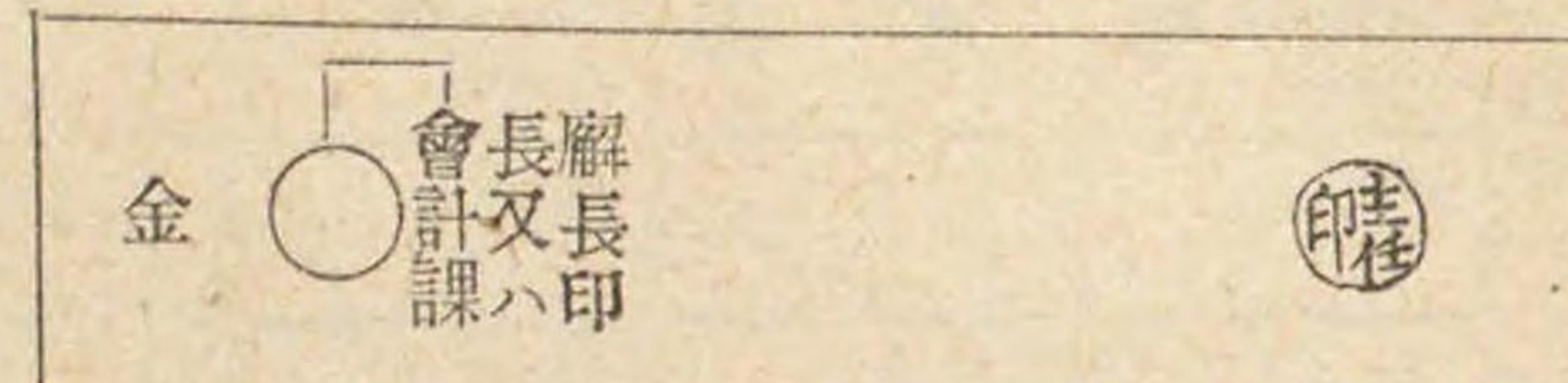
貼附欄

委 任 欄

第七號樣式ノ二用紙厚質西洋紙縱七寸

備考  
本樣式ハ縣外ヘ送金ニ係ル分

領收書 仕拂通知書

第 號	明治 何 年度	(經常部) (臨時部)	何何款
仕 拂 命 令 第 號	第 號		
金 額 氏 名 表 第 號			
仕拂命令ヲ宛テタル金庫名			
			
本行ノ金額青森縣某支金庫ヨリ送金セシメ候條現金 領收ノ上ハ署名捺印ノ上直ニ該金庫ヘ差出スヘシ			
仕拂命令官職氏 名印			
明治何年何月何日			
何 之 誰 渡			

前記之金額領收候也

明治何年何月何日

收入印紙

貼附欄

受取人

何 之

誰 印

(注意) 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟視スヘシ

(注意事項)

一 受取人ハ表面領收證之部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ  
現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ仕拂金庫ニ差出スヘシ

但シ官吏公吏ニ在リテハ官廳名又ハ市町村名若ハ公共團體名  
ヲ肩書シ官職名ヲ記シ記名捺印スヘシ

一 受領金額五圓以上ノモノハ規定ノ收入印紙ヲ貼附消印スヘシ  
但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス



仕 拂 内 譯					
摘 要	仕 拂 精 算 額				備 考
	前月迄計	本月分	定額戻入	計	
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
應 費					前月分支出計算書 ト前月迄累計ト何 圓ノ差アルハ何月 中ニ於テ何目節 へ更正ノ爲減(増)
備品費	0	40000	0	40000	
器具費	0	8000	0	8000	
雜品費	0	48000	0	48000	
消耗品費					
薪炭油類費	0	25000	0	25000	
雜用品費	0	6000	0	6000	
計	0	31000	0	31000	
項合計	0	79000	0	79000	
款合計	0	556000	5000	551000	

仕 拂 内 譯					
摘 要	仕 拂 精 算 額				備 考
	前月迄計	本月分	定額戻入	計	
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
俸給及諸給	0	300000	0	300000	
何何何	0	100000	0	100000	
旅何何	0	50000	5000	45000	
費何何	0	7000	0	7000	
計	0	57000	5000	52000	
諸備給	0	8000	0	8000	
給仕給	0	10000	0	10000	
小使給	0	2000	0	2000	
計	0	20000	0	20000	
項合計	0	477000	5000	472000	

右支出計算書面之通候也

明治何年何月何日

縣長官職氏 名印

知事 宛

何 何 目 概 算 渡 内 譯

摘 要	概算渡額	精 算 額			未精算額	備 考
		支出高	戻入高	計		
		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘		
何年何月分						
同						
同						
同						
計						



摘要	仕 拂 精 算 高			備 考
	前月迄計	本月分	計	
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
給何何旅	105000	40000	145000	前月分支出計算書ト前月 迄累計ト何圓ノ差アルハ 定額戻入ヲ控除セシニ由 ル
給何何旅	20000	10000	30000	
諸給給費	30000	20500	50500	
何何旅	9000	13000	22000	
費計	39000	33500	72500	
諸給給料	15000	7000	22000	
備仕使備	40000	20500	60000	
給給料	105000	90000	195000	
料計	160000	117000	277000	
項合計	324000	200500	524500	

摘要	現 金			備 考
	受	拂	殘	
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
前月越高	50000			
本月分月額	500000			
本月分經費		490500		
何何(節)戻入	1050		60550	
合計	551050	490500	60550	

右支出計算書面之通候也

明治 年度 款

明治何年何月何日

縣出納吏

官職 氏 名印

知事宛

年 月中

支 出 計 算 書

附屬證憑綴何冊

廳 校 名

摘要	仕 拂 精 算 高			備 考
	前月迄計	本月分	計	
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
廳備品費	10000	90000	100000	費費費 費費費 費費費 費費費 費費費 費費費 費費費 費費費 費費費 費費費
器器器	1000	0100	1100	
雜器器	11000	90100	101100	
文具費	5000	80900	85900	
用諸帳簿	0	50000	50000	
計	5000	130900	135900	
消耗品費	3000	69000	72000	
薪炭油類	3000	69000	72000	
計	3000	69000	72000	
項合計	19000	290000	309000	
款合計	343000	490500	833500	







第十號樣式

證憑調理例

備考 本樣式ハ記載例ノ大要ヲ示シタルモノナレハ樣式ニ泥マス例ニ倣ヒ計算ノ基ク所ヲ揭クヘシ

(證書綴表記例袋綴トスヘシ)

明治何年度何何款揭

何年何月分

合金

何何(目) 廳 (校) 名

内 (内譯金ナキトキハ但シ何何(節)トスヘシ) 何何(節)

同 返納高

△外金

備考 外金ハ其ノ返納證金高ヲ表記スヘシ

△印ハ朱書

請求書ノトキハ記トス以下之ニ倣フ  
請求書ニハ主務課長ノ認印ヲ要ス

一金

何月分俸(月)(日)給

(但シ明治何年何月何日何何拜命又ハ月給何圓ヨリ何圓ニ増給)  
(依頼免職)等異動アルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ計算ノ基ク所ヲ示ス

(但シ日給何月何日ヨリ何日迄日數何日分一日何程)

請求ノトキハ右請求候也トス以下之ニ倣フ

右領收候也

明治何年何月何日

委任代理

官職 氏 名 印

何府縣何郡何町村何番

何之 誰 印

一金

旅費概算

御用名(御用名ニ異動ヲ生シ打切リタルトキハ其事由記地外何府縣(何郡市)(何郡何町村)載ヲ要ス)

一金

内譯 (但シ何月何日概算高)

Table with columns for name, rank, amount, and dates. Includes sub-table for '内譯明細' (Internal Translation Details) with columns for month, day, location, and amount.

右請求(領收)候也  
(精算概算金異動無之候也)  
明治何年何月何日  
官職 氏 名 印

第十號樣式

證憑調理例

備考 車馬(汽車)賃何里(哩)分但シ一里(哩)金何程  
日當何日分 但シ一日金何程  
宿泊料何夜分 但シ一夜金何程  
但シ何事件ニ付何地出張ヲ命セラレ何月何日出起何月何日歸著ノ見込

右領收候也

明治何年何月何日

合金

何何(目) 廳 (校) 名

内 (但シ何月何日概算高) 月(日)額旅費

但シ何月分(何月何日拜命ニ付何月何日ヨリ何月何日迄分)日割計算ノ基ク所ヲ揭クヘシ)

(何何事件ニテ何何地へ何月何日ヨリ何月何日迄出張ノ分一日金何程)

右請求(領收)候也

(精算概算金異動無之候也)

請求書ノトキハ記トス以下之ニ倣フ  
請求書ニハ主務課長ノ認印ヲ要ス

一金

何月何日概算高

(但シ何月分月額何程ノ處何何ノ事由ニ依リ何月何日ヨリ何月何日迄分(日割計算ノ基ク所ヲ揭クヘシ))  
(何何事件ニテ何何地へ出張ノ處何何ノ事由ニ依リ何月何日ヨリ何月何日迄分一日金何程)

右返納候也

明治何年何月何日

委任代理

官職 氏 名 印

何府縣何郡何町村何番

何之 誰 印

一金

精算高

御用名(御用名ニ異動ヲ生シ打切リタルトキハ其事由記地外何府縣(何郡市)(何郡何町村)載ヲ要ス)

一金

精算高 (何月何日概算高)

Table with columns for name, rank, amount, and dates. Includes sub-table for '精算高' (Detailed Calculation) with columns for month, day, location, and amount.



















第十一號様式ノ五

明治 何 年度  
現金前渡整理簿

備考  
一縣出納吏毎ニ口座ヲ設クルモノトス

(廳 名)

年月日	摘要	徴收額		免除額	缺損額	下戻額	收入未済額	備考
		円	銭					
明治何年								

第十一號様式ノ四

明治 何 年度  
概算金整理簿

備考  
一項毎ニ口座ヲ設クルモノトス

(廳 名)

年月日	摘要	現金前渡高		精算高		證明未済高	備考
		円	銭	支出高	戻入高		
明治何年							



第十一號樣式ノ七

明治 何 年度

特別資金整理簿

(應 名)

年月日	摘要	預ケ 金額	種類		受	拂	殘	頭	末
			種	類					
明治何年					円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘		

第十一號樣式ノ六

明治 何 年度

諸收入收納金整理簿

(應 名)

備考  
 一 款項ノ口座ヲ設クルモノトス  
 二 款項ノ口座ニ止ム  
 三 款項ノ口座ニ止ム  
 四 款項ノ口座ニ止ム  
 五 款項ノ口座ニ止ム  
 六 款項ノ口座ニ止ム  
 七 款項ノ口座ニ止ム  
 八 款項ノ口座ニ止ム  
 九 款項ノ口座ニ止ム  
 十 款項ノ口座ニ止ム

年月日	摘要	借方			殘	年月日	摘要	貸方			殘
		借	方	方				借	方	方	
明治何年		円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘		明治何年	円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘		



年月日	摘要	種類及枚數		受	拂	殘	頭	末
		種類	枚數					
明治何年				円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘		

年月日	摘要	種類及枚數		受	拂	殘	頭	末
		種類	枚數					
明治何年				円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘		

年月日	摘要	預ヶ金額	種類及枚數		受	拂	殘	頭	末
			種類	枚數					
明治何年					円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘		

第十一號樣式ノ八

明治 何 年度

擔 保 品 書 留 簿

(廳 名)



第十一號様式ノ十

明治 何 年度  
現金 出 納 簿

(廳 名)

備考  
一金筋ニ從ヒ口座ヲ設ケ且ツ總括ヲ附スルコ

(何々款) (廳 費) △印朱書

年月日	摘要	憑 記 番 號	豫 算 高	支 拂 高	残
			円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年					
四 一	豫算令達高		200000		200000
	二 備品費			27500	172500
	△三 △同			△2000	174500

第十一號様式ノ九

明治 何 年度  
保 證 金 書 留 簿

(廳 名)

年月日	摘要	受	拂	残	年月日	摘要	受	拂	残
		円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘			円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年					明治何年				



年月日		摘要	憑証 記番號	預算高	支拂高	殘
				円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘
四	一	豫算令違高		1,000 000		1,000 000
	二	廳 費			27 500	972 500
	△三	△同			△2 000	974 500
	十	何 何			800 000	174 500
△(過誤拂更正扣除繰越ノ例)				1,000 000	827 500	
△扣除高					△2 000	
追次繰越高				1,000 000	825 500	

第十二號様式ノ一

明治 何 年度

歳 出 整 理 簿

一備  
本簿考  
整達ヲ受  
理スヘシ  
ハ經費其  
ノ他臨時  
トキハ各  
支款項目  
ニ係ル豫  
算ヲ設ケ

(何 何 廳 校)

年月日		摘要	憑証 記番號	預算高	支拂高	殘
				円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年	四	一	報 1,	100 000		100 000
	二	窓掛十五枚代	支 1,		7 500	
	同	テーブル十脚代	同 2,		20 000	72 500
	△三	△同上ノ内一脚分過渡同人納	△收 1,		△2 000	74 500

(何 何 款)

年月日		摘要	憑証 記番號	預算高	支拂高	殘
				円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年		追次繰越高		1,000 000	825 500	174 500
明治何年	△四	△(豫算減額ノ例)				
	△三	△何何外何件(目ノ部ヘハ豫算減額ノ理由ヲ詳記スヘシ)		△ 174 500		
		△扣 除 高		1,000 000	825 500	
		締 高 圓		△ 174 500		
		△(總決算締ノ例)		825 500	825 500	



精 算 高			未精算高	備	考
支出高	戻入高	計			
円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘		
8000	1000	9000	17000 8000		

總 括					
年月日	摘	要	證 憑 記 番 號	概 算 渡 高	計
明治何年				円 銭 厘	円 銭 厘
四 一	經	費		17000	17000
五 二 二	同				

精 算 高			未精算高	備	考
支出高	戻入高	計			
円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘		
8000	1000	9000	17000 8000		五月二十二日決算

旅 費					
年月日	摘	要	證 憑 記 番 號	概算渡高	計
明治何年				円 銭 厘	円 銭 厘
四 一	何何御用 = 付何所出張旅費官氏名渡		支 5,	9000	
同	何何御用 = 付何地巡回旅費官氏名渡		同 7,	8000	17000
五 二 二	四月一日官氏名渡旅費精算		收 12,		







第十二號樣式ノ四

明治 何 年度

罹災救助基金歳出整理簿

(何 何 廳)

年月日	摘要	種類及數		受	拂	殘	願	末
		種類	金額					
明治何年				円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘		

款 項

年月日	摘要	證憑 記番號	豫算高		支拂高		殘	
			円	錢 厘	円	錢 厘	円	錢 厘
明治何年								

款

年月日	摘要	證憑 記番號	豫算高		支拂高		殘	
			円	錢 厘	円	錢 厘	円	錢 厘
明治何年								



一時取扱金					
年月日	摘要	憑證 記番號	受	拂	殘
			円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年 四 六	何何金何所ヨリ送付ノ分		7000		7000

諸 收 入					
年月日	摘要	憑證 記番號	受	拂	殘
			円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年 四 一	何何收入		100000		100000
同	縣本金庫へ拂込			100000	0

年月日	摘要	種類 金額	及 枚數	受		拂		殘		頭 末
				円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘			
明治何年										

第十二號様式ノ五

明治 何 年度  
保 證 金 書 留 簿

備考  
一本簿ノ受拂ノ欄へハ指定ノ價格ヲ掲クヘシ

(何 何 廳 名)



年月日	摘要	憑 憑			受	拂	殘	年月日	摘要	憑 憑			受	拂	殘
		記	記	號						記	記	號			
明治何年							明治何年								

第十三號様式

明治何年度

一時取扱金口別簿

備考  
 一 常ニ收支ノ多ナルモノハ其ノ金筋ニ從ヒ  
 二 收口座ヲ設ケテ記入スヘシ  
 三 收支ノ多クナラサルモノハ雜部ノ口座ヲ設  
 クルモ妨ケナシ

(何 何 廳 校)

總括

年月日	摘要	憑 憑			受	拂	殘
		記	記	號			
明治何年							
四 一	諸收入				100000		100000
同 同	同					100000	0
六	一時取扱金				70000		70000

第十二號様式ノ六

明治何年度

現金出納簿

備考  
 一 本簿ハ現金ノ收支ヲ記入整理スルモノニ付  
 其ノ金筋ニ依リ各口座ヲ設ケテ記入スヘシ

(何 何 廳 校)



何警察署 縣稅歲入				何市役所 (縣稅歲入) (特別資金歲入) (罹災救助基金歲入)			
年月日	摘要	金員	累計	年月日	摘要	金員	累計
		円 錢 厘	円 錢 厘			円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年				明治何年			

何郡役所 (縣稅歲入) (特別資金歲入) (罹災救助基金歲入) (一時取扱金收入)				何學校 縣稅歲入			
年月日	摘要	金員	累計	年月日	摘要	金員	累計
		円 錢 厘	円 錢 厘			円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年				明治何年			
四 一 同	告知書何枚 納付書何枚	15000 3000	18000				

年月日	摘要	受	拂	殘	年月日	摘要	受	拂	殘
		円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘			円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘
明治何年					明治何年				

第十四號様式ノ一

明治何年度  
現金出納簿

備考  
一 本金庫ニ於テハ各金庫各金筋並同送、振替  
二 支金庫ハ設ケテ總括ヲ附スルモノトス、振替ノ口座ヲ設ケ總括ヲ附スルモノトス、振替ノ口座ヲ設ケ總括ヲ附スルモノトス、振替ニ對シテハ適宜補助簿ヲ設ケル  
三 同送、振替ニ對シテハ適宜補助簿ヲ設ケル  
モノトス

青森縣某本支金庫























歲入		歲出		一時取扱金			
摘要	金額	摘要	金額	摘要	受入高	仕拂高	差引 繰越 線
	圓 錢 厘		圓 錢 厘		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
縣稅及雜收入		縣稅					
特別資金		特別資金					
罹災救助基金		罹災救助基金					
總計		總計					

第五號樣式

受 之 部

明治 年度	摘要	本月分	前月迄計	合計
		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
明治年月中	歲入金			
現金出納計算表	縣稅			
	特別資金			
	罹災救助基金			
	一時取扱金			
	回送金			
	振替金			
	前年度ヨリ繰入金			
青森縣某支金庫	合計			

第六號樣式

總 括

明治 年度	摘要	受	摘要	拂
		圓 錢 厘		圓 錢 厘
現金出納每年度計算表	歲入		歲出	
	縣稅及雜收入		縣稅	
	特別資金		特別資金	
	罹災救助基金		罹災救助基金	
	一時取扱金		一時取扱金	
	回送金		回送金	
	振替金		振替金	
青森縣某支金庫			一時取扱金翌年度越高	
	總計		總計	

振替金

回送金

受入高	拂出高	金庫名	受入高	拂出高
圓 錢 厘	圓 錢 厘		圓 錢 厘	圓 錢 厘
		青森本金庫		
		鱒ヶ澤支金庫		
		弘前支金庫		
		黒石支金庫		
		七戸支金庫		
		五所川原支金庫		
		田名部支金庫		
		八戸支金庫		
		合計		

明治 年度金庫出納計算書面  
之通相違無之候也

明治 年 月 日

青森縣某支金庫印

青森縣某本金庫宛







受 之 部				
摘 要	本 月 分		前 月 迄 計	合 計
	圓	錢	圓	
歲 入 金				
縣 稅 及 雜 收 入				
特 別 資 金				
罹 災 救 助 基 金				
一 時 取 扱 金				
振 替 金				
總 計				

第十二號樣式

明治 年度  
明治 年 月分出納總計算書

青森縣某本金庫

明治 年度明治 年 月分金庫出納計算書面之通相違  
無之候也

明治 年 月 日

青森縣某本金庫印

青森縣知事宛

拂 之 部				
摘 要	本 月 分		前 月 迄 累 計	合 計
	圓	錢	圓	
歲 出 金				
縣 特 別 資 金 稅 金				
罹 災 救 助 基 金				
一 時 取 扱 金				
振 替 金				
翌 月 へ 越 高				
回 送 中 金				
內 縣 特 別 資 金 稅 金				
一 罹 災 救 助 基 金				
總 計				



書面之通相違無之候也

明治 年 月 日

青森縣某本金庫印

知 事 宛

第十四號樣式

右金額規定領收證書引換ニ仕拂可有之候也	明治 年 月 日	青森縣某本(支)金庫宛	合 計	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	仕 拂 月 日	金 額	受 取 人 姓 名			

何年度現金出納總計算書

第十三號樣式

摘 要	受 入			摘 要	仕 拂		
	圓	錢	厘		圓	錢	厘
歲 特 別 資 入 金 金 金 金				歲 特 別 資 出 金 金 金 金			
一 時 取 送 替				一 時 取 送 替 在			
特 一 回 振				現			
				縣 一 時 取 振 稅 金 金			
				內 譯 特 別 資			
備 考 一 權 災 救 助 基 金 一 此 之 樣 式 依 此 調 製 スル モ ノ ト							
合 計				合 計			

用紙適宜(縱四寸五分ノ横三寸三分ノモノ)ニ枚接續  
第十五號樣式

右 及 送 付 候 也	但 證 書 別 紙 通	一 金	振 替 拂 出 證 書 送 付 書
明治 年 月 日	青森縣某本(支)金庫宛	但 月 日 發 送 證 書	青森縣某本(支)金庫印
右 正ニ 受 領 候 也	通	一 金	振 替 拂 出 證 書 受 領 證
明治 年 月 日	青森縣某本(支)金庫宛	但 月 日 發 送 證 書	青森縣某本(支)金庫印
青森縣某本(支)金庫宛	割 金 庫 印	但 月 日 發 送 證 書	青森縣某本(支)金庫印



用紙適宜 縱四寸三分 横四寸五分 第十六號樣式

納金ヲ取扱フヘキ官廳名	
納金スヘキ庫名	

振替納金請求書

一金

但シ

右金額相納候間振替納金トシテ領收相成度及請求候也

明治 年 月 日

住所 氏名 名印 青森縣某支(支)金庫宛

用紙適宜 縱四寸三分ノモノニ枚接續 横三寸三分 第十七號樣式

納金ヲ取扱フヘキ官廳名	納金スヘキ庫名
納金ヲ取扱フヘキ官廳名	納金スヘキ庫名

振替納金領收證書原符

一金

但シ

右金額貴金庫へ振替納金ノ分領收候也

明治 年 月 日

住所 氏名 名印 青森縣某本(支)金庫宛

明治四十三年三月三十一日 告示第百十九號

青森縣金庫名稱位置及出納區域左ノ通定ム 但シ弘前中學校木造分校ニ係ル出納ハ五所川原支金庫ノ區域ニ屬ス

名	稱	位	置	出納區域
青森縣	青森本金庫	青森市	大町	青森市、東津輕郡
青森縣	澤ヶ澤支金庫	西津輕郡	澤ヶ澤町	西津輕郡
青森縣	弘前支金庫	弘前市	親方町	弘前市、中津輕郡
青森縣	黒石支金庫	南津輕郡	黒石町	南津輕郡
青森縣	五所川原支金庫	北津輕郡	五所川原町	北津輕郡
青森縣	七戸支金庫	上北郡	七戸町	上北郡
青森縣	田名部支金庫	下北郡	田名部町	下北郡
青森縣	八戸支金庫	三戸郡	八戸町	三戸郡

●縣稅會計検査規程

明治二十八年四月二十一日 達第百三十四號

縣稅會計検査規程別紙ノ通り相定ム 但明治十九年五月乙第百三十二號本縣出納検査規程ハ廢止ス

- (別紙) 縣稅會計検査規程
- 第一條 本廳ニ會計検査委員若干名ヲ置キ縣稅ニ關スル金錢ノ收支及ヒ物出納一切ノ事ヲ検査セシム
  - 第二條 検査委員長ハ内務部長ヲ以テ之ニ充ツ
  - 第三條 検査委員ハ屬官中ヨリ特ニ之ヲ命シ各自ノ分擔ハ委員長之ヲ定ム
  - 第四條 検査ハ定期、臨時ノ二種ニ分チ定期検査ハ主管長ヨリ本廳へ提出ノ證明書類ニ就キ又ハ毎年五月乃至九月ニ於テ廳外各縣ニ臨ミ之ヲ

●縣稅會計検査心得

明治二十八年五月二日 同定

- 縣稅會計検査心得
- 第一條 派出検査ノ場合ハ左ノ事項ニ據リ取扱フヘシ
    - 一、現金口別簿前日ノ殘高ニ檢印シ其金額ヲ騰寫シ検査上照合ノ資ニ供スヘシ
    - 二、諸帳簿ハ目錄ヲ差出サセ検査著手前日迄ヲ分界シ之カ検査ヲ爲スヘシ
    - 三、検査著手前日迄ヲ打切收支現計表ヲ調製セシメ帳簿並縣金庫保管金高ノ照合ニ供スヘシ
    - 四、検査著手前日迄ヲ打切消耗品現在書ヲ調製セシメ現在品並帳簿ノ照合ニ供スヘシ
    - 五、検査中事ノ重大ニ涉リテ決シ難キモノハ委員長ノ指揮ヲ請クヘシ
  - 第二條 検査委員廳外各縣へ派出検査セシトキハ歸廳後五日以内ニ左ノ事項ニ就キ復命スヘシ
    - 一、諸帳簿ノ記入方及收支ノ手續等ハ法規又ハ縣會ノ議決ニ違フコトナキヤ否
    - 二、計算書ハ帳簿及保管ノ現在金品ニ符合スルヤ否
    - 三、未決算ニ屬スル金額ハ正當ナルヤ否
    - 四、前各項ノ外必要ト認メタル事項
  - 第三條 検査上例規ニ違フコトヲ發見シ事ノ重大ニ涉ルト思料スルモノハ委員長ノ決ヲ請ケ知事ニ上申スヘシ



● 検査章制定

明治四十二年二月十八日裁決  
縣經濟ニ屬スル金錢及物品出納實地検査ノ爲メ各縣ヘ出張ノ際ハ其都度  
命令書式付ノ事ニ相成度候處自今出張命令ノ場合ハ左記様式ノ検査章ヲ  
交付セラレ歸廳ノ上ハ返納セシメラレ候事ニ改正可然哉此段相候也

會計検査員ノ章
裏
官職氏名

● 縣稅滯納督促手數料交付方

明治三十八年四月五日  
達 第十 一 號  
改正 四十二年第三號 四十二年第一九號

縣稅滯納督促手數料收入金ニ對シ三十八年度所屬ヨリ六月九月十二月三  
月ニ區分シ手數料交付スヘキニ付四月ヨリ六月マテ收入ニ係ル分ハ其年  
七月、七月ヨリ九月マテ收入ニ係ル分ハ其年十月、十月ヨリ十二月マテ  
收入ニ係ル分ハ翌年一月、一月ヨリ三月マテ收入ニ係ル分ハ四月ニ左記  
書式ニ依リ請求スヘシ  
但他郡市ニ引繼タルモノハ其ノ納否ヲ確メ請求スヘシ  
書式(用紙半紙券)

一 金 但自明治年月督促手數料收入高  
至同年月督促手數料收入高

二 金 何年度督促手數料

三 金 直接收入ノ分

金 何郡へ引繼收入ノ分

金 何市へ引繼收入ノ分

金 過年度督促手數料

金 直接收入ノ分

金 何郡へ引繼收入ノ分

金 何市へ引繼收入ノ分

● 縣有物品會計規程

明治三十五年四月二十五日  
達 第二 十 八 號  
改正 三十八年五月第二〇號 四十二年  
第三號 四十二年第一七號

縣有物品會計規程別冊ノ通改正ス  
縣有物品會計規程  
第一章 總 則  
第一條 縣ノ經濟ニ屬スル物品ノ會計ハ總テ此規程ニ據ルヘシ但別ニ規  
定アルモノハ此限ニアラス  
第二條 此規程ニ於テ物品ト稱スルハ縣ノ經濟ニ屬スル器具器械、消耗  
品、動物其他一切ノ動産ヲ云フ  
前項ノ物品ヲ圖書、備品、消耗品、被服、動物ニ類別ス  
第三條 物品ノ會計ハ年度ヲ以テ區分シ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十  
一日ニ至ル十二箇月ヲ以テ一會計年度トス  
前項ノ會計ハ現ニ其ノ出納ヲ執行シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分ス  
ヘシ

第四條 物品出納ノ命令ハ縣廳ニ在リテハ内務部長警察部ニ在リテハ警  
察部長各縣ニ在リテハ其長ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五條 物品ヲ保管シ之カ出納ヲ掌ル者ヲ物品出納吏トス

第二章 保管責任

第十九條 警察署ノ物品出納吏ハ警察分署及派出所駐在所ニ備付ノ圖書  
備品ヲ明瞭ナラシムル爲メ特ニ第七條様式ノ内譯簿ヲ設クヘシ

第二十條 貯藏ノ物品ハ物品出納吏ニ於テ鎖鑰アル貯藏所ニ納入毎品ニ  
區畫配置シ點檢ニ便ナラシムヘシ

第二十一條 物品出納吏ハ物品ノ保管及出納一切ノ責ニ任スヘシ

第二十二條 共用ノ物品ハ物品取扱主任専用ノ物品ハ各自ニ於テ直接保  
管ノ責ニ任ス

第二十三條 物品出納吏ハ既ニ交付シタル物品ニ對シテモ取締上尙ホ監  
督ノ責任アルモノトス

第二十四條 物品出納命令官ハ物品ヲ亡失毀損シタルモノアルトキハ事  
由ヲ詳記シタル證明書ヲ責任者ヨリ徴スヘシ

第二十五條 物品出納命令官ニ於テ前條ノ證明書ヲ徴シタルトキハ之レ  
カ頭末ヲ精査シ其故意怠惰ニ依リ辨償ヲナサシムルモノト認ムルトキ  
ハ意見ヲ附シ知事ニ具申スヘシ

第二十六條 直接ニ保管ノ責ナキモノト雖モ物品ヲ亡失毀損シタルトキ  
ハ頭末書ヲ徴シ其故意怠惰ニ依リ辨償ヲナサシムルモノト認ムルトキ  
ハ前條ニ依リ

第二十七條 物品出納吏ハ特ニ命セラレタル代理者ノ所爲ニ就テハ其責  
任ヲ免カル、コトヲ得

前項ノ代理者ハ其代理シタル所爲ニ就テハ物品出納吏タルノ責任ヲ免  
カル、コトヲ得ス

第六條 物品出納吏ハ左ノ官吏職員ヲ以テ之レニ充ツ  
一、縣廳ニ在テハ内務部會計課長ニ警察部ニ在リテハ警務課長  
二、郡役所ニ在テハ郡長  
三、縣立學校ニ在テハ校長  
四、警察署ニ在テハ署長  
五、農事試驗場水産試驗場ニ在テハ場長  
六、農事講習所輸出米検査所ニ在テハ所長  
第七條 物品出納吏ハ物品出納命令官ノ命令アルニアラサレハ物品ヲ出  
納スルコトヲ得ス  
第八條 共用物品ヲ保管シ之カ出納ヲ取扱フモノヲ物品取扱主任トシ部  
長各縣長ニ於テ適宜選定スヘシ  
但便宜ニヨリ物品取扱主任ヲ置カス物品出納吏ヲシテ直接取扱ヲナ  
サシムルコトヲ得

第九條 圖書備品ニハ每品廳解名ヲ烙記シ番號ヲ付スヘシ  
但物品質ニヨリ本條ニ據リ難キモノハ此限ニアラス

第二章 出 納

第十條 物品ノ出納ハ消耗、賣却、亡失毀損、生産其他總テ所屬ノ權利  
ヲ難ル、ヲ出トシ購入、生産其他保管ニ屬スルヲ納トス

第十一條 物品出納命令官ハ常時出納ニ係ル物品ノ種類ヲ規定シ置キ物  
品出納吏ヲシテ直ニ出納セシムルコトヲ得

第十二條 物品出納吏ハ購入、賣却又ハ生産其他ノ事由ニ依リ物品ヲ授  
受スルトキハ總テ其證據書ニ依リ調査執行スヘシ

第十三條 物品出納吏間相互ニ物品ヲ交付スルトキハ總テ保管轉換トシ  
テ出納スヘシ

第十四條 物品需用ノ必要アルトキハ規定様式ニ依リ物品出納吏ニ請求  
スヘシ

第十五條 交付ヲ受ケタル物品ヲ返納セントスルトキハ規定様式ニ依リ  
物品出納吏ニ還納スヘシ

第三章 帳 簿

第十六條 物品出納吏ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ證據書ニ據リ出納ヲ登記スヘシ  
一、圖書原簿 (第一號様式)

二、備品原簿 (第二號様式)

三、動物原簿 (第三號様式)

四、圖書及備品出納簿 (第四號様式)

五、消耗品出納簿 (第五號様式)

六、被服出納簿 (第六號様式)

七、動物出納簿 (第七號様式)

第十八條 整理上必要ナルモノハ補助簿ヲ設ケ登記スヘシ

第十九條 物品取扱主任ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ受拂ヲ登記スヘシ  
一 圖書及備品受拂簿 (第六號様式)

第二章 保管責任

第二十條 貯藏ノ物品ハ物品出納吏ニ於テ鎖鑰アル貯藏所ニ納入毎品ニ  
區畫配置シ點檢ニ便ナラシムヘシ

第二十一條 物品出納吏ハ物品ノ保管及出納一切ノ責ニ任スヘシ

第二十二條 共用ノ物品ハ物品取扱主任専用ノ物品ハ各自ニ於テ直接保  
管ノ責ニ任ス

第二十三條 物品出納吏ハ既ニ交付シタル物品ニ對シテモ取締上尙ホ監  
督ノ責任アルモノトス

第二十四條 物品出納命令官ハ物品ヲ亡失毀損シタルモノアルトキハ事  
由ヲ詳記シタル證明書ヲ責任者ヨリ徴スヘシ

第二十五條 物品出納命令官ニ於テ前條ノ證明書ヲ徴シタルトキハ之レ  
カ頭末ヲ精査シ其故意怠惰ニ依リ辨償ヲナサシムルモノト認ムルトキ  
ハ意見ヲ附シ知事ニ具申スヘシ

第二十六條 直接ニ保管ノ責ナキモノト雖モ物品ヲ亡失毀損シタルトキ  
ハ頭末書ヲ徴シ其故意怠惰ニ依リ辨償ヲナサシムルモノト認ムルトキ  
ハ前條ニ依リ

第二十七條 物品出納吏ハ特ニ命セラレタル代理者ノ所爲ニ就テハ其責  
任ヲ免カル、コトヲ得

前項ノ代理者ハ其代理シタル所爲ニ就テハ物品出納吏タルノ責任ヲ免  
カル、コトヲ得ス



第二十八條 物品出納吏又ハ物品取扱主任交代シタルトキハ前任者ニ於テ現品ヲ出納簿又ハ受拂簿ニ照合シ之ヲ後任者ヘ引繼キ帳簿ニ前任者後任者署名捺印スヘシ

第二十九條 各縣ニ在ル物品出納吏ハ毎半年間ニ執行シタル物品出納ノ計算書ヲ第八號様式ニ依リ調製シ證書ヲ添ヘ翌月二十日以内ニ知事ニ提出スヘシ

物品出納吏交代ノ場合ハ打切計算シ引繼ヲ了シタル日ヨリ二十日以内ニ前任者ヨリ知事ニ提出スヘシ

第三十條 物品出納吏又ハ物品取扱主任死亡其他ノ事故ニ由リ自ラ引繼ヲナス能ハサルトキハ物品出納吏ハ知事物品取扱主任ハ部長各縣長ノ命シタル官吏若クハ職員ニ於テ第二十八條ノ手續ヲナスヘシ

物品出納吏自ラ計算書ヲ調製シ能ハサルトキハ特ニ命シタル官吏若クハ職員ニ於テ第二十九條ノ手續ヲナスヘシ

第六章 雜則

第三十一條 帳簿ニ登記スル字體ハ正格ナルヲ要ス書損脱落スルモ漫リニ補修塗抹スルヲ許サス其正中ニ朱ノ二線ヲ畫シ正字ヲ其上部又ハ其傍ニ墨記スヘシ

第三十二條 帳簿ニ登記ノ後チ該書類ニ誤謬アルモ漫リニ訂正スルヲ得ス事由ヲ分疏證明シタル書類ニヨリ更正スヘシ

第三十三條 證書書中ニ記載スル數量ニシテ一、二、三、十、廿、卅ノ數字ハ必ラス壹、貳、參、拾、貳拾、參拾ノ字體ヲ用ユヘシ

第三十四條 證書書ノ様式ハ別紙ニ依ルヘシ

第三十五條 各縣ニ於テ物品取扱手續ヲ規定シタルトキハ 事ヘ申報スヘシ

第三十六條 帳簿ハ明治三十五年度限リ從來ノ様式ニ依リ取扱フコトヲ得

第三十七條 本規程ハ明治三十五年度所屬ヨリ施行ス

帳簿ニ關スル凡例

一、和帳ノ用紙ハ美濃版トス

二、原簿ノ記載方ハ學校ノ如キ種類ノ多キ場所ニ於テハ教室備品ノ名稱ヲ付シ該口座ニ黑板、教壇、教鞭、或ハ寢具ノ名稱ヲ付シ該口座ニ夜具、枕、蚊帳、或ハ手工用具ノ名稱ヲ付シ該口座ニ金櫃、錐、釘拔、裁庖丁、萬力、或ハ化學器械ノ名稱ヲ付シ該口座ニ何何、何

何ト記帳スルモ妨ケナシ  
圖書ハ修身、國語、作文、習字、漢文、體操、何何ト口座ヲ設ケ記帳スルモ妨ケナシ

三、出納簿ニハ前項ノ如キ總稱ノ名目ニテ口座ヲ設ケルモノトス例セハ教室、備品、寢具、手工用具、化學器械ノ名稱ニテ口座ヲ設ケルモノ、如シ

但本文ノ如ク總稱ノ名目ニテ口座ヲ設ケタル場合原簿ト出納簿ノ數量ヲ對照セシムルトキハ原簿ノ黑板、教壇、教鞭ノ各口座ノ數ヲ合算シ出納簿ノ教室備品ノ口座ノ數ト對照スルカ如シ

四、帳簿ハ每費途ノ費目ノ各ノ所屬ニ區分整理スルモノトス

五、原簿ニハ代價ヲ記載スルモノトス但生産寄贈等ニ係リ代價ヲ知ル能ハサルトキハ記載ヲ要セス

六、原簿ハ從來備付各口座ヘ改正様式ノ用紙ヲ挿入シ使用スルモ妨ケナシ

七、原簿每葉末行ニ書式ノ如ク數量ノ計ヲ付シ次葉ヨリ通計ヲ付スルモノトス

八、番號ハ通シテ記スルモノトス

第一號様式

自何年何月  
至何年何月

何費所屬  
圖書  
原簿

備考  
一、部門ヲ設ケ登記スルトキハ分冊スルモ妨ケナシ例セハ化學部、理學部、植物學部ヲ各部毎ニ分冊スルカ如シ  
二、番號欄ニハ圖書ニ付シタル番號ヲ記入スルモノトス

番號	書目	受入	購入	贈與	人	單位	數量	單	價金	額	頭	末
一	府縣制郡	何年何月何日	何所	何冊	一				〇七五〇			
二	何書	何年何月何日	何所	何冊	一				二〇〇〇			不用ニ付何年何月何日
三	何書	何年何月何日	何所	何冊	一				一五九〇			

計												
三												

第二號様式

自何年何月  
至何年何月

何費所屬  
備品  
原簿

備考  
一、番號欄ニハ備品ニ付シタル番號ヲ記入スルモノトス  
二、備品ノ多數ナルモノハ分冊スルモ妨ケナシ  
三、動物ノ分本簿ニヨリ登記スルモノトス  
四、動物ノ生産アル場合ハ購入年月日ノ欄ニ受入ノ月日納入町村氏名ノ欄ニ生産受ノ事由ヲ記入スルモノトス

番號	書目	受入	購入	贈與	人	單位	數量	單	價金	額	頭	末
何	何書	何年何月何日	何所	何部	一				一五〇〇			







第四號様式 消耗品出納簿

半

年月日	摘要	單位ノ稱	受之部		備考
			越高	購入	
明治何年					
四	一 前年度ヨリ越高	帖	100		
	二 何某渡	〃			
	十 何某外何名渡	〃			
五	一 何某ヨリ生産受	〃		20	
	二 何某ヨリ購入	〃	10		

第五號様式 被服出納簿

冬 服 上 衣

年月日	摘要	單位ノ稱	受之部		拂之部		残	備考
			越高	購入	給與	賣却		
明治何年								
四	一 前年度ヨリ越高	枚	5				5	
五	一 紺ヘル地 何某納	〃	10				15	
五	二 何某免職ニ付還納	〃		1			16	

卓 子

年月日	摘要	單位ノ稱	受之部		拂之部		残	備考
			越高	購入	賣却	損失		
明治何年								
四	一 前年度ヨリ越高	脚	30				30	
	三 白木抽斗付 何某納	〃	10				40	
二	五 春慶塗抽斗付 何某納	〃	2				42	
五	一 白木抽斗ナシ 何某納	〃	5				47	
	十 春慶塗抽斗ナシ 何某納	〃	3				50	
六	五 不用ノ爲メ何某へ拂下	〃			10		40	年月日第 號ニテ御 指令ノ分

(後葉へ送ルトキノ例)

後葉越高

30 20 0 0 10 0 0

第三號様式 圖書及備品出納簿

野

年月日	拂之部		残	備考
	消耗	賣却		
			100	
5			95	
2			93	
			113	
			123	







- 證憑書ニ關スル凡例
- 一、請求及領收證書、返納書、證明書、願末書ハ總テ半紙版トス
  - 二、證書ノ様式ハ左ノ如シ
  - 一、消耗品ノ請求及領收證書ハ第一號様式
  - 二、備品ノ請求及領收證書ハ第二號様式
  - 三、返納書ハ第三號様式
  - 四、證明書ハ第四號様式
  - 五、願末書ハ第五號様式
- 三、證書中何掛何何トアルハ郡役所ニ於テハ出納掛學校ニ於テハ書記警察署ニ於テハ主任トスルカ如シ
- 四、各解ニ於テハ證明書及願末書中物品出納吏ノ檢印ヲ除クモノトス
- 第一號様式ノ一

物品出納吏○	何掛(何何)○	帳記	出納簿○	記帳者ノ印
物品請求及領收證書				
一六帖①主任者ノ印				
内				
數量	使用ノ目的	請求者ノ印	數量	使用ノ目的
參帖	通常事務用	①		
貳帖	同上	①		
壹帖	何何用	①		
紙				
但				
右請求ノ分正ニ請取候也				

- 明治年月日
- 物品取扱主任 官職氏 名①
- 備考
- 一、物品取扱主任ヨリ消耗品請取ノ例
  - 二、物品取扱主任ヨリ請求ノ場合ハ月日ヲ記入セス無印ノ儘物品出納吏へ差出スモノトス
  - 三、現品ヲ請取ルトキハ月日記入ノ上物品取扱主任捺印スルモノトス
  - 四、縣廳ニ在リテハ但書ニ費途所屬ヲ明記スルモノトス
- 第一號様式ノ二

物品出納吏○	何掛(何何)○	帳記	出納簿
美濃界紙請求及領收證書			
渡年月日	數量	使用ノ目的	受取人氏名
明治三十五年四月五日	壹	帖 通常事務用	官職 何 某①
同 日	壹	帖 何 何	同 何 某①
計	○出納吏ノ印	記帳濟	①記帳者ノ印
四月十日	壹	帖 何 何	同 何 某①
計	○出納吏ノ印	記帳濟	①記帳者ノ印
通 計	壹	帖 ○主任者ノ印	①記帳者ノ印
計 參	帖 ○主任者ノ印		
備考			
一、物品取扱主任ヲ置カス各自消耗品ヲ請取ルノ例			
二、渡日ニ於テ計ヲ付シ物品出納吏ノ檢印ヲ受ケ現品ヲ交付スルモノトス			
三、本證書ハ一箇月限り列記使用スルヲ得ルモ二箇月ニ渉ル事ヲ得ス			
四、最終ノ日ニ於テ物品出納吏トアル下へ決判ノ印ヲ受クルモノトス			

第二號様式

物品出納吏○	何掛(何何)○	帳記	出納簿
物品請求及領收證書			
一二脚①主任者ノ印			
内			
數量	使用ノ目的	請求者ノ印	數量
一脚	專用ノ分	①專用者ノ印	
一脚	共用ノ分	①取扱主任ノ印	
卓			
子			
右請求ノ分正ニ請取候也			
明治年月日	物品取扱主任	官職	氏 名①
備考 一物品取扱主任ヨリ備品ヲ請取ルノ例			
第三號様式			
物品出納吏○	何掛(何何)○	帳記	出納簿
物品返納證			
品目	數量	事由	由
椅子	一	脚ノ書記何某專用ノ處何月何日解職不用	

卓	子	一	脚	同	上
書	箱	一	箇	共用中ノ處不用ノ分	
但					
右返納候也					
明治年月日	物品取扱主任	官職	氏 名①		
備考					
一、物品取扱主任ヨリ備品ヲ返納スルノ例					
二、交付ヲ受ケタル消耗品ヲ返納スル場合モ本記載例ニヨル					
三、物品取扱主任ヲ置カス各自ヨリ返納スル場合モ亦本記載例ニヨル					
第四號様式ノ一 (△印ハ朱書)					
△物品出納命令官① △物品出納吏①					
證明書					
一椅子					
但使用中何何ノ事故ニヨリ毀損致候					
右相違無之此段證明候也					
明治年月日	物品出納吏	物品取扱主任	官職	氏 名①	
備考					
一 物品ヲ亡失毀損又ハ棄却シタルトキハ凡テ之ニ準シ記載スルモノトス					
第四號様式ノ二 (△印ハ朱書)					











茶	土柄	帳	松	坪	小	生	茶	藥	防	樟	炭	薪	石	摺	附	燈	ラ	西	五	十	二	器	種	石	へ		
碗	瓶	杓	簿	筋	絲	繩	駄	品	藥	腦	炭	木	木	心	心	燭	燭	燭	燭	燭	燭	油	油	油	先		
筒	本	冊	通	尺	合	斤	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
													試驗等ニ要スルモノ														
洋式帳簿、美濃判帳簿、半紙判帳簿、差札簿等製本ノ儘買入ル、モノ																											
ゴ	キ	ゴ	海	往	瓶	皿	留	上	如	油	靴	砥	刷	糊	鑑	小	箱	琉	筵	繩	細	洋	布	雜	籌	急	
ル	ム	留	來	留	類	類	針	戸	露	上	拭	石	毛	板	札	札	類	表	引	巾	巾	須	須	須	須	須	
筒	本	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒
													竹筴、草筴、羽筴														
太平瓶、橢圓瓶、フラスコ													運搬用ニ限ル														
陶製													界紙摺用、張物用														
運搬用													運搬用														

箕	編	雪	臺	筥	箸	酒	コ	教	板	塵	草	下	叭	手	箕	竹	袋	笊	團	竿	糊	活	ゴ	木	絹	ト
笠	踏	串	精	ツ	燈	テ	策	拭	拂	履	駄	拭	手	扇	瀧	字	線	線	線	板	板	板	板	板	板	板
筒	本	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒
													送電用													
ガラス製													麥袋、運動用袋、穀物入袋													
灰	火	産	肉	棒	葭	柴	竹	沓	セ	滑	肥	杓	確	デ	摺	灰	苞	水	簡	便	タ	唾	吐	吐	吐	
吹	竹	入	池	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	籬	
本	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒
													陶製													
物乾用、農作物用													試驗管、ピーカー													
物乾用													器械磨用													
沓棒、肥桶用													陶製													







- 一 物品ノ返戻ハ何月何日何所ニ於テ授受スヘシ
- 一 借入ノ料金ハ物品返戻ノ時使用シタル日數ニ應シ何回ニ拂渡スヘシ
- 一 契約保證金ハ物品借入ノ上(返戻ノ時)何日間使用ノ上(還付スヘシ)賣却ノ時ノ例
- 一 物品拂下代金ハ納入告知書ニ指定ノ日限及場所何月何日何所ニ納入スヘシ
- 一 物品ノ引渡ハ代金納入済ノ日ヨリ何日以内ニ(何月何日)何所ニ於テ授受スヘシ
- 一 契約保證金ハ物品ノ授受ヲ了シタル後還付スヘシ
- △承諾書案 △用紙半紙

△印紙 承 諾 書  
 金何程 △金高一圓未満ハ印紙貼用ヲ要セス

内 譯  
 金何程 何品何程ノ代  
 但一箇ニ付金何程  
 金何程 何品何程ノ代  
 但一箇ニ付金何程

前記之代價ヲ以テ物品御買上(御借入)御拂下(御借入)之儀御下命之趣承諾仕候依テハ何月何日迄云云現品相納(代金納入)ノ上物品引取可申候若シ上納方滞滯仕候節ハ(保證金沒收)ノ上シタルトキ(他)ヨリ御買上(御借入)他(御拂下)相成候共御方異儀無御座候依テ承諾書差上候也  
 年 月 日 官 姓 名 宛  
 △物品領收證書案 △用紙半紙  
 一何品 形質ノ概略 何程  
 一何品 何程  
 一何品 何程  
 右御拂下相成正ニ領收候也  
 年 月 日 郡市町村大字番 姓 名 印

委任狀

△印紙  
 拙者儀今般御廳(校)ニ於テ何員(御買入)御借入(御拂下)ニ對スル(入札)契約)保證金トシテ公債證書ヲ納入候ニ就テハ官姓名(委任)代理人ト定メ左ノ權限ヲ代理爲致候事  
 一何何(入札)契約上納御成規ニ關レ保證金沒收ノ御處分相成候節ハ納入ノ何種公債證書額面金額記番號(枚數)多キモハ別紙(賣却)ノ上日本銀行若クハ其代理店へ請求ノ上名義書換ヲ受クル事  
 右委任狀仍テ如件  
 年 月 日 郡市町村大字番 姓 名 印

- 第一條 入札人ハ此心得書ニ掲ケル各號ノ旨ヲ領知スヘシ
- 第二條 入札人ハ入札ノ當日入札保證金ヲ持參シ金庫ニ納入ノ上其預リ證書ヲ擔任官吏ニ示シ入札スヘシ
- 第三條 入札人ハ該物品供給ニ引續キ二箇年來從事シ居ルコトヲ證明シタル會社製造所等ニシテ官許ニ係ルモノハ其指令若クハ許可狀其他ハ郡市町村長ノ證明書ヲ入札前ニ擔任官吏ニ差出スヘシ
- 第四條 入札ノ時刻ヲ過クルトキハ入札スルヲ許サス
- 第五條 入札人ハ開札ノ時刻ニ開札ノ場所ニ出席スヘシ
- 第六條 開札ハ公告ノ時刻ニ入札人ノ面前ニ於テ行フヘシ
- 第七條 入札ハ左ノ場合ニ於テ無効トス  
 第一 入札人又ハ其代理人開札ノ場所ニ出席セサルトキ  
 第二 入札人ノ住所姓名及其他ノ要件不明ナルトキ  
 第三 入札人姓名ノ下ニ捺印セサルモク  
 第四 入札保證金制規ノ通納付セサルモノ  
 第五 金員及品數ニ改竄ヲ加ヘテ其箇所ニ證明セサルモノ  
 第六 入札書ハ開札ノ後内譯ニ違算或ハ書損アルトキハ之ヲ訂正セシ

- ムヘシト雖モ總計ノ金額ヲ變更スルヲ許サス又單價ヲ以テ落札ヲ定ムル場合ニ在テハ單價ノ更正ヲ許サス
- 第九條 落札ヲ定ムルハ購買及借入ニ係ルモノハ豫定價格以下ノ最低額賣却ニ係ルモノハ豫定價格以上ノ最高額ヲ以テ落札トシ其場ニ於テ入札擔任官吏ハ落札ノ金員人名ヲ讀上ケ各入札人ニ告知スヘシ
- 第十條 各入札人ノ金額豫定價格ニ違セサルトキハ直ニ再入札ナサシメ尙豫定價格ニ違セサルトキハ其入札ヲ取消シ保證金ヲ還付スヘシ
- 第十一條 落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者數名アルトキハ同價ノ入札者ヲシテ再入札ヲ爲サシメ尙同價ナルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムヘシ
- 第十二條 落札人定リタルトキハ他ノ入札人へ前ノ預リ證書引換ニ保證金ヲ還付スヘシ但落札人ノ保證金ハ契約保證金納付ノ上還付スヘシ
- 第十三條 落札人ハ落札ノ當日若クハ翌日(休暇ニ當ルトキ)ニ於テ契約保證金ヲ納付シ其契約ヲ締結スヘシ
- 第十四條 保證金ハ現金又ハ國債證書ヲ以テ納ムヘシ但記名國債證書ニハ賣却委任狀ヲ添ヘ納入スヘシ
- 第十五條 契約書ハ落札人ニ於テ契約書案ニ據リ二通ヲ作り落札人及擔任官吏署名調印シテ各一通ヲ領置スヘシ
- 第十六條 入札人落札人左項ノ一ニ關ルトキハ保證金ヲ還付セス此場合ニ於テハ其落札若クハ契約書及保證金預リ證書ハ當然無効ニ歸スルモノトス但天災其他防制スヘカラスル事故アリテ契約ヲ果サ、ルトキハ其事由ヲ調査シ實際止ムヲ得スト認定スルトキハ還附スルコトアルヘシ
- 第一 入札人開札ノ後自ラ入札ヲ取消シタルトキ
- 第二 落札人第十三條ノ日限内ニ該條ノ手續ヲ爲サ、ルトキ
- 第三 契約ノ後締結人ノ都合若クハ怠惰ニ原因シ其契約ヲ取消シタルトキ
- 第四 締結ノ後締結人ノ都合若クハ怠惰ニ原因シ其契約ヲ取消シタルトキ
- 第十七條 賣買貸借ノ契約締結後物品授受以前又借用中ニ於テ天災其他防制スヘカラスル事項ニ由リ物品ノ亡失毀損セシ場合ハ左項ニ據ルヘシ
- 第一 購買品ハ其契約ヲ解除シ若クハ相當ノ延納ヲ許可スルコトアル

- 第二 借入品ハ所有主ノ損失トス但特約アル場合ハ此限ニ非ラス
- 第三 賣却品ハ其契約ヲ解除シ若クハ代價ノ幾分ヲ減シ拂下クヘシ此場合ニ在リテハ既納代金ノ全部若クハ幾分ヲ下戻スヘシ
- 第十八條 賣却ニ係ル物品ハ入札人ニ於テ當初閱覽セシモノ實際引渡ニ臨ミ其品種物質ニ自然ノ腐敗又ハ量目ノ缺減等アルモ官廳其責ニ任セス
- 第十九條 賣買貸借ノ物品及代金授受ノ順次ハ左項ニ據ルヘシ  
 第一 購入品ハ現品領收済ノ後其代金ヲ拂渡スヘシ  
 第二 借入品ノ料金ハ現品返戻ノ時若クハ使用セシ日數ニ應シ數回ニ拂渡スヘシ  
 第三 賣却品ハ代金納入ノ後物品領收證書ヲ徵シ引渡スヘシ
- 第二十條 物品既納部分ニ對シ完納前其代價ノ一部分ヲ請求スルトキハ其五分ノ四ヨリ超セサル額ヲ下渡スコトアルヘシ
- 第二十一條 入札人及落札人ニ於テ他人ヲ以テ諸般ノ事項ヲ代理セシムルトキハ其委任狀ヲ擔任官吏ニ差出スヘシ
- 第二十二條 落札人契約ヲ履行セサルトキハ爾後二箇年間同一官廳ニ於テ同一種類ノ競争ニ加ハルヲ得ス
- 第二十三條 入札書、契約書、物品領收證書、保證品賣却委任狀ハ別紙樣式ニ據ルヘシ
- 第二十四條 前條ノ書類ハ金員品數及其他ノ要點ヲ改竄セサルヲ要ス若シ不得止改竄ヲ加ヘタルトキハ其箇所ニ證明印ヲ捺スヘシ

縣有財產處分方

明治三十八年四月十三日 達 第十 二 號  
 左記縣有財產ニシテ破毀又ハ磨滅セルモノハ自今處分方不及何出候條不取締無之權適宜處分ノ後届出ツヘシ但明治二十七年十一月十日日本縣達第四百六十一號ハ廢止ス  
 硯、石盤、定木、羅紗刷毛、算盤、インキ壺、角燈、硝子燈、提灯、寒暖計、椀、風呂敷、旗、茶筒、火箸、五徳、印章、帳綴板、燒印、塵取、自在鍵、釣鍵、雪搔、釣瓶、罌、洋燈、細引、櫛、篦、  
 ●郵便切手取扱手續  
 明治三十五年四月一日 達 第二十一 號



第七輯 會計 第二章 縣費

改正四〇年第一八號、四三年第一七號

內務部(警察部)郡役所、縣立學校、警察署、農事試驗場、水産試驗場、蠶業講習所、縣經濟ニ屬スル郵便切手取扱手續左ノ通り相定メ明治三十五年度所屬ヨリ施行ス

郵便切手取扱手續

- 第一條 縣ノ經濟ニ屬スル郵便切手ハ此手續ニ據リ取扱ヘシ但縣廳ニ在リテハ別ニ定ムル所ニ據ル
- 第二條 各縣ニ於テ郵便切手ヲ購入スルトキハ種類金額等ヲ記シタル第一號書式ノ同案ヲ起シ各縣長ノ判決ヲ受ケ納入ノ手續ヲナスヘシ
- 第三條 前條ノ郵便切手ヲ納入シタルトキハ帳簿ニ登記シ現品ト對照ノ
- 七各縣長ニ於テ檢印ヲナスヘシ
- 第四條 各縣ニ於テ出納ヲ明瞭ナラシムル爲メ第二號書式ノ受拂簿ヲ設
- 備シ受拂ヲ登記スヘシ
- 第五條 受拂簿ハ納入及郵便電信ヲ發送シタル日毎ニ於テ登記スヘシ
- 第六條 各縣長ハ月末ニ於テ現在高ヲ調査シ受拂簿殘高ト對照ノ上檢印ヲナスヘシ
- 各縣長ハ第三號書式ノ報告書ヲ翌月五日以内ニ知事ニ提出スヘシ
- 第七條 現品ハ鎖鑰アルモノニ納メ便宜保管スヘシ
- 第一號書式

品名	數量	單價	代價	價記	事
三錢郵便切手	十枚	〇三〇〇	〇三〇〇		
十錢同上	五枚	〇五〇〇	〇五〇〇		
十五錢同上	十枚	一五〇〇	一五〇〇		

麻長 ○ (何何) ○ 帳記 受拂簿 ○ 記帳者ノ印

明治 年 月 日 提出 月 日 受入 月 日 代金支出

左記之物品購入取計可然哉

年 月 日	元	受	郵	便	稅	電	信	料	拂	合	計	殘
明治三十五年四月一日	〇〇	五〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四六七〇
同 二 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四二六〇
同 十 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三八一〇
同 十 三 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三三三〇
同 二 十 五 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三一九〇
五月 二 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三五八〇
同 十 三 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三三三〇
同 二 十 五 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三一九〇
通 計	〇	五〇〇〇	〇三五〇	〇四九〇	〇一六〇	〇五五〇	〇三〇〇	〇三〇〇	〇一八〇	〇	〇	二六二〇
明治三十六年三月二日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二五六〇
同 六 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二五六〇
同 三 十 一 日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二五六〇
同 小 計	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇六〇
通 計	〇	五〇〇〇	〇八〇〇	〇六六〇	〇二六〇	〇六七〇	〇六五〇	〇三五〇	〇二九〇	〇	〇	二九四〇
何月何日翌年度へ繰越高	〇	△三〇六〇										
完 結 高	〇	二九四〇	〇八〇〇	〇六六〇	〇二六〇	〇六七〇	〇六五〇	〇三五〇	〇二九〇	〇	〇	二九四〇

第七輯 會計 第二章 縣費

合計金二圓三十錢 ○主任者ノ印

住 所 納人何 某(何郵便電信局)

備考

- 一 麻長トアルハ郡長、校長、署長、場長、所長、ト記載スルモノトス
- 二 (何何)トアルハ郡役所ハ第一課、學校、農事試驗場、水産試驗場、蠶業講習所ハ書記、警察署ハ主任ト記載スルモノトス但試驗場講習所ニ於テ書記ノ取扱ニアラザルトキハ主任ト記載スルモノトス
- 三 本文様式ノ用紙ヲ用ヒス通常議案用紙ヲ以テ代用スルモ妨ケナシ
- 四 議案用紙ヲ使用スルトキハ切手ノ種類、金額、納入、受入月日、代金支出月日等ヲ明記スルモノトス
- 五 切手賣下人ヨリ購入スル場合ハ上納書ヲ徴シ購入同案へ添付スルモノトス

第二號書式

何 年 度

郵便切手受拂簿 (△印ハ朱書)

- 一 一箇月毎ニ小計ヲ付シ二箇月以上ハ通計ヲ付スルモノトス
- 二 翌年繰越シタルトキハ書式ノ如ク朱記スルモノトス
- 三 完結ノ場合ハ元受高ヨリ翌年度へ繰越金ヲ扣除シ記載スルモノトス
- 四 輸出檢査所(支所ヲ含ム)ニ於テハ電信料ノ下ニ郵便爲替手數料ノ一欄ヲ設ケ整理スルモノトス
- 五 青森弘前間市外電話通話料ヲ郵便切手ヲ以テ支辨ノ場合ハ電信料併記整理スルモノトス



第三號樣式(用紙十三行半紙野)

何年何月中郵便切手出納報告書

高金	何程	購	入	高
金	何程	本月	購	入
金	何程	前月ヨリ	越	高
金	何程	何月中	精	算
金	何程	電	郵	便
金	何程	電	信	料
金	何程	翌月	へ	越
金	何程	高		

種類	量	目	稅	額	箇	數	金	員
書	狀							
書	留							
印刷物								
小包郵便								
何								
小計								
電	信	料						
手	數	料						
事由	金員							
度								
數								
金								
員								

至急

右之通候也

明治何年何月何日

縣長官職氏

名印

●縣有物品出納證書類整理手續

明治三十五年四月二十九日 訓示 第十四號

內務部(警察部)郡役所、縣立學校、警察署、農事試驗場、水産試驗場、農事講習所、輸出米検査所

縣有物品出納證書類整理手續

第一條 物品出納證書類整理手續

第二條 物品出納計算書ニ添付スヘキ證書類ハ左ノ各號ニ依ルヘシ若シ其原書ヲ提出シ難キ場合ハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ

一 杜拂物品ニ對シテハ使用ノ目的ヲ記載シタル正當請取人ノ領收證書

二 亡失毀損ノ物品ニ對シテハ其品名數量及其事實ヲ詳記シタル當該上官ノ認定アル書類

三 生産ノ爲メ仕拂ニ對シテハ其消費ノ事由ヲ記載シタル當該官吏ノ領收證書

四 正當請取人ノ領收證書ヲ徵スル能ハサル仕拂ノ物品ニ對シテハ其事由ヲ付シタル當該官吏ノ領收證書

第三條 證書類ハ品目毎ニ區分編號シ付スルニ表紙ヲ以テシ之ニ品目數量及合計等ヲ記載スヘシ但第六條ノ證書中ニ混記アルモノハ其數量ヲ當該品目合計ノ外書ニ朱記スヘシ

其 三

何年度上半期(下半年)(款)費

(何)項(費)所屬

美濃界紙 外何品

何 廳

備考

一 第五條ニヨリ他品目ト合算スル場合ハ品目毎ノ合計ヲ各品目ノ表紙ニ記シタル上本紙ノ表紙ヲ付スルモノトス

二 前項ノ場合各品目ノ表紙ニ何年度(款)費、何費所屬及何廳ハ記載スルヲ要セス

●特別文具ニ關スル件

明治三十三年三月七日 內務部長依命通牒內一乙發第百七十七號

縣經濟ニ於テ左記ノ物品ハ從來普通文具ノ取扱ニ候處明治三十三年度以降豫算定額內ニ於テ支辨上差支ナキ向ハ特別文具トシテ使用セシメラレ可然依命此段及通牒也

- 一 簿記用
- 一 インキ
- 一 インキ壺
- 一 同
- 一 同
- 一 石版用

●繁文省略上物品取扱ニ關スル件

明治三十五年四月二十六日 內務部長通牒內五發第百五十二號 郡長、縣立學校長、警察署長、農事、水産試驗場長、農事講習所長

第四條 同一品目ノ證書類多數ナルモノハ便宜數冊ニ分纂スルモ妨ケナシ此場合ニ於テ表紙へ何冊ノ内一二ト記載スヘシ

第五條 同一品目ノ證書類僅少ナルモノハ計算書ニ掲クル品目ノ順次ニ從ヒ他品ト合算スルモ妨ケナシ

第六條 證書類中品目ノ混記セルモノハ別冊ニ編纂スヘシ此場合ニ於テハ表紙ニ品目ヲ列記スヘシ

第七條 表紙ハ別紙樣式ニ據ルヘシ

其一

何年度上半期(下半年)(款)費

(何)項(費)所屬

證書 何通

證明書 何通

品目 合計何箇

(消耗拂ト生産拂トアルトキノ例) 内何箇 消耗拂 生産拂

(分纂スルトキノ例) 何冊ノ内(一二) 何 廳

備考

一 打切ノ場合ハ何年度ノ下、自明治何年何月何日至明治何年何月何日ト記載スヘシ

其二 (△印ハ朱書)

何年度上半期(下半年)(款)費

(何)項(費)所屬

證書 何通

證明書 何通

品目 高何箇

合計何箇

△外何箇 △別冊ニ混記ノ分

何 廳



繁文省略ノ趣旨ヲ以テ左ノ如ク取扱可然事ニ決定相成候條此段及通牒候也

一 物品購入若クハ修繕ノ場合ニ於テ當業者ヨリ提出ノ積書ヲ以テ直チニ主管長ノ判決ヲ受クルコトヲ得此場合ニ於テハ別紙記載例ノ如ク積書ノ或ル場所へ主管長、主任者物品受入ノ月日使用ノ事由等朱記相成度候一前項積書ニ依リ難キ官報等購入ノ場合ハ品目、數量、單價、金額、納入等ヲ記載シ通常議案ヲ以テ主管長ノ判決相成度候但物品受入ノ月日ハ議案へ記載可相成事

(様式)

一金何程 見 積 書

金何程 何品何程(但一箇ニ付何程)

金何程 何品何程(但一箇ニ付何程)

右代價ヲ以テ上納可仕候也

明治何年何月何日 住 所 何 某 印

解長(出納掛)何何(何) 何月何日受入(何)……主任者

何何(用)何何(目的)ニテ何費ヲ以テ購入若クハ修繕ヲ要スル分

備 考

一 解長トアルハ郡役所ハ郡長、學校ハ校長、警察署ハ署長、農事試驗場、水産試驗場ハ場長、農事講習所ハ所長トス

二 出納掛(何何)トアルハ郡役所ハ出納掛、學校、農事試驗場、水産試驗場、農事講習所ハ書記、警察署ハ主任トスルカ如シ

●縣有物品出納簿年度完結記載方

明治三十七年九月二十日  
内務部長通牒内五發第千三百三十六號

郡役所、警察署、縣立學校、第一高等女學校ヲ除ク(農事試驗場、水産試驗場、農事講習所)

縣有物品出納簿一箇年度完結高記載方ハ別紙ノ通り御取扱相成度此段及通牒候也

年月日	摘 要	單位	受 之 部				拂 之 部			備 考
			越	購	贈	何	賣	亡	何	
明治何年	前年度ヨリ越	帖	23							23
四一	何某ヨリ買入	"		100						12
五四	何某渡	"				10				113
七一	物品出納吏某へ引繼高	"								113
	自四月一日至七月一日計		23	100						113
七二	前任物品出納吏何某ヨリ引繼高	"	113							113
五	何某渡	"				10				103
	上半期ノ内計		113			10				
七十	何某ヨリ買入	"		20						123
何	何某渡	"				10				113
三	後年度へ越	"							113	
	下半年計			20		10			113	
	完 結 高		113	20		10			113	

●氣象器械預ケ方

明治三十七年五月三十日  
内務部通牒内五發第千二百三十號

郡役所(東津輕郡役所ヲ除ク)

氣象器械ハ保管轉換ヲ改メ物品預トナス旨五月十二日付第十一號ヲ以テ地方測候所ヨリ及通牒候就テハ縣有物品會計規程ニ依リ取扱フヘキモノニ無之候條左ノ通り御承知相成度候

一 將來該器械地方測候所ヨリ及送付候場合ハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ整理相成度候

一 從來原簿出納簿ニ登記相成居候分ハ前項ノ帳簿へ移記可相成而シテ移記ノ場合ハ保管轉換ノ處物品預トナス旨明治三十七年五月十二日付第十一號ヲ以テ地方測候所ヨリ通牒ニ依リ支拂フヘキ旨ノ證明書ニ依リ支拂相成度候

右及通牒候也

●縣出納吏ノ任免

明治三十九年四月二十五日  
訓令 甲 第 十 九 號

改正四二年第一九號、四三年第三七號

知事官房(第一部)郡役所、警察署、縣立學校、輸出米検査所、同支所、市役所

明治三十九年度以降縣出納吏ノ任免左ノ通心得ヘシ

一 本廳内務部會計課長ヲ以テ之ニ充ツ

一 各縣ハ其長ヲ以テ之ニ充ツ

一 但缺員ノ場合又ハ分校ニ在リテハ各其首席者ヲ以テ之ニ充ツ

一 輸出米検査支所ハ検査員ヲ以テ之ニ充テ検査員二名以上ノ場合ハ其首席者ヲ以テ之ニ充ツ

一 縣出納吏ノ任命方ハ別ニ辭令ヲ用ヒス本官職ノ任命ニ伴フモノトス

但シ出張先其他ノ場合ニ於テ臨時ニ官吏吏員又ハ職員ニ現金前渡ヲ爲ストキハ別ニ辭令ヲ用ヒス縣出納吏ヲ命セラレタルモノトシ其事件ノ結了ヲ以テ縣出納吏ヲ免セラレタルモノトス

明治四十年三月十五日  
訓令 第 十 三 號

●仕拂命令官ノ印章

明治四十年度以降警察分署所屬ノ屐番検査手数料徴收スヘキ縣出納吏ハ其所轄警察署長ヲ以テ之レニ充ツ其ノ任免ニ付テハ明治三十九年青森縣訓令甲第十九號ノ通心得ヘシ

明治四十三年四月八日  
訓令 甲 第 三 十 號

(警察部)郡役所、市役所、縣立學校、警察署、農事試驗場、農事講習所、輸出米検査所、新築學園、縣金庫

縣稅ニ屬スル經費及其ノ他ノ仕拂委任ニ對シ仕拂命令發行ノ場合ハ課體ヲ以テ其所仕拂命令官之印(方七分曲尺)ト彫刻シタル印章ヲ捺捺スヘシ

電話工夫規程

明治三十八年十月二十五日  
訓令 乙 第 百 四 十 七 號

(第一部)(第四部)

●電話工夫規程

電話工夫規程左ノ通定ム

電話工夫規程

第一條 電話工夫ハ所屬官吏ノ指揮ヲ受ケ電話ノ工事及其線路ノ看守ニ從事スルモノトス

第二條 電話工夫ハ第一號書式ニ據リ身元引受證ヲ差出スヘシ但シ身元引受人ハ本縣居住者ニシテ身分確實ナル者タルヘシ

第三條 電話工夫ハ所屬官吏ノ指定スル土地ニ住居スヘシ

第四條 電話工夫ノ就業時限ハ左ノ通りトス但シ非常又ハ國要ノ場合ハ時限ニ拘ハラズ勤務スヘシ

一 毎年三月一日ヨリ十月末日迄十時間

二 十一月一日ヨリ翌年二月末日迄九時間

第五條 電話工夫ハ就業シタル事項ヲ其ノ都度所屬官吏ニ報告シ毎毎月保守用トシテ受領シタル用品ハ受拂ノ數量並ニ使用シタル事由ヲ詳記シ翌月五日迄ニ第二號書式ノ報告書ヲ提出スヘシ

第六條 電話工夫ハ故意怠慢ニ因リ器具機械及用品等ヲ亡失毀損シタルトキハ之ヲ辨償スヘシ

第七條 電話工夫ハ所屬官吏ノ許可ヲ受ケ三大節、大祭日、日曜日、及



十二月三十一日、一月二日、並ニ父母ノ忌服祭日ニ當リ住居地ニ於テ休業スルコトヲ得

第八條 電話工夫ハ疾病其他已ニテ得サル事故ノ爲メ就業スル能ハサルトキハ書面ヲ以テ届出ツヘシ

第九條 電話工夫ハ工事又ハ線路看守ノ爲メ出張ヲ命セラル、モ往返十里以内ナルトキハ故ナク宿泊スヘカラス

第十條 電話工夫ノ給料ハ勤務日數ニ應シ支給ス其増給又ハ減給ノトキハ發令ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第十一條 電話工夫ハ業務ノ爲メ出張ヲ命セラレ宿泊シタルトキハ其度數ニ應シ俸給ノ外左ノ出張増給ヲ給與シ尙歸著行程十里以上ナルトキハ歸著増給ヲ支給ス

出張増給 金五十錢

歸著増給 金二十五錢

第十二條 電話工夫ハ職務ノ爲メ負傷シ治療中休業スルモ給料ヲ支給ス若シ出張中ニ係ルトキハ出張増給ヲ給與ス

第十三條 電話工夫ハ出張増給ヲ受ケ服務中疾病ニ罹リ休業シタルトキハ給料ヲ支給セス

第十四條 電話工夫ニハ左ニ掲クル場合ニ限り汽車賃又ハ車馬賃ノ實費ヲ支給ス

一 臨時急行ヲ要シタルトキ

一 所屬官吏ノ同行ヲ命ジタルトキ

一 出張先ニ於テ疾病ニ罹リ急速全治ノ見込ナク住居地ニ歸還ヲ命ジタルトキ

第十五條 電話工夫ニハ靴、草鞋料トシテ勤務日數一日毎ニ金一錢六厘ヲ支給シ尙第三號圖式ニ據ル左記被服ヲ貸與ス但シ保管期限ヲ經過シタル被服ハ帽子ノ徽章ヲ除キ他ハ總テ之ヲ給與ス

品目	員數	保存期限
帽子	一箇	一年
被服	二枚	一年
股引	二枚	一年

品目	元受		使用		殘數量	摘要
	日數	數量	日數	數量		
計						

第十六條 電話工夫ハ保存期限中貸與品ヲ汚損シタルトキハ自費ヲ以テ補綴洗淨ヲ爲スヘシ若シ保存期限内ニ於テ解備セラレタルトキ又ハ死亡シタルトキハ之ヲ返納スヘシ

第十七條 電話工夫ハ保存期限中不注意ノ爲貸與品ヲ亡失シタルトキ又ハ汚損シ補綴洗淨スルモ用ニ耐ヘカラシメタルトキハ代金辨償ノ義務アルモノトス

(第一號書式)

身元引受證

本籍 何府縣何國何郡市何町村番地何某方(同居)

寄留 何府縣何國何郡市何町村番地何某方(寄留)

戶主又ハ戶主某長男次男等 族籍 氏 名

年 月 日 生 年 月 日

右之者電話工夫ニ御採用被成下度付テハ御規程ハ勿論御聽ノ御命令ハ本人ヲシテ堅ク遵守セシメ誠實ニ勤務可爲致且本人ニ對スル事件ハ自今私ニ於テ一切引受可申候也

何府縣何國何郡市何町村 族籍身元保證人 氏 名 印

縣第一部長 何 某 印

年月日

(第二號書式)

何月中物品受拂報告

右及報告候也

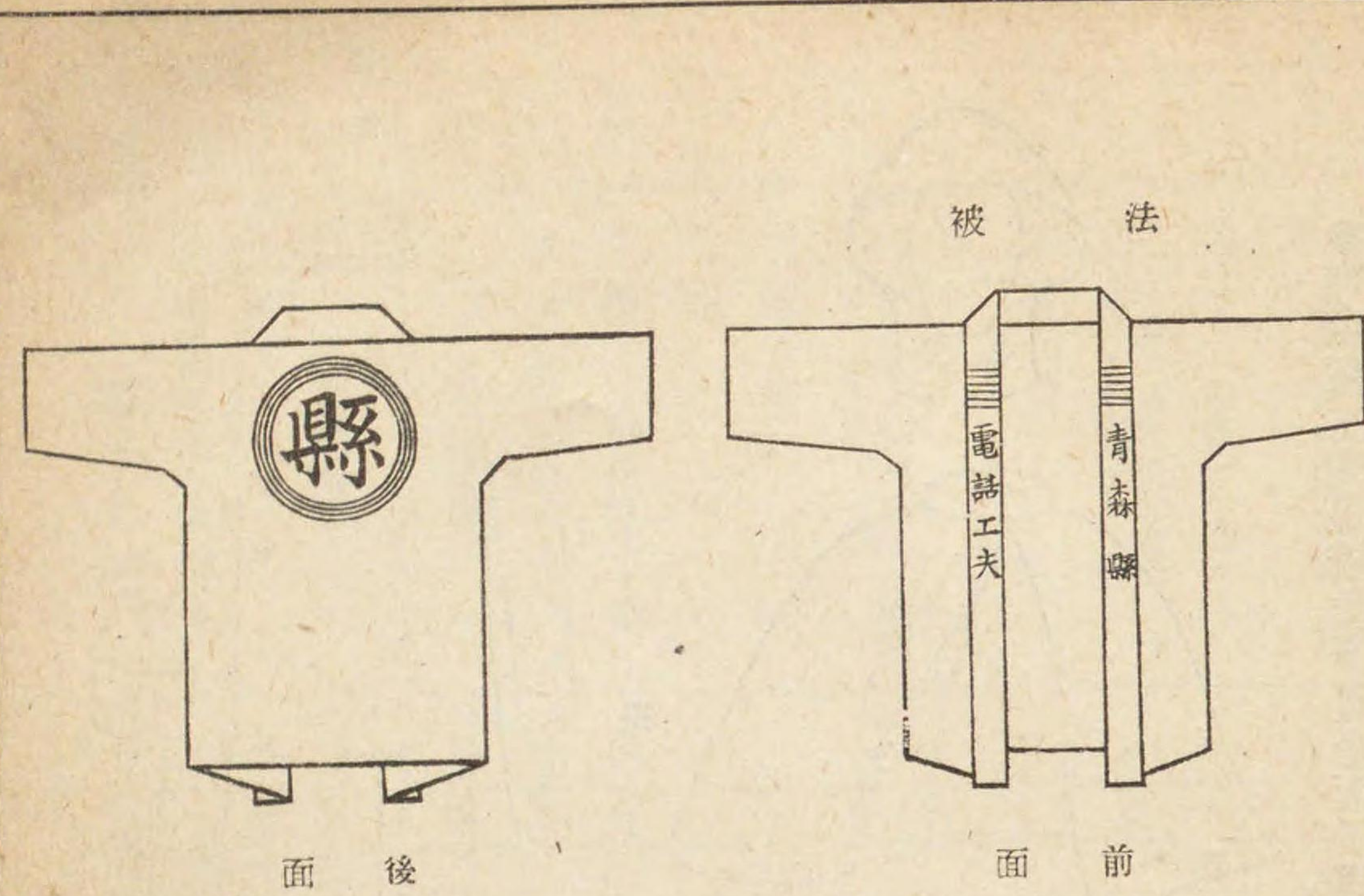
年月日

青森縣第一部御中

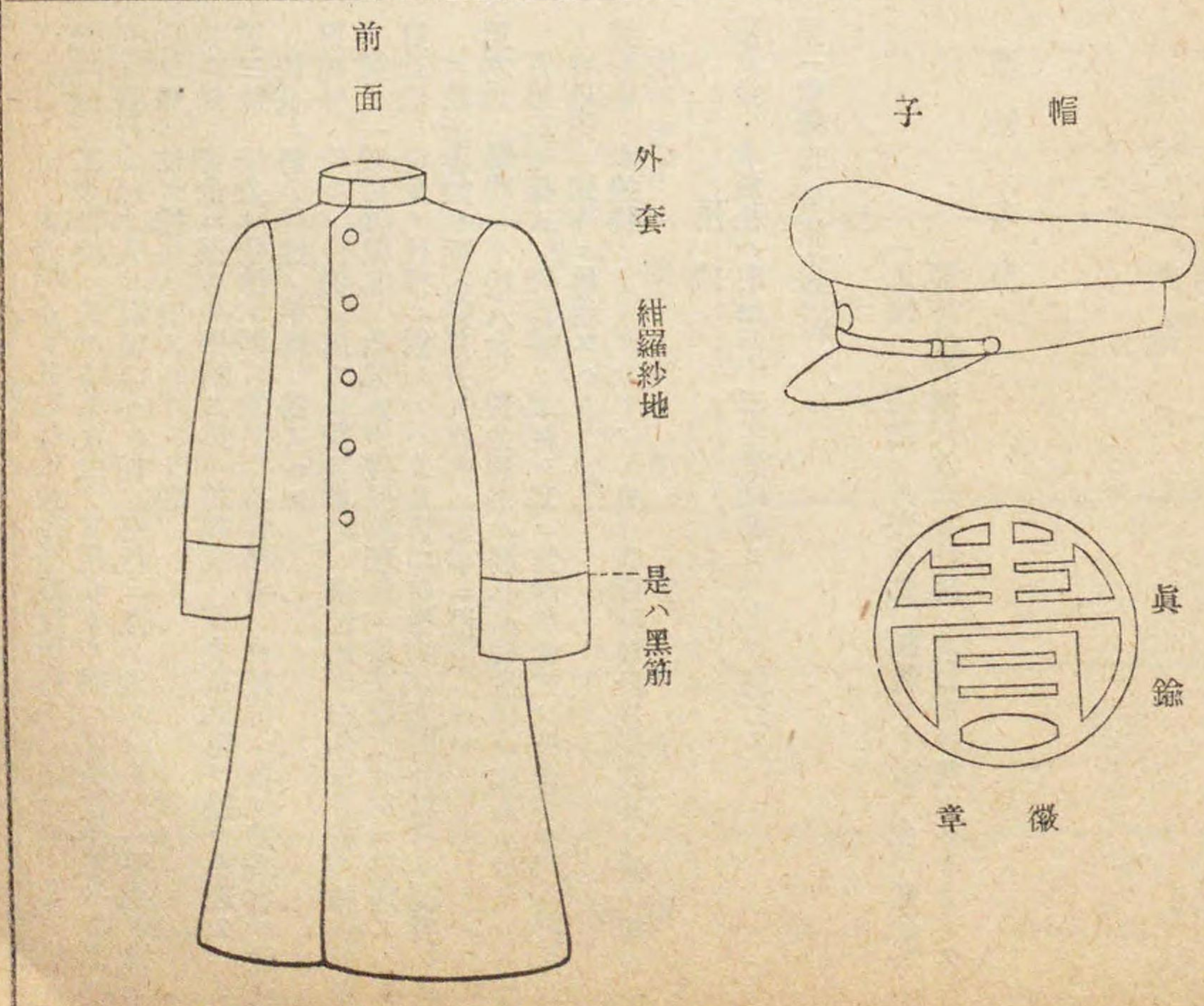
地質官地文字ハ白

電話工夫 何

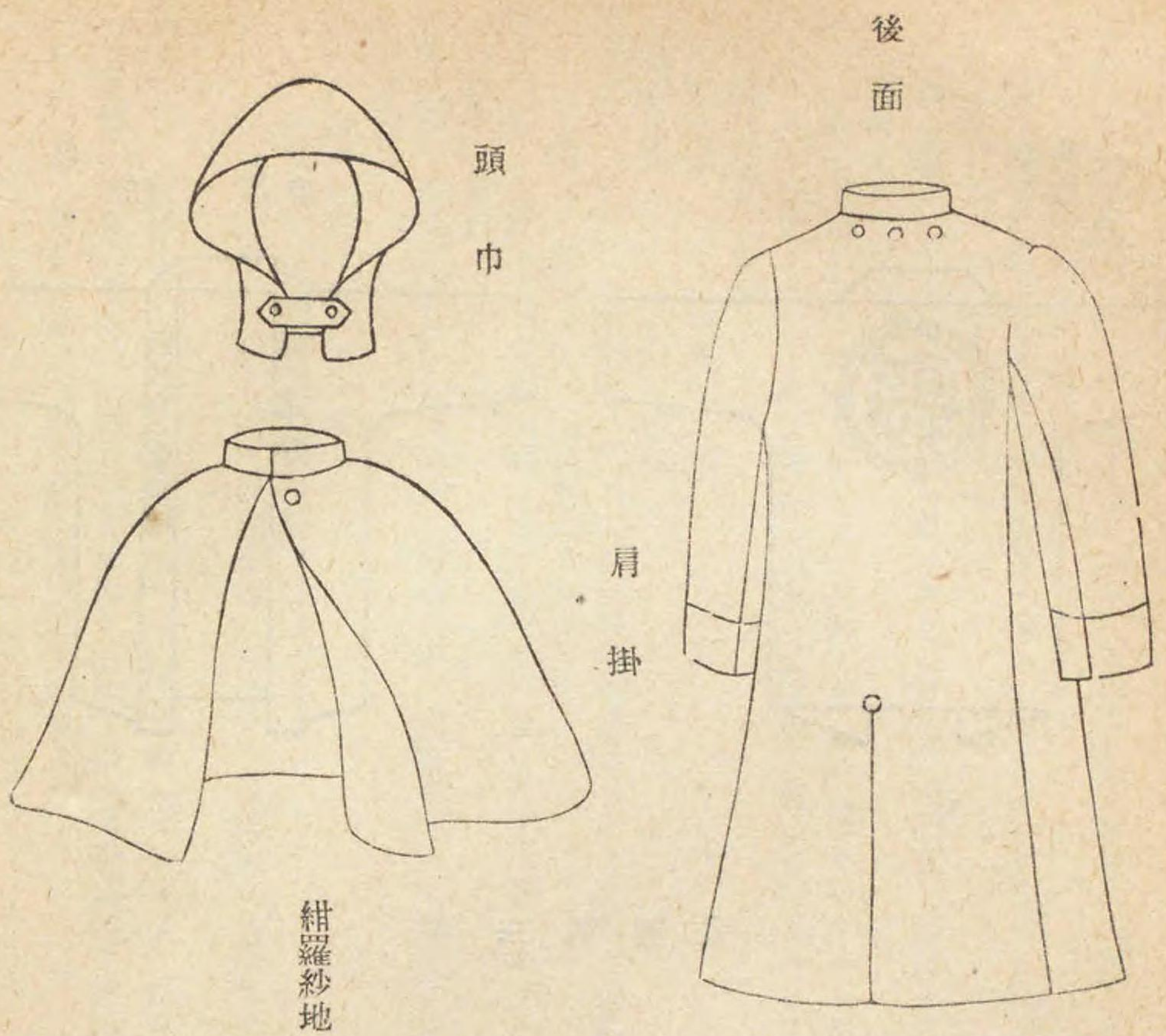
某 印



(式圖號三第)







●青森縣工業學校作業資金取扱規程

明治四十三年四月十二日  
訓令甲第三十二號  
內務部、工業學校

青森縣立工業學校作業資金取扱規程左ノ通定ム

- 青森縣立工業學校作業資金取扱規程
- 第一條 工業學校ニ於テ作業資金ヲ運用セサル間ハ郵便官署若ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ利殖スヘシ但シ銀行ニ預ケ入ル、トキハ縣金庫擔保ノ例ニ依リ擔保ヲ徵スルコトヲ得
  - 第二條 資金ニ關スル出納ハ第一號様式ノ現金出納簿ヲ設ケ整理スヘシ
  - 第三條 資金ノ仕拂ヲ要スルトキハ當業者ノ見積書ニ依リ請求書ヲ徵シ校長ニ於テ仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ
  - 第四條 資金ノ仕拂ニ屬スル證憑書類ハ明治四十三年三月青森縣訓令甲第十一號諸帳簿其ノ他様式中證憑調理例ニ依リ取扱ヒ別ニ整理スヘシ
  - 第五條 資金ノ仕拂ニ對シテハ毎月第二號様式ノ支出計算書ヲ調製シ之ニ證憑書類ヲ添ヘ翌月五日以内ニ知事ニ提出スヘシ
  - 第六條 縣費ヨリ繰入金、預金利息及製作品賣拂代ノ收入ニ對シテハ毎月第三號様式ノ報告書ヲ調製シ之ニ第四號様式ノ仕積書ヲ添ヘ翌月五日以内ニ知事ニ提出スヘシ
  - 第七條 本規程ニ定メタルモノ、外ハ青森縣會計規則及其ノ他ノ規定ニ依ルヘシ

附則

第八條 本規程ハ明治四十三年度所屬ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式(用紙美濃紙)

備考

一本簿ニハ總括ノ外預ケ金、縣稅ヨリ繰入金、預金利息製作品賣拂代及現金仕拂ノ各口座ヲ設クルモノトス

明治 年度

現金 出納簿

縣出納吏

官 職 氏 名

年月日	摘要	受	拂	残
明治四一年	經費ヨリ繰入金	二、〇〇〇,〇〇〇		
同	利殖ノ爲郵便貯金局へ預ケ入		一、〇〇〇,〇〇〇	
同	何銀行へ預ケ入		一、〇〇〇,〇〇〇	
二	作業ノ爲郵便貯金局へ預金ヨリ引出受入ノ分	五〇,〇〇〇		五〇,〇〇〇
三	買入品代		三〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇
四	同		一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
五	作業用ノ爲何銀行へ預金ヨリ引出受入ノ分	八〇,〇〇〇		九〇,〇〇〇
七	買入品代		八二五〇	七一七五〇
五	同		五九七五〇	一一二,〇〇〇
明治一卅一年	製作品賣拂代受入ノ分	四〇〇,〇〇〇		
同	預ケ金利息受入ノ分	一〇〇,〇〇〇		
追次繰越金		二、三三〇,〇〇〇		五二二,〇〇〇
三卅一年	何銀行へ預金ノ分	二、三三〇,〇〇〇	二、一八〇,〇〇〇	
同	明治何年度へ繰越ノ分	五〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	
合計(完結ノ例)		三、一三〇,〇〇〇	三、二九〇,〇〇〇	〇

年月日	摘要	受	拂	残
明治四一年	利殖ノ爲郵便貯金局へ預ケ入		一、〇〇〇,〇〇〇	
同	何銀行へ預ケ入		一、〇〇〇,〇〇〇	
二	作業ノ爲郵便貯金局へ預金ヨリ引出	八〇,〇〇〇		九二〇,〇〇〇
三	買入品代		三〇,〇〇〇	五九〇,〇〇〇
四	同		一〇,〇〇〇	五八〇,〇〇〇
五	作業用ノ爲何銀行へ預金ヨリ引出	八〇,〇〇〇		六六〇,〇〇〇
七	買入品代		八二五〇	五七七五〇
五	同		五九七五〇	一一八,〇〇〇
明治一卅一年	製作品賣拂代受入ノ分	四〇〇,〇〇〇		
同	預ケ金利息受入ノ分	一〇〇,〇〇〇		
追次繰越金		二、三三〇,〇〇〇		五二二,〇〇〇
三卅一年	何銀行へ預金ノ分	二、三三〇,〇〇〇	二、一八〇,〇〇〇	
同	明治何年度へ繰越ノ分	五〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	
合計(完結ノ例)		三、一三〇,〇〇〇	三、二九〇,〇〇〇	〇







右書面之通候也

明治何年何月何日

縣出納吏

官 職 氏 名 印

知 事 宛

摘 要	收 入 濟 額				未 收 入 額	備 考
	前月迄累計	本 月 計	計			
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
縣費ヨリ繰入金						
縣費ヨリ繰入金						
項合計						
製作品賣拂代						
製作品賣拂代						
項合計						
利 子 金						
預 金 利 子						
項合計						
款 合 計						

現 金

摘 要	現 金			備 考
	受	拂	残	
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
現金引出ノ分 本月分仕拂高	50000	40000	10000	打切計算ノ場合ハ受 ノ摘要ニ前任者ヨリ 引受高ト表記シテ ノ欄へ掲クヘシ
合計	50000	40000	10000	
△外ニ △何銀行へ預ケ金高 △郵便貯金局へ同			△500000 △800000	
(△印ハ朱記)			△1,300000	(△印ハ朱記)

第二號様式

(用紙堅牢ノ界引西洋紙)

明 治 年 度 作 業 費

年 月 中

支 出 計 算 書

附 屬 證 憑 綴 何 冊

校 名

備考 一 現金欄内へ掲クヘキ金額ハ年度收支完結ノ場合ヲ除クノ外仕拂ニ充ツルカ爲メ金ヨリ引出シタルモノニ限ル  
二 作業資金ニ對スル仕拂ナキトキハ適宜ノ用紙ニ仕拂ナキ旨ヲ記載シ翌月五日以内ニ知事ニ報告スヘシ但シ此ノ場合ハ其ノ報告書適宜ノ箇所ニ預ケ金高及手許有高ヲ附記スヘシ  
三 仕拂内譯中繰越金トアルハ其ノ年度ニ屬スル收支完結シタルトキ總テノ現金ヲ一旦現金欄内ニ受ケ入レノ手續ヲ爲シ翌年度へ繰越スヘキ分トシテ繰越セシモノニ限ル



第三號樣式 (用紙堅牢ノ界引西洋紙)

明治 何 年度  
作業資金何年何月分收入報告書

校 名

第四號樣式 (用紙十三行界)

第 號	明治 年度何年何月分作業資金收納仕書 校 名
金	縣費ヨリ入金
内	縣費ヨリ繰入金
金	製作品賣拂代
内	何品何箇代一箇ニ付金何程
金	同上
金	同上
金	利子金

内  
 預ケ金何程ニ對シ何年何月何日ヨリ  
 何月何日迄年利何歩ノ割何十日分  
 預ケ金何程ニ對シ何月何日ヨリ何月  
 何日迄日歩何程ノ割何十日分  
 右之通候也

明治 年 月 日

縣出納吏

備考

本書番號ハ一箇年度追次記載ヲ要ス

官 職 氏 名 印

●俸給及諸給其他會計ニ關スル規則ヲ  
北部保養院ニ準用ノ件

明治四十二年三月三十一日  
訓令甲第二十二號  
改正四十二年第二五號

内務部(警察部)北部保養院、縣金庫  
 四十二年三月青森縣令第十九號青森縣會計規則明治四十二年三月青森縣  
 訓令甲第三十號青森縣會計規則施行細則明治四十二年三月青森縣訓令甲第  
 十三號縣稅諸收入其ノ他收納取扱手續明治四十二年三月青森縣訓令甲第  
 十二號縣金庫事務取扱手續明治四十二年三月青森縣訓令甲第十一號ノ諸  
 帳簿其ノ他様式同年青森縣達第二百三十四號縣稅會計檢査規程同年青森  
 縣達第二百五十五號地方經濟物品賣買借取取扱手續明治三十五年青森縣達  
 第二十八號縣有物品會計規則同年青森縣訓令第十四號縣有物品出納證書  
 類整理手續同年青森縣訓令第十二號縣有物品會計規程第二條第二項ノ品  
 目區分表同年青森縣達第二十一號郵便切手取扱手續明治三十八年青森  
 縣達第十二號縣有財產處分手續明治二十四年青森縣達第七十四號俸給  
 支給規則明治二十五年青森縣達第四百八十八號備人給料支給規則ヲ北部  
 保養院ニ準用ス

●仕拂命令官ノ印章ノ件ヲ北部保養院  
ニ準用ノ件

明治四十三年四月八日  
 訓令甲第三十一號  
 内務部(警察部)北部保養院、縣金庫  
 明治四十三年四月青森縣訓令甲第三十號仕拂命令官印章ノ件ヲ北部保養  
 院ニ準用ス

第二款 豫算及決算

●青森縣歲入歲出科目表

明治二十四年九月十九日  
 達第四百六十六號  
 内務部(警察部)郡役所、市役所、  
 縣立學校、警察署(爲替方)  
 縣ノ經濟ニ屬スル歲入歲出ハ別冊科目表ニ依リ整理スヘシ  
 但目中相當ノ節ナキ收支ヲ要スルモノアルトキハ他目ノ節ニ準シ整理  
 スル義ト心得ヘシ  
 (別冊)

青森縣歲入歲出科目			
歲入	經常部	目	節
第一款地租割	第一項地租割	第一目地租割	
第二款營業稅	第一項商業稅	第一目商業稅	
		酒類受賣商稅	
		行商稅	
		吳服太物商稅	



船間屋稅	醬油受賣商稅	小間物商稅	餅飴菓物商稅	煉油商稅	砂糖商稅	茶商稅	古金古道稅	具商稅	麵商稅	古著商稅	穀物商稅	鹽商稅	書籍商稅	薪炭商稅	荒物商稅	魚類商稅	魚粕商稅	材木商稅	銅鐵物商稅	味增商稅
醬油受賣商稅	燈油商稅	蠟燭商稅	酢商稅	八百屋稅	燒芋屋稅	鑛詰商稅	漆器商稅	陶器商稅	藥種商稅	鳥獸肉商稅	賣藥受賣商稅	筆墨紙商稅	雞卵卸賣商稅	豆腐屋稅	豨屋稅	湯葉屋稅	心太屋稅	菫蕪屋稅	龜籠屋稅	龜籠屋稅

納豆屋稅	粉屋稅	仲買商稅	質屋稅	金貸商稅	回漕業稅	旅籠屋稅	運送請負業稅	建築請負業稅	度量衡稅	賣捌所稅	兩換屋稅	私立銀行稅	印刷所稅	第一目工業稅	第二項工業稅	寫真師稅	時計師稅	三味線職稅	鼈甲師稅	鎔師稅
金具師稅	造花師稅	彫刻師稅	洋服裁縫師稅	紺屋稅	縫箔師稅	蒔繪師稅	塗物師稅	烟管張職稅	建具師稅	指物師稅	大工職稅	木挽職稅	鍛冶職稅	桶職稅	鑄物職稅	壘刺職稅	石切職稅	醬油杜氏稅	印刷職稅	佛具師稅







第七項 興行稅										第一目 興行稅	一等稅	
第六項 遊覽所稅										第一目 遊覽所	二等稅	
第五項 遊技場稅										第一目 遊技場	三等稅	
第三項 人寄席稅										第一目 人寄席		
第五項 船稅										第一目 船稅		
第二項 車稅										第一目 車稅	人力車稅	
第六項 水車稅											馬車稅	
											荷馬車稅	
											牛車稅	
											荷車稅	
第六款 財產收入										第一項 乘馬稅		
										第一目 乘馬稅		
										第五項 屠畜稅		
										第一目 屠畜稅		
										第六項 漁業稅		
										第一目 漁業稅		
										第七項 採藻稅		
										第一目 採藻稅		
										第六項 某稅		
										第一目 某稅		
										第四項 戶數割		
										第一項 戶數割		
										第一目 戶數割		
										第五項 家屋稅		
										第一項 家屋稅		
										第一目 家屋稅		
												特別許可ヲ得タルモノアルトキニ限ル
												特別許可ヲ得タルトキニ限ル

第一項 不動產收入										第一目 地所貸		
										第二目 家屋貸		
										第三目 竹木賣		
										第四目 土石賣		
										第五目 下草及拂代		
										第六目 拂代		
第二項 動產收入										第一目 公債證	某公債證書	
										第二目 株券利	某株券利子	
										第三目 物品貸	某株券利子	
第七款 國庫下										第一項 警察費		
										第一目 連帶支辨金		
										第二目 築修繕費		
										第三目 支辨金		
第八款 雜收入										第一項 請願巡査費納金		
										第一目 某銀行納付金		
										第二目 某地納付金		
										第二項 懲罰及沒收金		
										第一目 罰俸	縣吏員罰俸	
											郡書記罰俸	
											學校職員罰俸	
											巡查罰俸	
											看守罰俸	
											雇員罰俸	
											備人罰俸	押丁トモ
										第三目 沒收金		
										第二目 懲罰金		
										第一目 違約沒收金		
										沒收金		
										旅行旅死		
										沒收金		



第三項 使用料		第四目	第一目 堤塘便 用木料	第二目 木敷 使用料	第一目 某病院 藥價	第二目 某病院 患者入院料	第一目 某病院 診察料	第二目 某病院 手術料	第一目 某病院 診察料	第二目 某病院 手術料	第一目 中學校 收入	第一目 不用品 賣拂代	備品賣拂代	被服賣拂代	圖書類賣拂代	道路橋梁物品 賣拂代	醫繕物品賣拂 代	雜品賣拂代
第四項 藥價及 入院料		第一目 某病院 藥價	第二目 某病院 患者入院料	第一目 某病院 診察料	第二目 某病院 手術料	第一目 中學校 收入	第一目 不用品 賣拂代	備品賣拂代	被服賣拂代	圖書類賣拂代	道路橋梁物品 賣拂代	醫繕物品賣拂 代	雜品賣拂代					
第五項 診察及 手術料		第一目 某病院 診察料	第二目 某病院 手術料	第一目 中學校 收入	第一目 不用品 賣拂代	備品賣拂代	被服賣拂代	圖書類賣拂代	道路橋梁物品 賣拂代	醫繕物品賣拂 代	雜品賣拂代							
第六項 授業料		第一目 中學校 收入	第一目 不用品 賣拂代	備品賣拂代	被服賣拂代	圖書類賣拂代	道路橋梁物品 賣拂代	醫繕物品賣拂 代	雜品賣拂代									
第七項 物品賣 拂代		第一目 不用品 賣拂代	備品賣拂代	被服賣拂代	圖書類賣拂代	道路橋梁物品 賣拂代	醫繕物品賣拂 代	雜品賣拂代										

第八項 囚徒工 錢收入		第一目 囚徒工 錢收入	第五目	第三目 木植 賣	第四目 種苗賣 拂代	第二目 監獄製 拂代	某品賣拂代	第一目 監獄製 拂代										
第九項 慈惠用 收入		第一目 囚徒工 錢收入	第五目	第三目 木植 賣	第四目 種苗賣 拂代	第二目 監獄製 拂代	某品賣拂代	第一目 監獄製 拂代	炊夫工錢收入	掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢	工業請負人 テ囚徒ヲ借受 拂込タル工錢	
第一目 監獄製 拂代		炊夫工錢收入	掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢	工業請負人 テ囚徒ヲ借受 拂込タル工錢	炊夫工錢收入	掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢
第二目 監獄製 拂代		掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢	工業請負人 テ囚徒ヲ借受 拂込タル工錢	炊夫工錢收入	掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢	工業請負人 テ囚徒ヲ借受 拂込タル工錢
第三目 木植 賣		掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢	工業請負人 テ囚徒ヲ借受 拂込タル工錢	炊夫工錢收入	掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢	工業請負人 テ囚徒ヲ借受 拂込タル工錢
第四目 種苗賣 拂代		掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢	工業請負人 テ囚徒ヲ借受 拂込タル工錢	炊夫工錢收入	掃除夫工錢收 入	看病夫工錢收 入	理髮夫工錢收 入	外役工錢	雜役工錢	某工錢	受負工業工錢	工業請負人 テ囚徒ヲ借受 拂込タル工錢

第十項 作業益		第一目 作業益	第二目 慈惠用 物品代	第一目 慈惠用 收入	在監人逃走沒 收金	死亡者沒收金													
第十項 作業益		第一目 作業益	第二目 慈惠用 物品代	第一目 慈惠用 收入	在監人逃走沒 收金	死亡者沒收金	某益	第一目 貸座敷 賦金	第一項 賦金	第一目 賦金	一等 賦金	二等 賦金	第一目 賦金	第一項 雜入	第一目 手敷料	督促令狀手敷 料	人力車鑑札手 敷料	人力車鑑札手 敷料	人力車鑑札手 敷料
第十項 作業益		第一目 作業益	第二目 慈惠用 物品代	第一目 慈惠用 收入	在監人逃走沒 收金	死亡者沒收金	某益	第一目 貸座敷 賦金	第一項 賦金	第一目 賦金	一等 賦金	二等 賦金	第一目 賦金	第一項 雜入	第一目 手敷料	督促令狀手敷 料	人力車鑑札手 敷料	人力車鑑札手 敷料	人力車鑑札手 敷料
第十項 作業益		第一目 作業益	第二目 慈惠用 物品代	第一目 慈惠用 收入	在監人逃走沒 收金	死亡者沒收金	某益	第一目 貸座敷 賦金	第一項 賦金	第一目 賦金	一等 賦金	二等 賦金	第一目 賦金	第一項 雜入	第一目 手敷料	督促令狀手敷 料	人力車鑑札手 敷料	人力車鑑札手 敷料	人力車鑑札手 敷料

第二目 償却金		賠償金	檢査料	馬車鑑札手敷 料	馬四鑑札手敷 料	取者鑑札手敷 料	第二目 償却金	第三目 滯納處 分費納金	第四目 追納金 後	延納地租割	過年度收入										
第二目 償却金		賠償金	檢査料	馬車鑑札手敷 料	馬四鑑札手敷 料	取者鑑札手敷 料	第二目 償却金	第三目 滯納處 分費納金	第四目 追納金 後	延納地租割	過年度收入	賠償金	檢査料	馬車鑑札手敷 料	馬四鑑札手敷 料	取者鑑札手敷 料	第二目 償却金	第三目 滯納處 分費納金	第四目 追納金 後	延納地租割	過年度收入
第二目 償却金		賠償金	檢査料	馬車鑑札手敷 料	馬四鑑札手敷 料	取者鑑札手敷 料	第二目 償却金	第三目 滯納處 分費納金	第四目 追納金 後	延納地租割	過年度收入	賠償金	檢査料	馬車鑑札手敷 料	馬四鑑札手敷 料	取者鑑札手敷 料	第二目 償却金	第三目 滯納處 分費納金	第四目 追納金 後	延納地租割	過年度收入
第二目 償却金		賠償金	檢査料	馬車鑑札手敷 料	馬四鑑札手敷 料	取者鑑札手敷 料	第二目 償却金	第三目 滯納處 分費納金	第四目 追納金 後	延納地租割	過年度收入	賠償金	檢査料	馬車鑑札手敷 料	馬四鑑札手敷 料	取者鑑札手敷 料	第二目 償却金	第三目 滯納處 分費納金	第四目 追納金 後	延納地租割	過年度收入



款	項	目	節
第一款繰越金	第一項前年度繰越金	第一目前年度繰越金	
	第二款國庫補助金	第一項某費補助金	
第三款密附金	第一項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
第四款財產拂代	第一項不動產拂代	第一目内某費ニ對スル寄付	二廉以上アルトキハ其名稱ニ依リ節ヲ設ク次ノ目モ之ニ準之ス
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル寄付	

款	項	目	節
第一款備荒儲蓄	第一項中央補助金	第一目中央補助金	
	第二項地租貸與返納	第一目地租貸與返納	本年度分返納
第二款雜種部	第一項府縣債	第一目府縣債	
	第五款府縣債	第一項府縣債	
第三款雜種部	第一項地所賣拂代	第一目地所賣拂代	
	第二項家屋賣拂代	第二目家屋賣拂代	
第四款雜種部	第一項公債證書賣拂代	第一目公債證書賣拂代	
	第二項株券賣拂代	第二目株券賣拂代	
第五款雜種部	第一項中央補助金	第一目中央補助金	
	第二項地租貸與返納	第一目地租貸與返納	

款	項	目	節
第一款繰越金	第一項前年度繰越金	第一目前年度繰越金	
	第二款國庫補助金	第一項某費補助金	
第三款密附金	第一項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
第四款財產拂代	第一項不動產拂代	第一目内某費ニ對スル寄付	二廉以上アルトキハ其名稱ニ依リ節ヲ設ク次ノ目モ之ニ準之ス
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル寄付	
第五款繰越金	第一項前年度繰越金	第一目前年度繰越金	
	第二款國庫補助金	第一項某費補助金	
第六款密附金	第一項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
第七款財產拂代	第一項不動產拂代	第一目内某費ニ對スル寄付	二廉以上アルトキハ其名稱ニ依リ節ヲ設ク次ノ目モ之ニ準之ス
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル寄付	

款	項	目	節
第一款繰越金	第一項前年度繰越金	第一目前年度繰越金	
	第二款國庫補助金	第一項某費補助金	
第三款密附金	第一項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
第四款財產拂代	第一項不動產拂代	第一目内某費ニ對スル寄付	二廉以上アルトキハ其名稱ニ依リ節ヲ設ク次ノ目モ之ニ準之ス
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル寄付	
第五款繰越金	第一項前年度繰越金	第一目前年度繰越金	
	第二款國庫補助金	第一項某費補助金	
第六款密附金	第一項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル補助	
第七款財產拂代	第一項不動產拂代	第一目内某費ニ對スル寄付	二廉以上アルトキハ其名稱ニ依リ節ヲ設ク次ノ目モ之ニ準之ス
	第二項某費寄附金	第一目内某費ニ對スル寄付	
第八款雜種部	第一項地所賣拂代	第一目地所賣拂代	
	第二項家屋賣拂代	第二目家屋賣拂代	
第九款雜種部	第一項公債證書賣拂代	第一目公債證書賣拂代	
	第二項株券賣拂代	第二目株券賣拂代	
第十款雜種部	第一項中央補助金	第一目中央補助金	
	第二項地租貸與返納	第一目地租貸與返納	



第八項雜收		第一目公儲金	過年度分收入 ノモ)
		第二目賠償金	
		第三目土地建 物賣却代	
		地所賣拂代	
		建物賣拂代	
		第四目不用品 拂代	
		第五目違約金	
		第六目誤拂戻 入	
第九項寄付金		第一目某費寄 付金	
第二款衛生費		第一項前年度 繰越金	
		第二項本年度 收入金	
		第一目預ケ金 利子	
		第二目却代 貯藥費	
		第三目雜收入	
第三款送費豫 備		第一項前年度 繰越金	
		第二項本年度 收入金	
		第一項前年度 繰越金	
		第二項本年度 收入金	
		第一目預ケ金 利子	
		第二目却代 貯藥費	
		第三目雜收入	
第一項前年度 繰越金			
第二項本年度 收入金			

第四款勸業費		第一項前年度 繰越金	
		第二項本年度 收入金	
		第一目預ケ金 利子	
		第二目雜收入	
經常部		第一目預ケ金 利子	
		第二目雜收入	
歲出		第一項前年度 繰越金	
		第二項本年度 收入金	
		第一目預ケ金 利子	
		第二目雜收入	
第一款警察費		第一項俸給及 諸給及	
		第一目巡查月 給	
		第二目雇員給 給	
		第三目旅費	
		巡查以下旅費	
		巡查召募旅費	
		巡查區內月額ヲ以テ支 回日當スル日當ト モ	
		巡查日當ト モ	
		巡查人無罪人旅 費	

第四目惠與		賞與	
		吊祭料	廿年九月內務 省訓令第四十 二號ニ依リ警 察廳給スル分
		扶助料同	
		療治料同	
第五目諸備給		給仕給料	
		小使給料	
		醫師給料	
		諸備料	
第六目巡查給 助		慰勞金	
		一時賜金	
		勤續年金	
		傷疾年金	
		療治料	
		祭祀料	
		遺族一時賜金	
		遺族年金	
第二項廳費			

第一目備品費		器具器械費	
		貸具費	
		雜品費	
第二目文具費		用紙費	
		諸帳簿費	
		筆墨印肉類費筆墨料トモ	
		硯小道具類費	
第三目消耗品 費		薪炭油類費	
		雜用品費	
第四目圖書及 印刷費		圖書購買費	
		製本費	
		印刷費	
第五目通信運 搬費		郵便稅	
		電信料	
		運搬費	
第六目賄費			



當直賄料	夜警賄料	護送及留置人賄料	臨時賄料	第七目被服費	第八目手數料	為替手數料	第九目馬匹費	馬匹買上代	飼養料	第十目雜費	翻譯料	寫字料	廣告料	家屋其他借料	舟車馬類備費	報酬費	訴訟費	揭示札製造費	鑑札製造費	迷畜飼養費
------	------	----------	------	--------	--------	-------	--------	-------	-----	-------	-----	-----	-----	--------	--------	-----	-----	--------	-------	-------

第三目 警察署修繕費	第四目 弘前及中津輕警察署修繕費	第五目 黑石警察署修繕費	第六目 五所川原警察署修繕費	第七目 七戶警察署修繕費	第八目 田名部警察署修繕費	第九目 八戶警察署修繕費	第十目 雜費	第一項 道路橋	第一目 道路修繕費	六號國道費	四十一號國道費	兵營道費	第二目 橋梁修繕費	六號國道費	第三款 土木費
------------	------------------	--------------	----------------	--------------	---------------	--------------	--------	---------	-----------	-------	---------	------	-----------	-------	---------

諸雜費	第一目 為換方給	第三項 機密費	第一目 諸備給	第二目 旅費	第三目 雜費	第一項 修繕費	第一目 警察部修繕費	某所修繕費	雪圍雪卸費	小破修繕費	第二目 警察署修繕費	青森警察署修繕費	某所修繕費	雪圍雪卸費	某分署修繕費	某分署修繕費	雪圍雪卸費	小破修繕費
-----	----------	---------	---------	--------	--------	---------	------------	-------	-------	-------	------------	----------	-------	-------	--------	--------	-------	-------

第四十一號國道費	兵營道費	六號國道費	並木植	第三目 並木植	停車場道費	東海岸道費	脇野澤道費	鹿角道費	久慈道費	黑石道費	能代道費	小泊道費	十三道費	鮫道費	佐井道費	松前道費	兵營道費	第四目 標柱費	六號國道費	四十一號國道費
----------	------	-------	-----	---------	-------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	---------	-------	---------



										兵營道費									
										第五目街燈費									
										第六目雜費									
										第二項治水堤									
										第一目河川濬									
										大川費									
										岩木川費									
										平川費									
										淺瀨石川費									
										相阪川費									
										馬淵川費									
										第二目河岸修繕費									
										大川費									
										岩木川費									
										平川費									
										淺瀨石川費									
										相阪川費									
										馬淵川費									
										第三目溝渠修繕費									
										某溝渠費									
										某溝渠費									
										青森港費									
										鯨ヶ澤港費									
										深浦港費									
										野邊地港費									
										鮫港費									
										第二日濬深費									
										青森港費									
										鯨ヶ澤港費									
										深浦港費									
										野邊地港費									
										鮫港費									
										第三日常燈明費									
										浮標修繕費									
										第四日浮標修繕費									
										第五日雜費									
										第四項測量費									
										第一日諸備給									
										第二日器械費									
										第三日雜費									
										第四款縣會議費									
										第一項縣會議費									
										第一日旅費									

										書記給料									
										給仕給料									
										小使給料									
										看守人給料									
										諸備料									
										第三日議場費									
										器具器械費									
										雜品費									
										用紙費									
										諸帳簿費									
										筆墨印肉類費									
										硯小道具類費									
										薪炭油類費									
										雜用品費									
										圖書購買費									
										製本費									
										印刷費									
										郵便稅									
										電信料									
										運搬費									















第七款 郡廳舍 修繕費	第一項 修繕費	電信料	運搬費	當直賄料	臨時賄料	爲換手數料	寫字料	廣告料	家屋其他借料	舟車馬類備費	報酬費	訴訟費	諸雜費	第四目 修繕費	某所修繕費	雪圍雪卸費	小破修繕費	第三項 學事諸費	第一目 獎勵費	第二目 學事年報

第八款 郡吏員 給料旅費及廳中諸費	第一項 俸給及諸給	第一目 郡役所修繕費	第二目 西津郡役所修繕費	第三目 中津郡役所修繕費	第四目 南津郡役所修繕費	第五目 北津郡役所修繕費	第六目 上北郡役所修繕費	第七目 下北郡役所修繕費	第八目 三戸郡役所修繕費	第九目 雜費	薪炭油類費	雜用品費	圖書購買費	製本費	印刷費	郵便稅	電信料	運搬費	第六目 爲換方給	第七目 手數料	第八目 賄費	第九目 雜費	爲換手數料	當直賄料	臨時賄料	繭講料	寫字料	廣告料	家屋其他借料

第二項 廳費	第一目 備品費	器具器械費	雜品費	第二目 文具費	用紙費	諸帳簿費	筆墨印肉類費	硯小道具類費	第三目 消耗品費	第三日 旅費	書記以下旅費	人民呼出旅費	第四目 退官賜金	賞與	死亡賜金書記ニ限ル	第六目 諸備給	給仕給料	小使給料	諸備料

第七款 郡廳舍 修繕費	第一項 修繕費	第一目 郡役所修繕費	第二目 西津郡役所修繕費	第三目 中津郡役所修繕費	第四目 南津郡役所修繕費	第五目 北津郡役所修繕費	第六目 上北郡役所修繕費	第七目 下北郡役所修繕費	第八目 三戸郡役所修繕費	第九目 雜費	薪炭油類費	雜用品費	圖書購買費	製本費	印刷費	郵便稅	電信料	運搬費	第六目 爲換方給	第七目 手數料	第八目 賄費	第九目 雜費	爲換手數料	當直賄料	臨時賄料	繭講料	寫字料	廣告料	家屋其他借料



第十款 難破船 諸費	第一項 難破船	第一目 溺死者 搜索費	第二目 治療及 埋葬費	諸雜費	治療費	埋葬費	第十款 難破船 諸費	第九款 救育費	第一項 救助費	第一目 窮民救	養育費	救難費	第九款 救育費	第八款 舟車馬類備費	報酬費	訴訟費	鑑札製造費	諸雜費	第八款 舟車馬類備費
	第二項 難破船	第一目 溺死者 搜索費	第二目 治療及 埋葬費	諸雜費	治療費	埋葬費			第一目 窮民救	養育費	救難費	第二目 行塚病 人諸費			第三目 旅行死 人諸費	諸備料費	諸雜費	報酬費	
第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費	第一款 諸進書 諸費

第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費	第十款 難破船 諸費



第三項 勸業諸費									
第一目 獎勵費					第四目 修繕費				
第二目 試驗費									
諸雜費	某所修繕費	雪圍雪卸費	小破修繕費	旅費	諸備料	器具器械費	雜品費	用紙費	諸帳簿費
製本費	圖書購買費	雜用品費	薪炭油類費	硯小道具類費	筆墨印肉類費	諸帳簿費	用紙費	諸帳簿費	製本費
郵便稅									

第七款 縣稅取

第一項 徵收費									
第一目 市町村交付金					第二目 調查費				
第二項 金庫諸費									
第一目 爲換方給送金諸費					第三目 帶納者所有物件買上代				
諸雜費	鑑札製造費	諸雜費	地所買上代	物品買上代	爲換手數料	旅費	郵便稅	電信料	運搬費
諸雜費									
諸雜費									

第一項 修繕費									
第一目 本廳修繕費					第二目 官舍修繕費				
第三目 雜費									
電信料	運搬費	爲換手數料	當直賄料	臨時賄料	翻譯料	寫字料	廣告料	家屋其他借料	舟車馬類備費
肥料費	種苗諸費	藥品類費	耕馬諸費	修繕費	諸雜費	報告費	統計費		

第五款 縣監費

第一項 俸給及諸給									
第一目 看守月給					第二目 押了給				
第三目 雇員給									
第一目 女監取給					第二目 授業手給				
第四目 旅費									
第五目 惠與									
小破修繕費	雪圍雪卸費	某所修繕費	小破修繕費	雪圍雪卸費	某所修繕費	小破修繕費	雪圍雪卸費	某所修繕費	小破修繕費



賞與	弔祭料	扶助料同	療治料同	給仕給料	小使給料	炊夫給料	看護夫給料	掃除夫給料	理髮夫給料	諸備料	慰勞金	一時賜金	勤續年金	傷疾年金	療治料	祭祀料	遺族一時賜金
	三年九月内務省訓令第四十二號ニ依リ監獄雇ニ給スル分																

第二項 應費

遺族年金	器具器械費	貸具費	雜品費	第二目文具費	用紙費	諸帳簿費	筆墨印肉類費	硯小道具類費	薪炭油類費	雜用品費	第四目圖書及印刷費	圖書購買費	製本費	印刷費	郵便稅	電信料

第三項 在監人諸費

運搬費	當直賄料	不寢番賄料	臨時賄料	看守被服費	押丁被服費	爲換手數料	第九目戒具費	第十目刑具費	第十一目雜費	翻譯料	寫字料	廣告料	家屋其他借料	舟車馬類備費	報酬費	訴訟費	馬匹買上代

飼養料	諸雜費	第一目食費	飯米代	菜代	第二目浴湯費	第三目備品費	第四目消耗品費	第五目被服費	第六目臥具費	第七目療養費	第八目埋葬費	第九目寫真費	第十目移轉費	第十一目習學費	第十二目賞與費	第十三目給與費	第十四目控訴人諸費	第十五目慈惠費	第十六目雜費	
				受賞者へ増給 菜代トモ																







鮫道費	十三道費	小泊道費	能代道費	黑石道費	久慈道費	鹿角道費	脇野澤道費	東海岸道費	停車場道費	第二項治水堤防費補助	第一目某郡某補助	第二目治水堤防費補助	七戸川費 七步補助ノ分 熊原川迄之ニ 同シ	川内川費	赤石川費	十川費	山田川費	熊原川費
虹貝川費	浪岡川費	中村川費	追長瀬川費	笹内川費	荒川費	野内川費	蟹田川費	金木川費	飯詰川費	薄市川費	相内川費	大和澤川費	堤川費	今別川費	五戸川費	相馬川費	田名部川費	新井田川費
三ッ目内川費 五步補助ノ分 駒籠川迄ノ分 之ニ同シ																		

大畑川費	坪川費	野邊地川費	小田川費	烏谷川費	淺水川費	中野川費	大峰川費	棚内川費	駒籠川費	第三項雜費 第一目某費	第二項縣債利 第一目本年度 利子	第一項救助費 第一目水災救	食料	小屋掛料	農具料	種穀料	地租補助	避難所諸費 薪炭油蠟燭類	雜費	以下右ニ準ス
第六款某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費	第一項雜費 第一目某費
第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還	第一項元金償還



										第三項儲蓄費									
										第一目旅費									
										第二目備人料									
										藏番給料									
										諸備料									
										米穀受拂ノ節要スル雇人足實等									
										米穀賣買又ハ同漕ノ節出張旅費(郡區吏ノ外)									
										第三目通信料									
										郵便電信費									
										第四目運搬費									
										第五目需用費									
										器具器械費									
										筆紙墨炭油類									
										雜用品費									
										第六目雜費									
										手數料									
										廣告料									
										印刷料									
										借家料借地料 藏敷料器具器 械等借用料									
										家屋其他借料									
										第一目建築費									
										第四項倉庫費									
										第二項地租貸									
										第一目水災貸									
										第二目火災貸									
										第三目風災貸									
										第四目旱災貸									
										第五目雪災貸									
										第六目雪災貸									
										第七目雪災貸									
										第八目蝗災貸									
										第九目蝗災貸									
										第十目蝗災貸									
										第二目破災貸									

										倉庫新築費 敷地買上代下 藏番詰所新築 費									
										第二目修繕費									
										某所修繕費									
										雪圍雪卸費									
										小破修繕費									
										第五項米穀買									
										第一目米穀買									
										第六項書買入 代									
										第一目書買入 代									
										第七項缺損金									
										第一目米穀賣									
										第二目米穀缺									
										第三目書賣却 損金									
										金錄公債損金									
										整理公債買入									
										海軍公債買入									
										代									
										鐵道公債買入									
										第八項過誤納 下戻									
										第一目公儲金									
										第二目地租貸 與返納									
										第九項預ケ金									
										第一目預ケ金									
										第十項土木費 貸出金									
										整理公債損金									
										海軍公債損金									
										鐵道公債損金									
										金錄公債損金									
										整理公債損金									
										海軍公債損金									
										鐵道公債損金									
										第五目地租貸 與棄捐									
										第六目地租貸 與一時 引返納 割									
										第七目雜損									
										盜難金									
										燒失金									











歲出科目

第一款 作業費	第一項 原料費	第一目 製作品原料費
	第二項 繰越金	第一目 繰越金

郡役所費歲出科目

明治三十六年四月十三日  
 內務部長通牒丙五發第六百三十八號  
 郡 役 所

歲出科目ニ於テ科目違ノ向往往有之候付御參考ノ爲メ別紙及御送付候條  
 右ニ依リ御整理相成度此段申進候也  
 ・追テ別紙外ノ科目ハ二十四年九月縣達第四百六十六號ノ科目表ニ依リ  
 御整理ノコト、御了承相成度爲念右申進候也

款	項	目	節
郡役所費	第一項 俸給及諸給	第一目 俸給	郡書記俸給 郡視學俸給 雇員給
	第二項 廳費	第一目 備品費	器具器械費
		第二目 文具費	視小道具類費

第二款 收入

●縣稅諸收入其他收納取扱手續

明治四十三年三月二十九日  
 訓令甲第十三號

知事官房、內務部、警察部、郡役所、警察署、縣立學校、水産試驗場、農事試驗場、輸出米檢査所、新城學園、市役所、縣金庫  
 縣稅諸收入其ノ他收納取扱手續左ノ通定ム  
 縣稅諸收入其ノ他收納取扱手續  
 第一條 縣ノ經濟ニ屬スル諸收入收納方ヲ分チテ左ノ三種トス  
 一、納入告知書ヲ以テ納付スルモノ  
 二、現金ヲ收入シ拂込書ヲ以テ納付スルモノ  
 三、縣稅滯納上納付書ヲ以テ納付スルモノ  
 第二條 納入告知書ヲ以テ納付スルモノノ如シ  
 貸下料、貸付元利金、使用料、檢査料、手数料、授業料、賣拂代、請願巡査納付金、國庫下渡金、寄附金、公債證書元利金、預金元利金  
 第三條 現金ヲ收入シ拂込書ヲ以テ納付スルモノノ如シ  
 輸出米檢査手数料、懲罰及沒收金、償却金、滯納處分費辨納金、國庫補助金  
 第四條 縣稅滯納上納付書ヲ以テ納付スルモノノ左ノ如シ  
 督促手数料  
 第五條 滯納處分費辨納金(差押物件公賣以前ニ於テ滯納者又ハ第三者ヨリ直ニ納付スル處分費)  
 第六條 本廳各主管ニ屬スル收入ヲ要スルモノアルトキハ各主管ニ於テ年度、科目、金額及住所氏名其ノ他ノ要件ヲ適宜記載シ會計課へ通知スヘシ  
 第六條 納入告知書ハ知事又ハ廳長之ヲ發ス  
 第七條 第二條ニ掲ケタル收入ヲ要スルモノアルトキハ第一號様式ニ依リ徵收額報告書ヲ調製シ知事又ハ廳長ノ決裁ヲ受クヘシ  
 第八條 納入告知書ヲ發セムトスルトキハ前條ノ報告書ニ依リ第一號様式

三月豫算百二十九號  
 用スルモノ

式ノ報告書ヘ式ノ如ク記入シ之ヲ發付スヘシ  
 第九條 納入告知書ヲ發シ又ハ受ケタルトキハ諸收入收納金整理簿各口座ノ徵收額欄へ登記シ納入告知書ハ納入へ交付スヘシ  
 第十條 納入告知書ヲ交付シタルトキハ納入ヲシテ該告知書ニ現金ヲ添へ縣金庫へ納入セシムヘシ  
 第十一條 現金ノ收入額確定シタルトキハ其ノ書類ニ依リ諸收入收納金整理簿各口座ノ徵收額欄へ登記シ現金ヲ領收シタルトキハ拂込書ヲ調製シ現金ハ直ニ縣金庫ニ納付スヘシ  
 第十二條 諸收入收納金整理簿收入濟額ノ欄へ登記スルハ領收濟通知書ニ依ルヘシ  
 第十三條 收入金ハ第二號様式ニ依リ報告書ヲ調製シ左ノ書類ヲ添へ翌月五日以内ニ知事へ差出スヘシ  
 一、納入告知書細別表 (第三號様式)  
 二、現金拂込仕譯書 (第四號様式)  
 三、納付書金員仕譯書 (第五號様式)  
 四、免除金及缺損金明細書(縣立學校授業料ニ限ル) (第六號様式)  
 第十四條 前條報告書中年度若ハ科目ノ訂正ヲ要スルモノアルトキハ第七號様式ニ依リ更正報告書ヲ調製シ知事ニ差出スヘシ  
 第十五條 既納金ノ過誤納ニシテ過年度ニ係ル分ハ本人ノ請求書ヲ徵シ之ニ廳長ノ具申書ヲ添へ知事ニ差出スヘシ  
 第十六條 各年度收入ニ係ル原符領收證及通知書ノ類ハ月毎ニ合計ヲ附シ一箇年度分ヲ合綴保存スヘシ 但シ多數ナルトキハ適宜分綴スルコトヲ得  
 第十七條 本手續ニ定メタルモノ、外ハ縣會計規則及其ノ他ノ規定ニ依ルヘシ

附 則

第十八條 縣稅ノ繰越ニ係ル過年度收入金ハ總テ各其ノ所屬年度及科目ヲ掲ケ本手續ニ準シ取扱フヘシ 但シ本條收入金ニ對シテハ收入報告書ニ第八號様式ヲ仕譯書ヲ添付スヘシ  
 第十九條 本手續ハ明治四十三年度所屬ヨリ之ヲ施行ス  
 第一號様式ノ一 用紙十三行半紙野

第 號 (番號ハ每款一箇年度ヲ通シ記入スヘシ以下同シ)

明治何年度何何(款)

何何(項)徵收額報告書

何何(目)

何何(節)

何郡市町村大字番戶

何之誰

何何(節)

何郡市町村大字番戶

何之誰

但シ何月何日第何號御指令(或ハ何何)何郡市町村地内字何何何程貸下料(或ハ何何貸下料)何年何月分(或ハ何年何月ヨリ何年何月迄何箇月分一箇年(月)何程ノ割)

右之通候也

明治 年 月 日

會計課長

官 氏

名 印

各縣會計主任

官 氏

名 印

知事(廳長)宛

備 考

一、授業料ハ毎月數名分ヲ合併記載スルモ妨ケナシ

二、告知書發付ノ月日ハ適宜ノ箇所へ記載スヘシ

第一號様式ノ二 用紙十三行半紙野

第 號

明治何年度何何(款)徵收額報告書

第 號



告知書發付 月日	項目	節	納期日金	員取撥廳納人住所氏名
計				

右之通候也  
 明治 年 月 日  
 會計課長 官 氏  
 各解會計主任 官職 氏  
 知事(廳長)宛  
 名 印

右之通候也  
 明治 年 月 日  
 廳長官 氏 名 印  
 知事 宛

第二號樣式

明 治 何 年 度  
 經常(臨時)何何款何年何月分收入報告書

(何何廳校)

備考  
 一本報告書ハ款毎ニ調製スヘシ  
 二免除額ノアル場合ハ收入濟額計ノ次ヘ  
 一欄ヲ設ケ掲クヘシ  
 三免除額、缺損額ハ一箇年度間存置スヘシ

△印朱書

科 目	調 定 濟 額				收 入 濟 額				缺損額	收入未濟額		備考
	前月迄計 月累	本月分	減△額	計	前月迄計 月累	本月分	過當 △	計		拂 未濟額	込 未納額	
(何何項)	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		減額、缺損ノ理由ハ詳記スヘシ但シ複雑ナルモノハ 明細書ヲ添付スルコトヲ得
(何何目)												
(何何節)												
同 計												
(何何項)												
(何何目)												
(何何節)												
同 計												
款合計												

第三號樣式 (用紙十三行半紙野)

科 目	節 目	日 金	員 額	未 收 入	納 入 住 所 氏 名
計					
合 計					

右之通候也  
 明治 年 月 日  
 備考 一目毎ニ計ヲ附シ二目以上ナルトキハ合計ヲ附スヘシ  
 第四號樣式 (用紙十三行半紙野)  
 第 號  
 明治何年度經常(臨時)何何(款)  
 何何(項)何年何月分現金拂込任證書  
 何何(目)  
 但シ何月何日拂込書第何號ノ分  
 何何(節)  
 何月分何何料何名分  
 但シ一名ニ付金何程  
 何月中何何何何分  
 但シ一箇ニ付金何程  
 何何(節)











扱ヒ整理スヘシ  
用紙適宜 縦四寸五分ノモノニ枚接續  
第一號様式

符		原	
年月日	款	年月日	款
	取扱主任ノ印 一金何程〇		取扱主任ノ印 一金何程〇
	但		但
年月日	第 號	年月日	第 號
	年度		年度
	人納		人納
	校 長		校 長
	印		印
	目		目
	節		節
	納		納

第二號様式  
用紙適宜 縦四寸五分ノモノニ枚接續  
横三寸五分ノモノニ枚接續  
横二寸五分ノモノニ枚接續  
取扱主任ノ印  
右領收候也  
但 一金何程〇  
取扱主任ノ印  
縣出納吏  
官 職  
氏 名 印  
イハ學校長ノ印  
ロハ取扱主任ノ印  
ハハ金庫取扱人ノ印

科 目	調 定 濟 額				收 入 濟 額				缺損額	收入未納額		備考
	前月迄 累計	本月分	減額△	計	前月迄 累計	本月分	下戻額△	計		携込未 納額	未納額	
(何何何)	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘		
(何何何)												
(何何節)												
"												
"												
計												

第三號様式ノ一

<p>明治 年度學校基本財産 年 月 收入 金報告書面之通候也</p> <p>年 月 日</p> <p>縣出納吏 官 職 氏 名 印</p> <p>知 事 宛</p>	<p>明 治 年 度</p> <p>學校基本財産 年 月 分 收入金報告書</p> <p>校 名</p>
---	--

△印ハ朱書

書知通濟收領		書 收 領		書 込 扱	
年月日	第 號	年月日	第 號	年月日	第 號
	何		何		何
	校		校		校
	人納		人納		人納
	縣金庫		縣金庫		縣金庫
	印		印		印
	目		目		目
	節		節		節
	納		納		納

① 一金何程〇  
但  
右領收候也  
青森縣某地本支金庫へ納入

① 一金何程〇  
但  
右領收候也  
青森縣某地本支金庫印

① 一金何程〇  
但  
右拂込候也  
縣出納吏  
官 職 氏 名 印

① 一金何程〇  
但  
右拂込候也  
縣出納吏  
官 職 氏 名 印

① 一金何程〇  
但  
右拂込候也  
縣出納吏  
官 職 氏 名 印

① 一金何程〇  
但  
右拂込候也  
縣出納吏  
官 職 氏 名 印

① 一金何程〇  
但  
右拂込候也  
縣出納吏  
官 職 氏 名 印

① 一金何程〇  
但  
右拂込候也  
縣出納吏  
官 職 氏 名 印

① 一金何程〇  
但  
右拂込候也  
縣出納吏  
官 職 氏 名 印